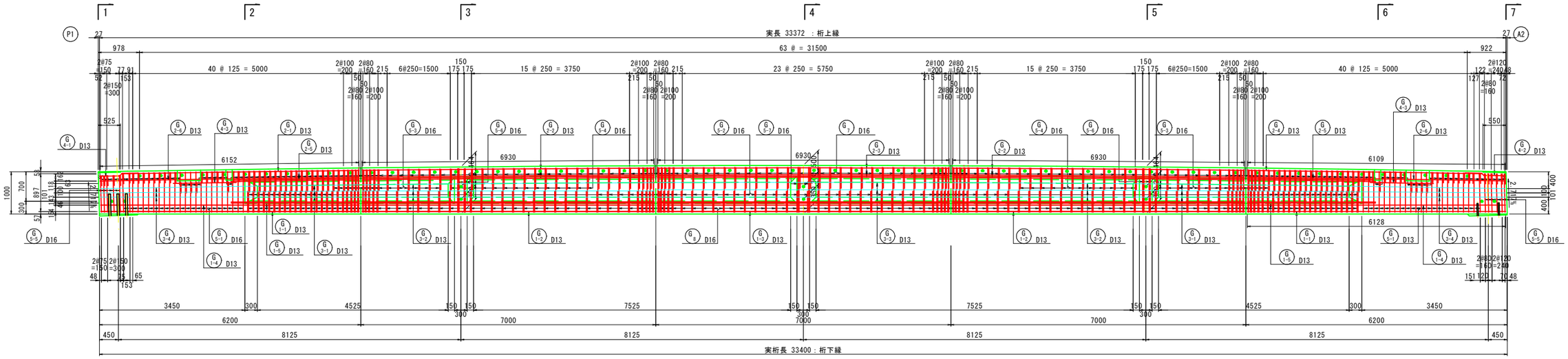
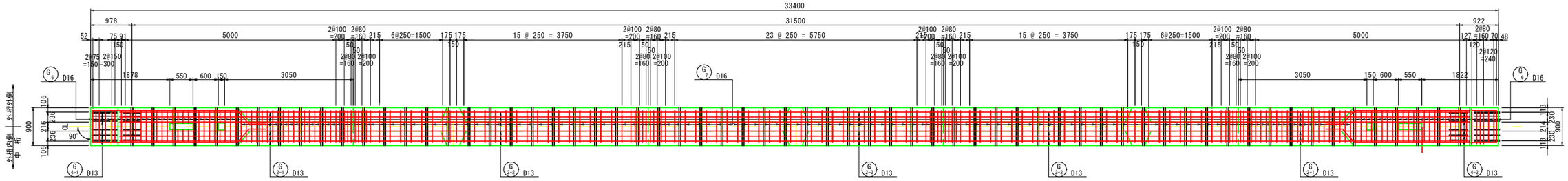
主桁配筋図（その１）〈P1～A2〉

側　面　図　S=1:50

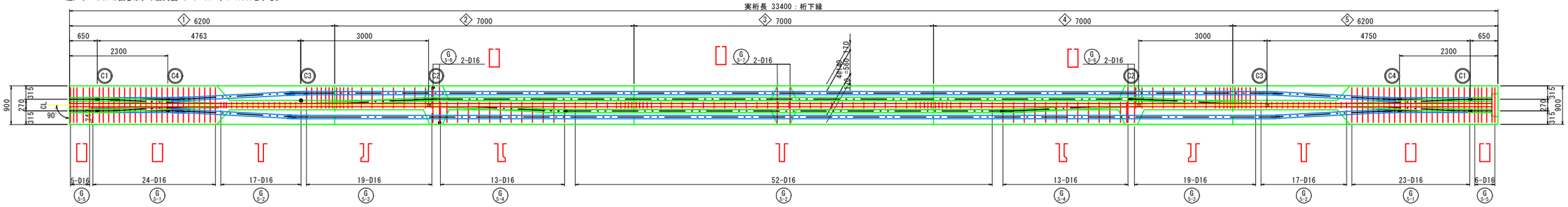


平　面　図　S=1:50



スターラップ配置図　S=1:50

注）ケーブルの捌きは、平面角度 θ=3° 00′、R=10000とする。



注）主桁製作時の注意事項

- レアー　・・・上部工一般図
- 張出し横桁差し筋，インサートアンカー　・・・横組工配筋図
- 張出し床版埋込筋，インサートアンカー　・・・張出し床版配筋図
- 地覆埋込筋　・・・地覆配筋図
- 伸縮装置用切欠き、及び補強筋　・・・伸縮継手詳細図

以上、各図面を参照し鉄筋配置を行う。

実施設計図

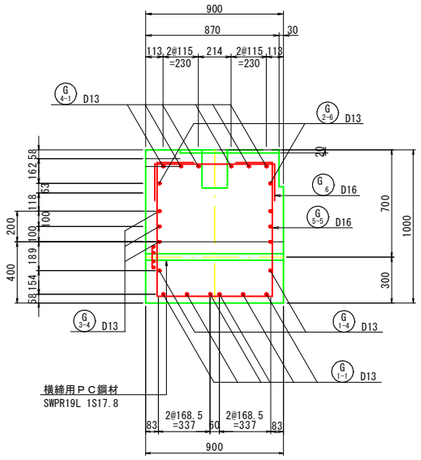
鹿　児　島　県	
工　事　名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線名~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	主桁配筋図（その１）〈P1～A2〉
縮　尺	S=1:50
図面番号	全 77 葉 第 21 号

主桁配筋図（その２）〈P1～A2〉

断　面　図　S=1:20

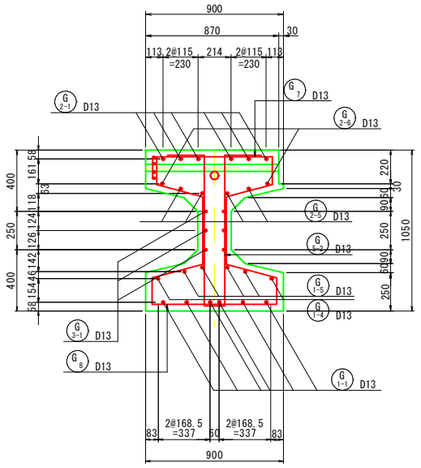
1 － 1（BL1）

外桁外側 | 外桁内側
中　桁



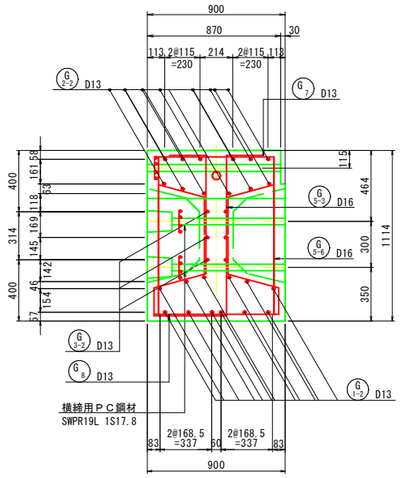
2 － 2（BL1）

外桁外側 | 外桁内側
中　桁



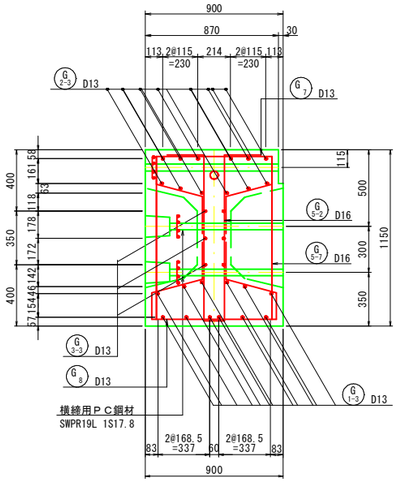
3 － 3（BL2）

外桁外側 | 外桁内側
中　桁



4 － 4（BL3）

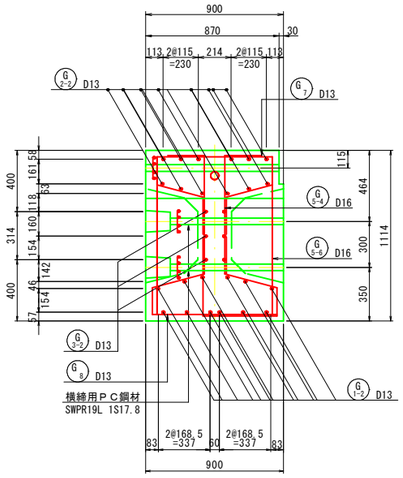
外桁外側 | 外桁内側
中　桁



かぶり詳細図　S=1:10

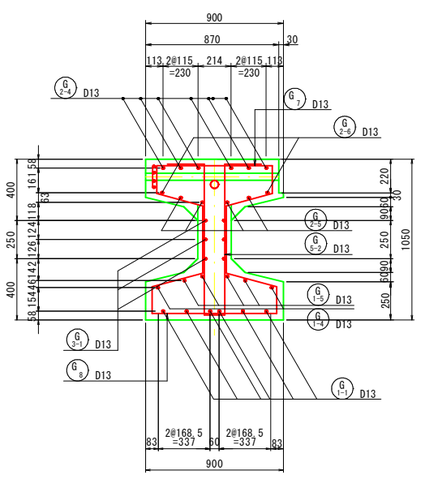
5 － 5（BL4）

外桁外側 | 外桁内側
中　桁



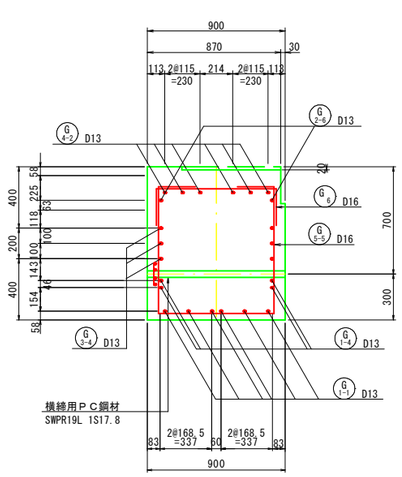
6 － 6（BL5）

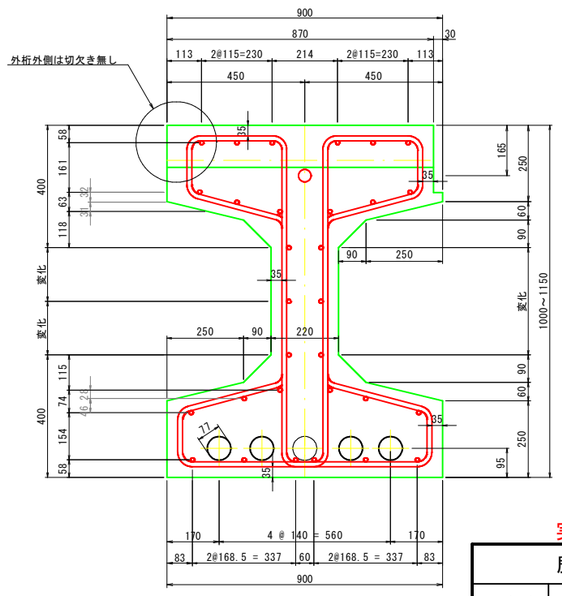
外桁外側 | 外桁内側
中　桁



7 － 7（BL5）

外桁外側 | 外桁内側
中　桁

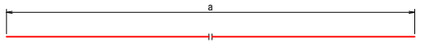




実施設計図

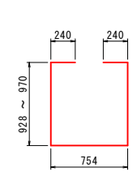
鹿　児　島　県	
工　事　名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川 ~~路線~~ 名	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	主桁配筋図（その２）〈P1～A2〉
縮　尺	図　示
図面番号	全 77 葉 第 22 号

主桁配筋図（その３）〈P1～A2〉

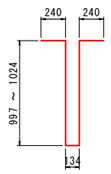


G　N-D × L

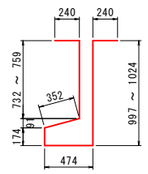
記号	ブロック	N	D	a	L
G1-1	1 5	12	D13	6130	6130
G1-2	2 4	12	D13	6930	6930
G1-3	3	6	D13	6930	6930
G1-4	1 5	4	D13	6130	6130
G1-5	1 5	12	D13	3100	3100
G2-1	1	6	D13	5610	5610
G2-2	2 4	12	D13	6930	6930
G2-3	3	6	D13	6930	6930
G2-4	5	6	D13	5580	5580
G2-5	1 5	12	D13	3100	3100
G2-6	1 5	8	D13	6130	6130
G3-1	1 5	12	D13	3100	3100
G3-2	2 4	12	D13	6930	6930
G3-3	3	6	D13	6930	6930
G3-4	1 5	12	D13	3380	3380
G4-1	1	6	D13	930	930
G4-2	5	6	D13	950	950
G4-3	1 5	4	D13	1500	1500



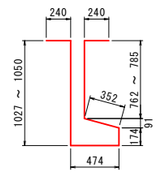
G 5-1　47-D16 × 3140（平均長）



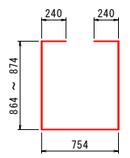
G 5-2　86-D16 × 2660（平均長）



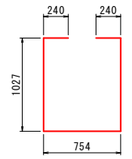
G 5-3　38-D16 × 3510（平均長）



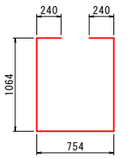
G 5-4　26-D16 × 3560（平均長）



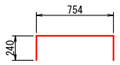
G 5-5　11-D16 × 2980（平均長）1 5



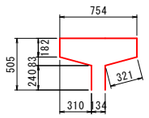
G 5-6　4-D16 × 3300（平均長）2 4



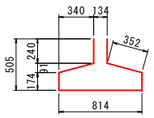
G 5-7　2-D16 × 3370（平均長）3



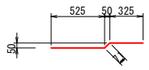
G 6　191-D16 × 1 160



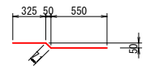
G 7　64-D16 × 2 230



G 8　149-D16 × 2 300



G 4-1　6-D13 × 930　1



G 4-2　6-D13 × 950　5

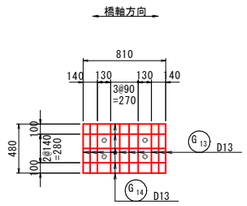
鉄　筋　表

（1桁当り）

記号	径	長　さ	N	単位質量	1本当たり質量	質　量	摘　要
G1-1	D13	6130	12	0.995	6.099	73	
G1-2	D13	6930	12	0.995	6.895	83	
G1-3	D13	6930	6	0.995	6.895	41	
G1-4	D13	6130	4	0.995	3.791	15	
G1-5	D13	3100	12	0.995	3.094	37	
G2-1	D13	5610	6	0.995	5.582	33	
G2-2	D13	6930	12	0.995	6.895	83	
G2-3	D13	6930	6	0.995	6.895	41	
G2-4	D13	5580	6	0.995	5.552	33	
G2-5	D13	3100	8	0.995	3.094	37	
G2-6	D13	6130	4	0.995	3.791	30	
G3-1	D13	3100	12	0.995	3.094	37	
G3-2	D13	6930	12	0.995	6.895	83	
G3-3	D13	6930	6	0.995	6.895	41	
G3-4	D13	3380	12	0.995	3.791	45	
G4-1	D13	930	6	0.995	0.925	6	
G4-2	D13	950	6	0.995	0.945	6	
G4-3	D13	1500	4	0.995	1.943	6	
G5-1	D16	3140	47	1.56	4.898	230	
G5-2	D16	2660	86	1.56	4.150	357	
G5-3	D16	3510	38	1.56	5.476	208	
G5-4	D16	3560	26	1.56	5.554	144	
G5-5	D16	2980	11	1.56	4.649	51	
G5-6	D16	3300	4	1.56	5.148	21	
G5-7	D16	3370	2	1.56	5.257	11	
G6	D16	1240	64	1.56	1.934	124	
G7	D16	2240	150	1.56	3.494	524	
G8	D16	2350	150	1.56	3.666	550	
G9	D16	775	12	1.56	1.209	15	
G10	D16	710	14	1.56	1.108	16	
G11	D13	970	28	0.995	0.965	27	
G12	D13	340	29	0.995	0.338	10	
G13	D13	480	10	0.995	0.478	5	
G14	D13	750	10	1.56	1.170	12	
G15	D13	420	9	1.56	0.655	6	
				SD345	D16	2251	kg
					D13	776	kg

記号	径	長　さ	本数	単位質量	1本当り質量	質　量	摘　要
H 1	D10	1860	4	0.560	1.042	5	
H 2-1	D10	960	2	0.560	0.538	2	
H 2-2	D10	1280	2	0.560	0.717	2	
H 3-1	D10	2560	2	0.560	1.434	3	
H 3-2	D10	2420	2	0.560	1.355	3	
F 1	D16	1100	8	1.56	1.716	14	
F 2	D16	1400	20	1.56	2.184	44	
F 3	D16	1900	2	1.56	2.964	6	
F 4	D16	1130	2	1.56	1.763	4	
				SD345	D16	68	kg
					D10	15	kg
				SD345	D16	2319	kg
					小計	2319	kg
					D13	776	kg
					D10	15	kg
					合計	3110	kg

沓座補強筋(S3)



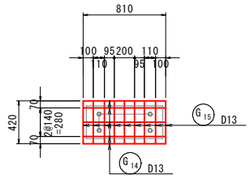


G 13　10-D13 × 480



G 14　10-D13 × 750

沓座補強筋(S4)





G 15　9-D13 × 420

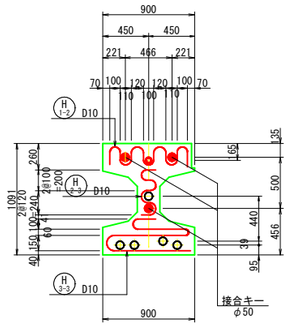
実施設計図

鹿　児　島　県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	主桁配筋図（その３）〈P1～A2〉
縮尺	S=1:30
図面番号	全 77 葉 第 23 号

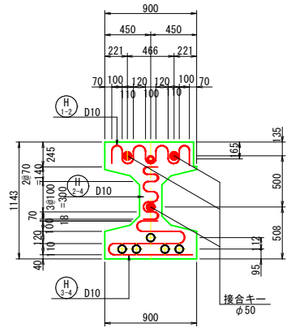
セグメント継目詳細図〈P1～A2〉

セグメント継目詳細図 S=1:30

C － C



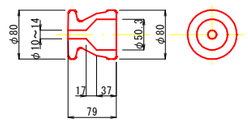
D － D



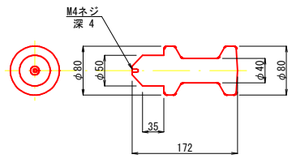
接合キー詳細図 S=1:5

（φ50）

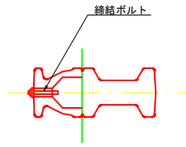
メス型キー

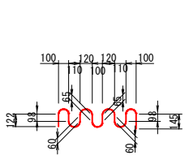


オス型キー

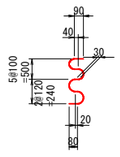


接合キー取付図 S=1:5

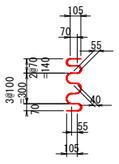




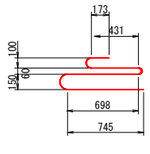
H 1-2 4-D10 × 1 860



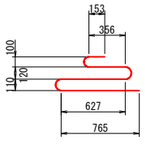
H 2-3 2-D10 × 960



H 2-4 2-D10 × 1 280



H 2-3 2-D10 × 2 560

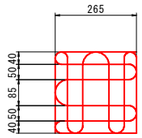


H 3-4 2-D10 × 2 420

グリッド筋 S=1:10

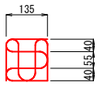
縦 締 め 用

12S12.7B（D10）

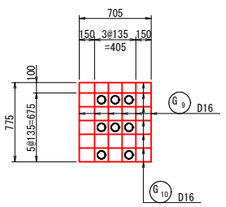


横 締 め 用

1S17.8（φ6）

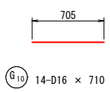


定 着 部 補 強 筋



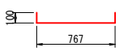


G9 12-D16 × 775



G10 14-D16 × 710

鋼 材 保 持 筋



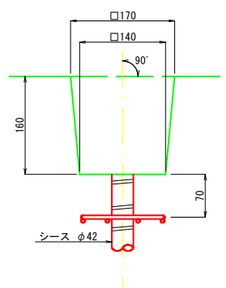
G11 28-D13 × 970



G12 29-D13 × 340

定着部切欠き詳細図 S=1:5

中間横桁部

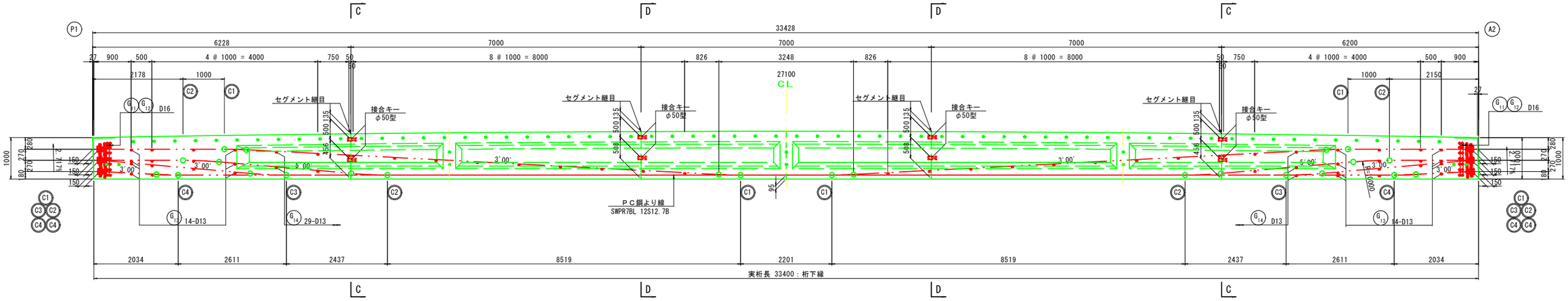


実 施 設 計 図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和８年度 総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線名~~	二級河川 大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村 大里 地内
図面種類	セグメント継目詳細図〈P1～A2〉
縮 尺	図 示
図面番号	全 77 葉 第 24 号

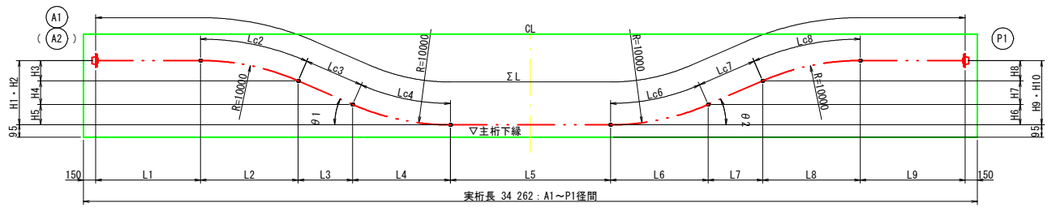
PC鋼材配置図〈P1～A2〉

側 面 図　S=1:50



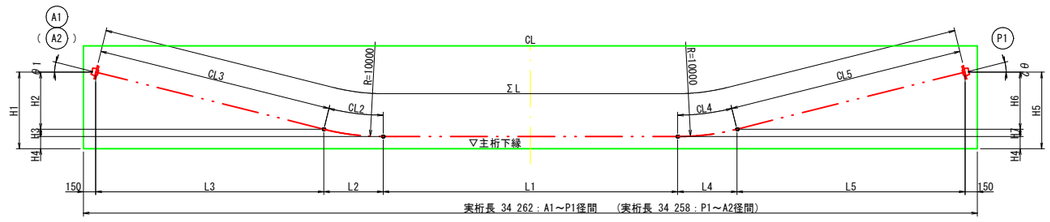
P C 鋼 材 数 値 表　SWPR7BL 12S12.7B

C1・C2ケーブル



ケーブル	本数	θ1	θ2	H1 H10	H2 H9	H3 H8	H4 H7	H5 H6	L01 L02	L1 L9	L2 L8	L3 L7	L4 L6	L5	ΣL	Lc1 Lc9	Lc2 Lc8	Lc3 Lc7	Lc4 Lc6	Lc5	ΣLc
C1	1	5°00'	5°00'	720	720	706	109	95	150	3000	523	11403	523	2201	33399	3000	524	11418	524	2201	33133
C2	2	3°00'	3°00'	450	450	412	133	95	150	2000	872	3188	872	19238	33402	2000	873	3200	873	19238	33130

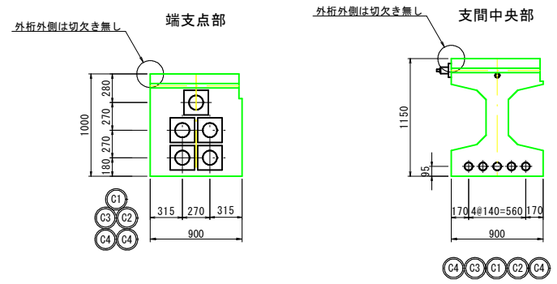
C4ケーブル



ケーブル	本数	θ1	θ2	H1 H10	H2 H9	H3 H8	H4 H7	H5 H6	L01 L02	L1 L9	L2 L8	L3 L7	L4 L6	L5	ΣL	Lc1 Lc9	Lc2 Lc8	Lc3 Lc7	Lc4 Lc6	Lc5	ΣLc
C3	1	5°00'	5°00'	450	450	450	133	95	150			3623	872	24111	33401			3637	873	24111	33131
C4	2	3°00'	3°00'	180	180	180	109	95	150			1360	523	29332	33398			1362	524	29332	33104

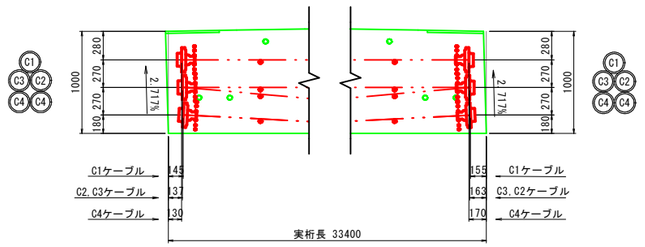
P1～A2径間 ケーブル総延長 ＝ 33.133 ＋ 33.130 ＋ 33.131 ＋ 33.104 × 2 ＝ 165.602 m

断 面 図　S=1:30

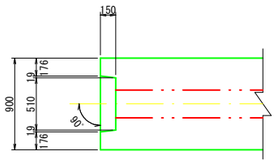


定着部詳細図　S=1:30

P1～A2径間



定着部切欠き詳細図　S=1:30



P C 鋼材質量表

P1～A2径間

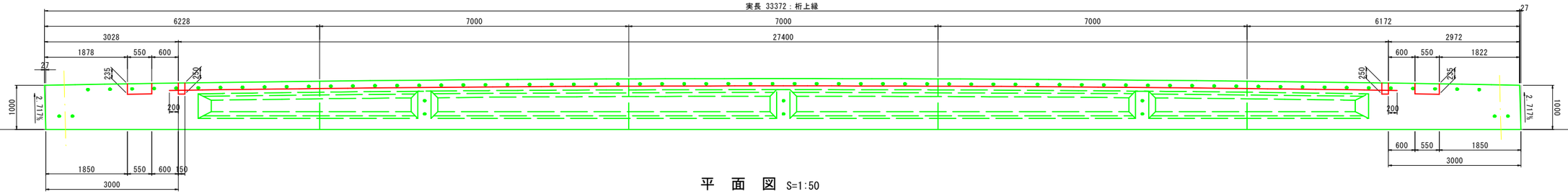
記 号	径	長 さ(m)	本数	単位質量	延 長(m)	質 量(kg)	摘 要
C 1	12S12.7B	33.133	1	9.288	33.133	307.7	
C 2	12S12.7B	33.130	1	9.288	33.130	307.7	
C 3	12S12.7B	33.131	1	9.288	33.131	307.7	
C 4	12S12.7B	33.104	2	9.288	66.208	614.9	
合計					165.602	1538.0	

実 施 設 計 図

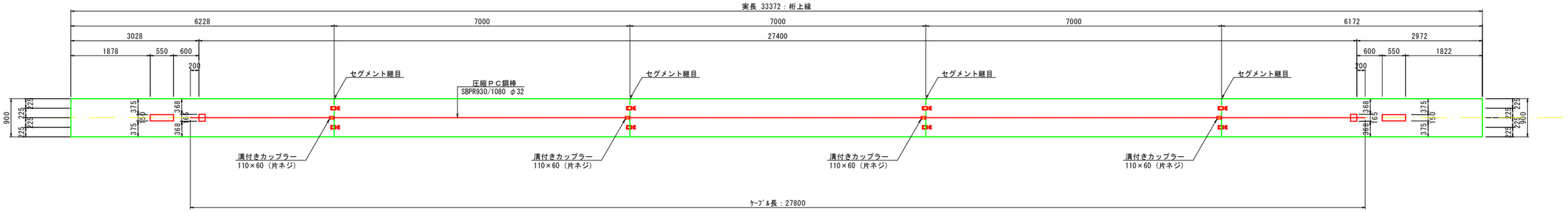
鹿 児 島 県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線名~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市　町 村　大里　地内
図面種類	PC鋼材配置図〈P1～A2〉
縮 尺	図 示
図面番号	全 77 葉 第 25 号

圧縮PC鋼材配置図〈P1～A2〉

側　面　図 S=1:50



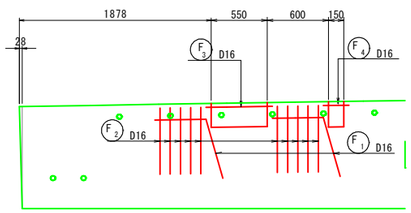
平　面　図 S=1:50



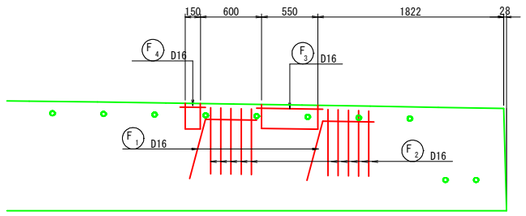
上縁定着部補強鉄筋配置図 S=1:30

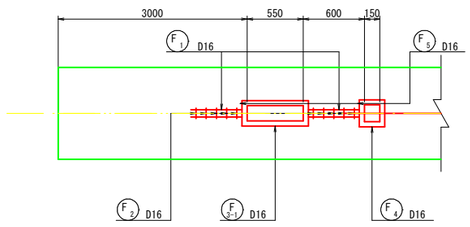
側　面　図

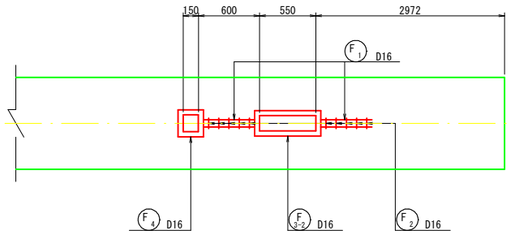
A1 側

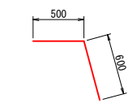


P1 側

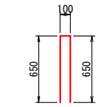








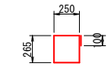
F1 8-D16 × 1 100



F2 20-D16 × 1 400



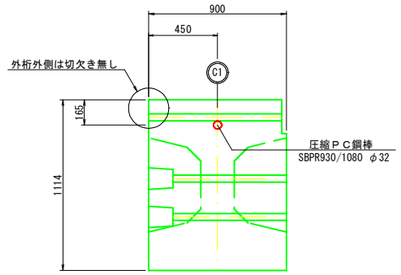
F3 2-D16 × 1 900



F4 2-D16 × 1 130

断　面　図 S=1:20

支間中央部



鋼　材　長

P1～A2径間

ケーブル	n	長 さ (m)	延 長 (m)
C1	1	27.800	27.800
計	1	—	27.800

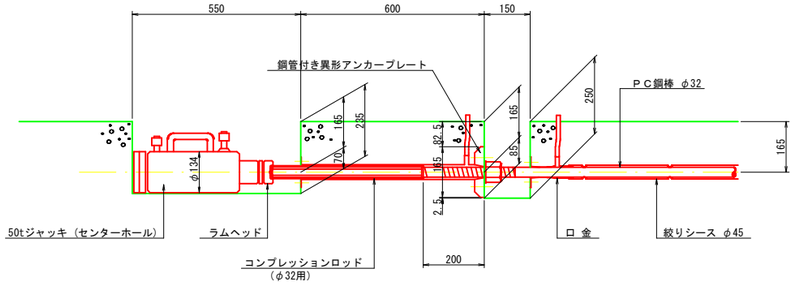
実 施 設 計 図

鹿　児　島　県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村 大里 地内
図面種類	圧縮PC鋼材配置図〈P1～A2〉
縮　尺	図 示
図面番号	全 77 葉 第 26 号

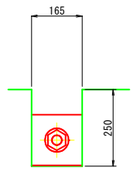
圧縮PC鋼材詳細図〈P1～A2〉

定 着 部 詳 細 図 S=1:10

側 面 図

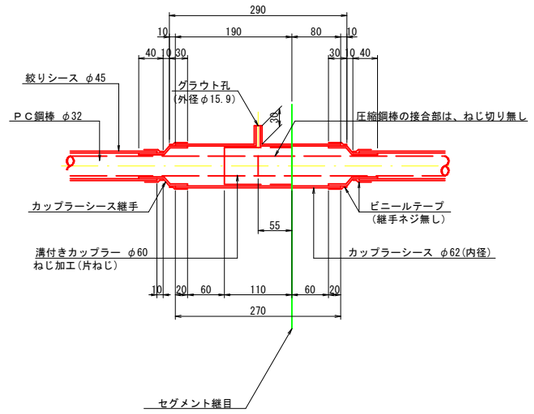


断 面 図



カップラーシース詳細図 S=1:5

セグメント継目部設置詳細図

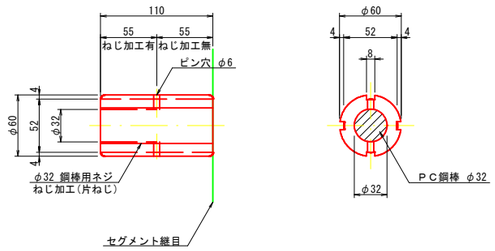


溝付きカップラー詳細図 S=1:3

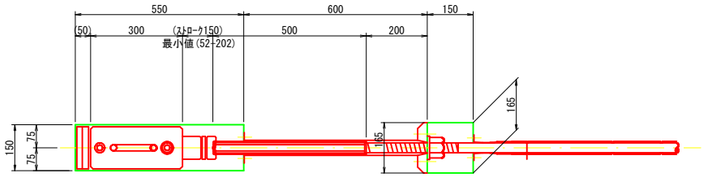
（φ32用）

特殊タイプ

（セグメント継目用）

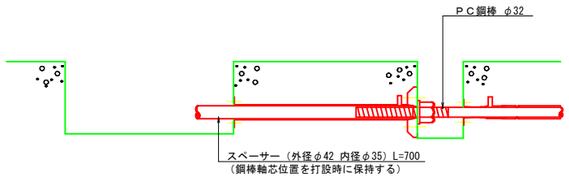


平 面 図



スペーサー組立図 S=1:10

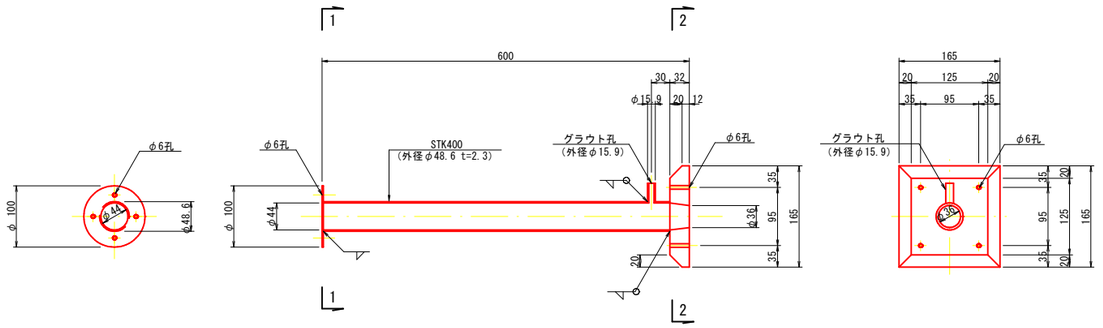
（軟質ポリナイト水道用管）



1 － 1

鋼管付き異形アンカープレート S=1:5

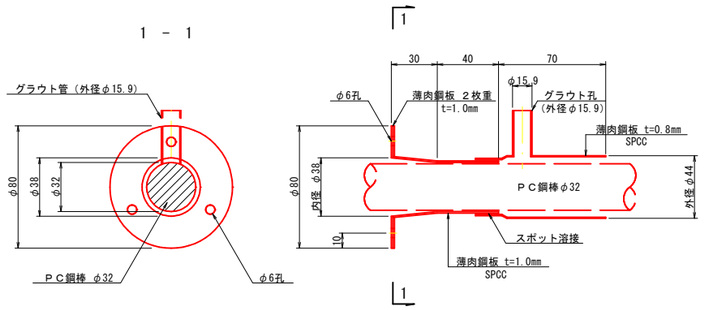
（φ32用）



2 － 2

口 金 詳 細 図 S=1:2

1 － 1

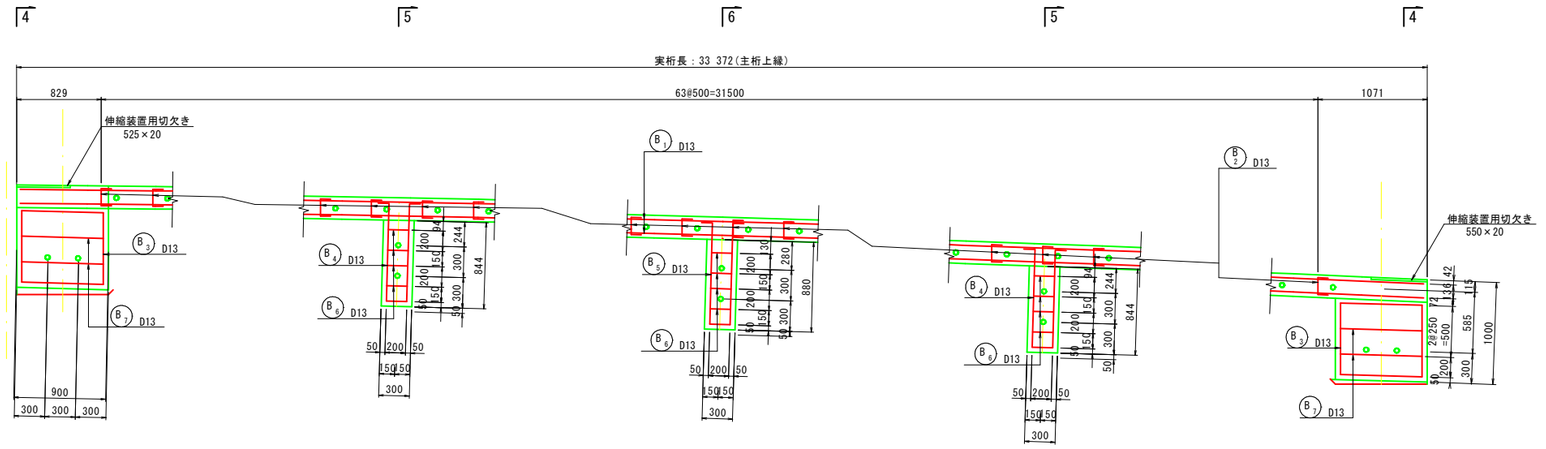


実 施 設 計 図

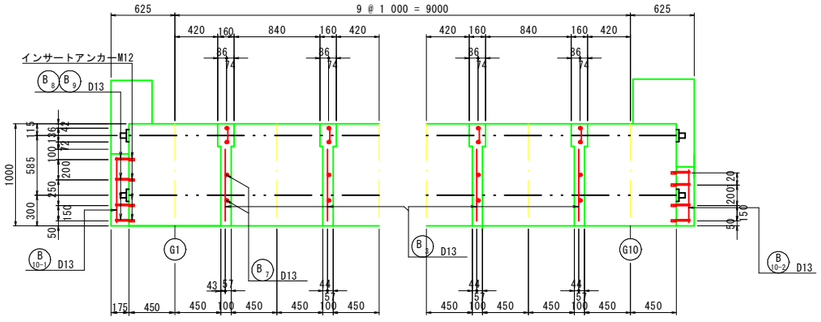
鹿 児 島 県	
工 事 名	令和８年度 総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河 川 名	二級河川 大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村 大里 地内
図面種類	圧縮PC鋼材詳細図〈P1～A2〉
縮 尺	図 示
図面番号	全 77 葉 第 27 号

横組工配筋図（その１）〈P1～A2〉

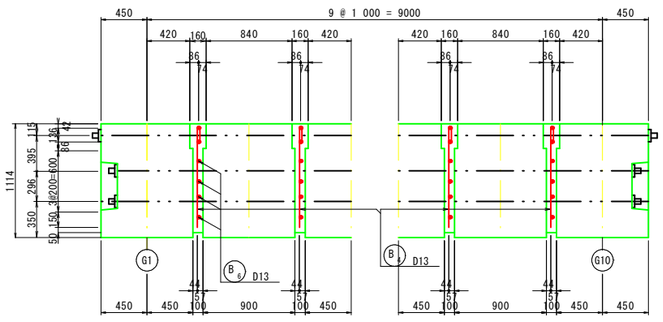
側　面　図　S=1:30



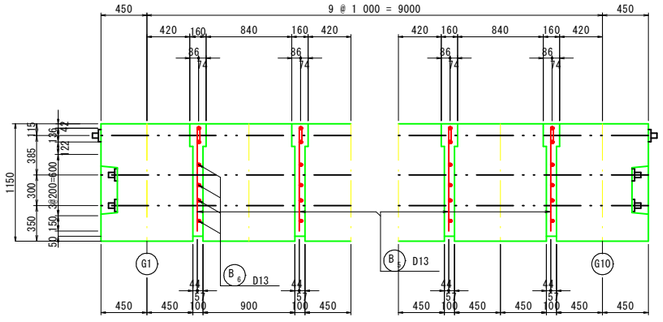
4 － 4



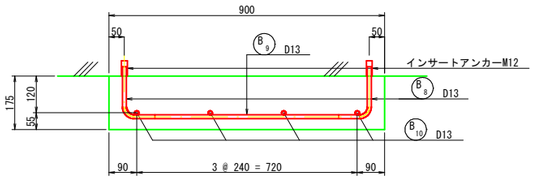
5 － 5



6 － 6



ダイヤフラム平面図　S=1:10

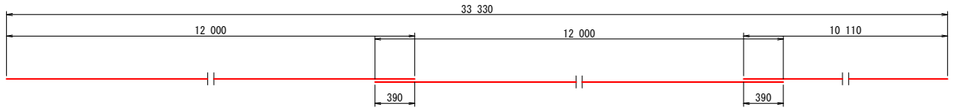


実施設計図

鹿　児　島　県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都(市) 町 村　大里　地内
図面種類	横組工配筋図（その１）〈P1～A2〉
縮尺	図示
図面番号	全 77 葉　第 28 号

横組工配筋図（その２）〈P1～A2〉

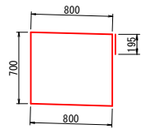
P1



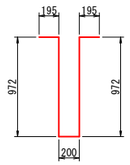
B1 18-D13 × 34 110



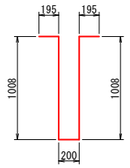
B2 576-D13 × 340



B3 18-D13 × 2 500



B4 18-D13 × 2 340



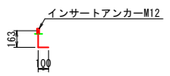
B5 9-D13 × 2 410



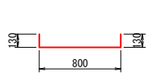
B6 108-D13 × 200



B7 36-D13 × 800



B8 32-D13 × 270
（ネジ切り）



B9 16-D13 × 1 060



B(10-1) 8-D13 × 630（平均長）



B(10-2) 8-D13 × 510（平均長）

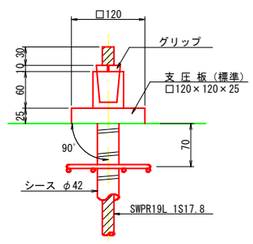
鉄　筋　表

（1橋当り）

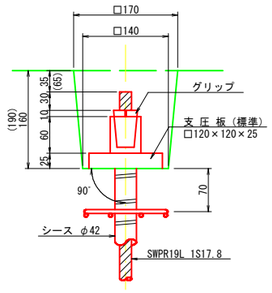
記号	径	長　さ	本　数	単位質量	1本当たり質量	質　量	摘　要
B 1	D13	34 110	18	0.995	33.939	611	
B 2	D13	340	576	0.995	0.338	195	
B 3	D13	2 500	18	0.995	2.488	45	
B 4	D13	2 340	18	0.995	2.328	42	
B 5	D13	2 410	9	0.995	2.398	22	
B 6	D13	200	108	0.995	0.199	21	
B 7	D13	800	36	0.995	0.796	29	
B 8	D13	270	32	0.995	0.269	9	ネジ切り
B 9	D13	1 060	16	0.995	1.055	17	
B 10-1	D13	630	8	0.995	0.627	5	
B 10-2	D13	510	8	0.995	0.507	4	
						1000	
SD345	D13			1000	kg		
	合計			1000	kg		
インサートアンカーM12				32	個		

定着具詳細図　S=1:5

床版・端部

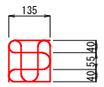


中間（張出し横桁部）



グリッド筋　S=1:10

1S17.8（φ6）



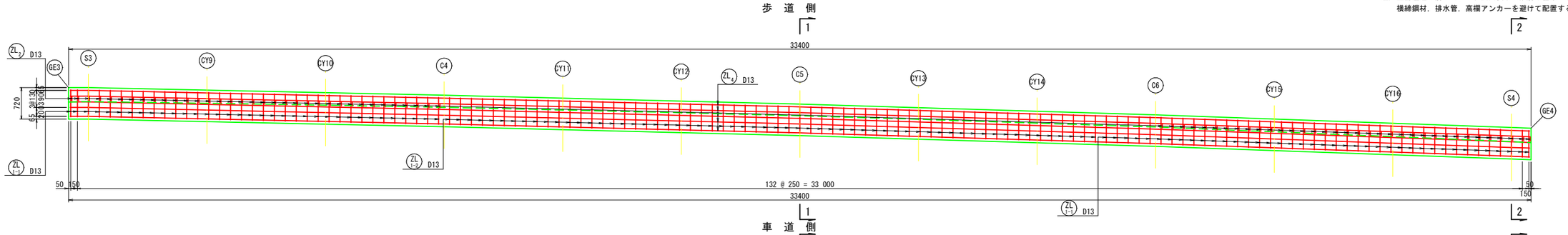
実 施 設 計 図

鹿　児　島　県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村 大里　地内
図面種類	横組工配筋図（その２）〈P1～A2〉
縮　尺	S=1:30
図面番号	全 77 葉 第 29 号

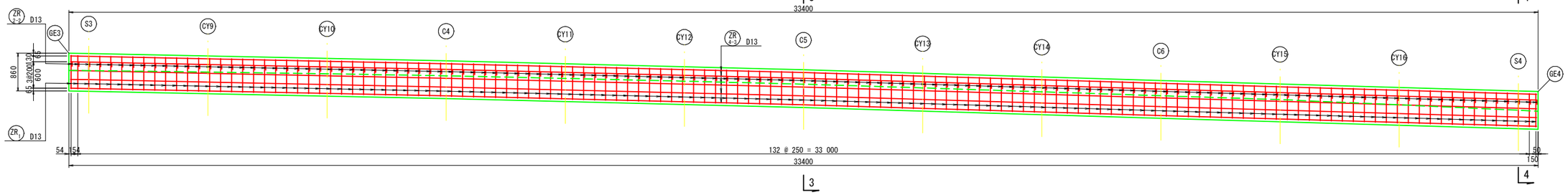
地覆配筋図（その１）〈P1～A2〉

側　面　図　S=1:50

歩　道　側

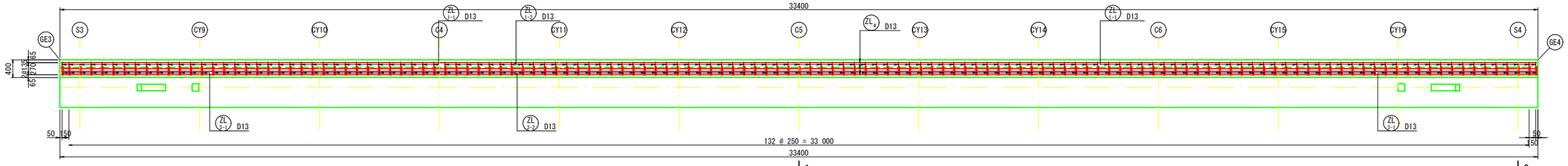


車　道　側

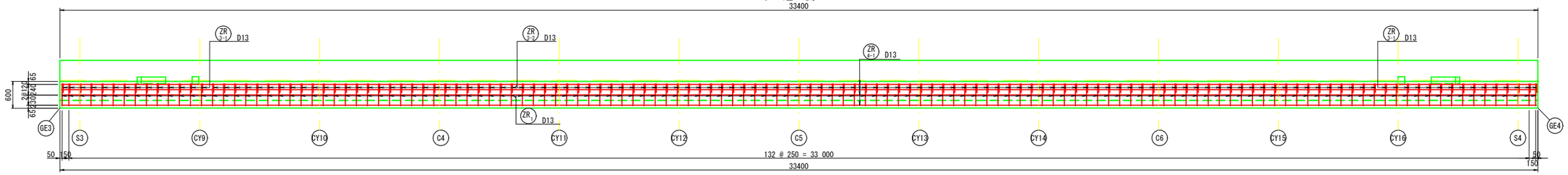


平　面　図　S=1:50

歩　道　側



車　道　側



注）主桁埋込み筋について、図面表示の鉄筋は基本ピッチとし
横締鋼材，排水管，高欄アンカーを避けて配置する。

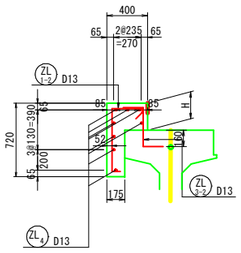
実施設計図

鹿　児　島　県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都市 町村 大里 地内
図面種類	地覆配筋図（その１）〈P1～A2〉
縮尺	S=1:50
図面番号	全 77 葉 第 30 号

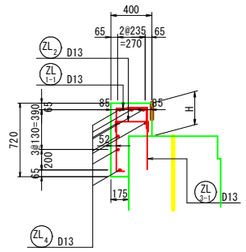
地覆配筋図（その２）〈P1～A2〉

断　面　図 S=1:30

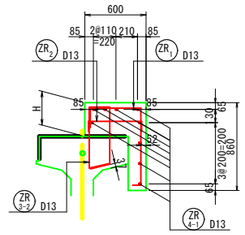
1 － 1



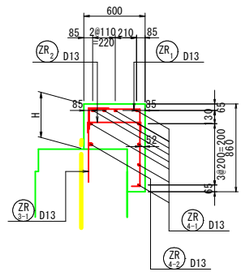
2 － 2



3 － 3

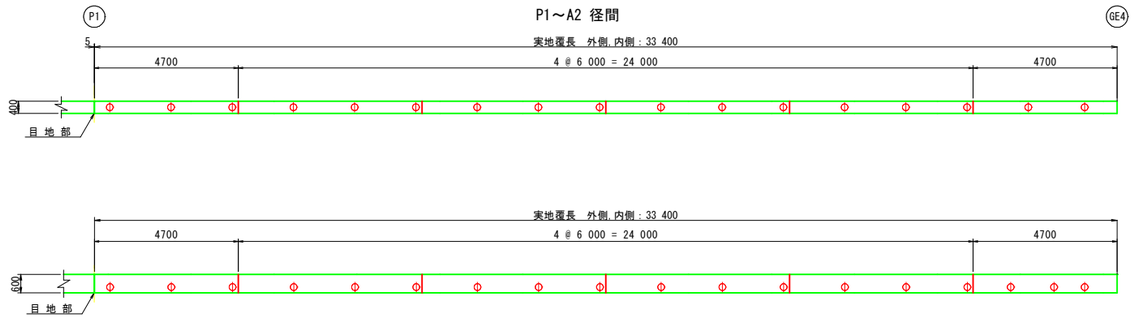


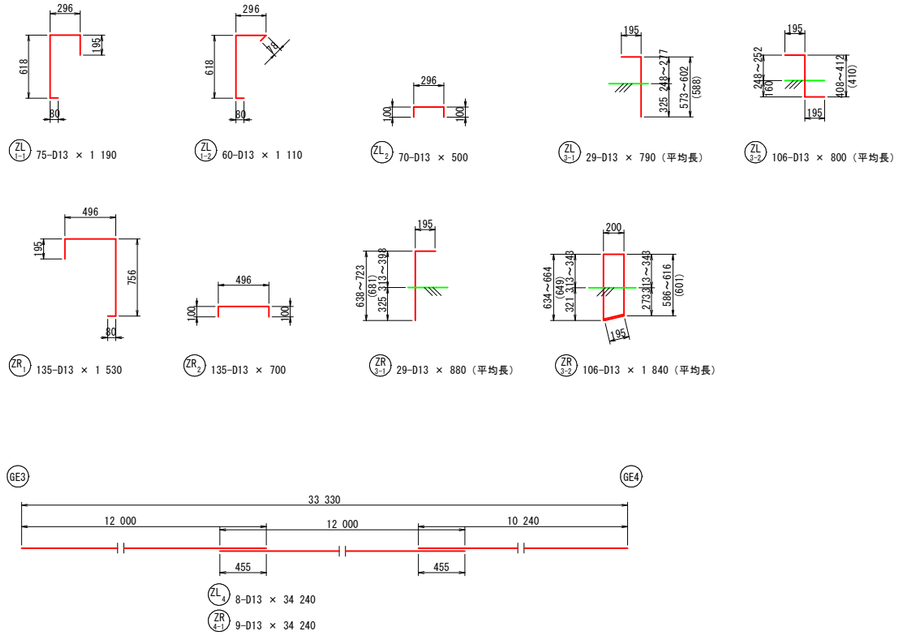
4 － 4



※ 施工時にかぶりは最低30mm確保する事。

Ｖカット配置図 S=1:100



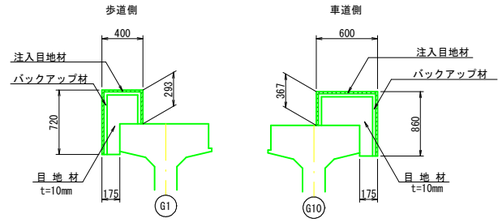


鉄　筋　表

（1橋当り）

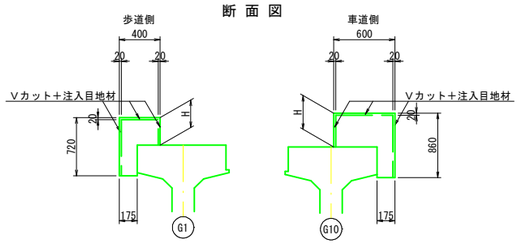
記号	径	長　さ	本　数	単位質量	1本当たり質量	質　量	摘　要
ZL 1-1	D13	1190	75	0.995	1.184	89	
ZL 1-2	D13	1110	60	0.995	1.104	66	
ZL 2	D13	500	70	0.995	0.498	35	
ZL 3-1	D13	790	29	0.995	0.786	23	平均長
ZL 3-2	D13	800	106	0.995	0.796	84	平均長
ZL 4	D13	34240	8	0.995	34.069	273	
						570 kg （463kg）	
ZR 1	D13	1530	135	0.995	1.522	205	
ZR 2	D13	700	135	0.995	0.697	94	
ZR 3-1	D13	880	29	0.995	0.876	25	平均長
ZR 3-2	D13	1840	106	0.995	1.831	194	平均長
ZR 4-1	D13	34240	9	0.995	34.069	307	
ZR 4-2	D13	1040	1	0.995	1.035	1	
						826 kg （607kg）	
SD345	D13				1396kg（1070kg）		

目地部止水処理 S=1:30

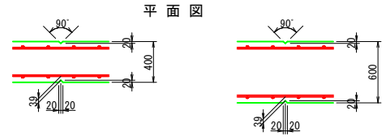


Ｖカット詳細図 S=1:30

断 面 図



平 面 図



数　値　表

P1～A2 径間

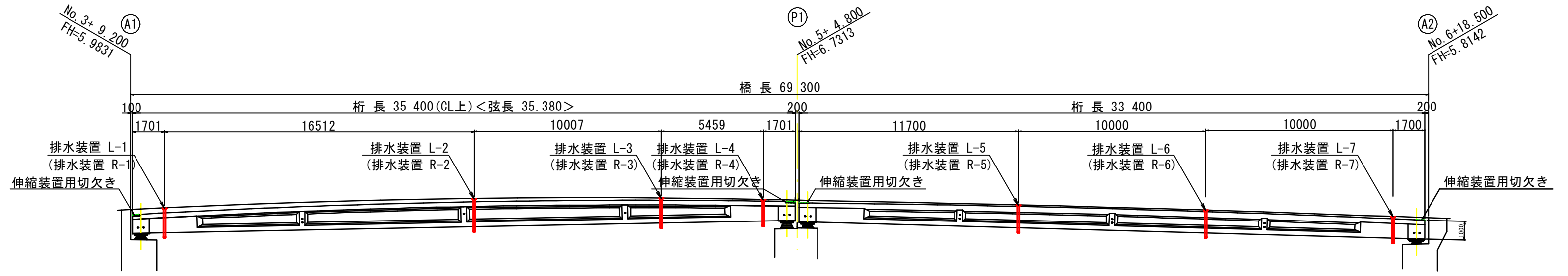
	歩道側地覆	車道側地覆
	H	H
GE3	328	393
S3	324	389
CY9	303	368
CY10	289	354
C4	280	345
CY11	273	338
CY12	270	335
C5	269	334
CY13	271	336
CY14	276	341
C6	284	349
CY15	295	361
CY16	308	401
S4	325	443
GE4	328	450
平 均	288	358

実 施 設 計 図

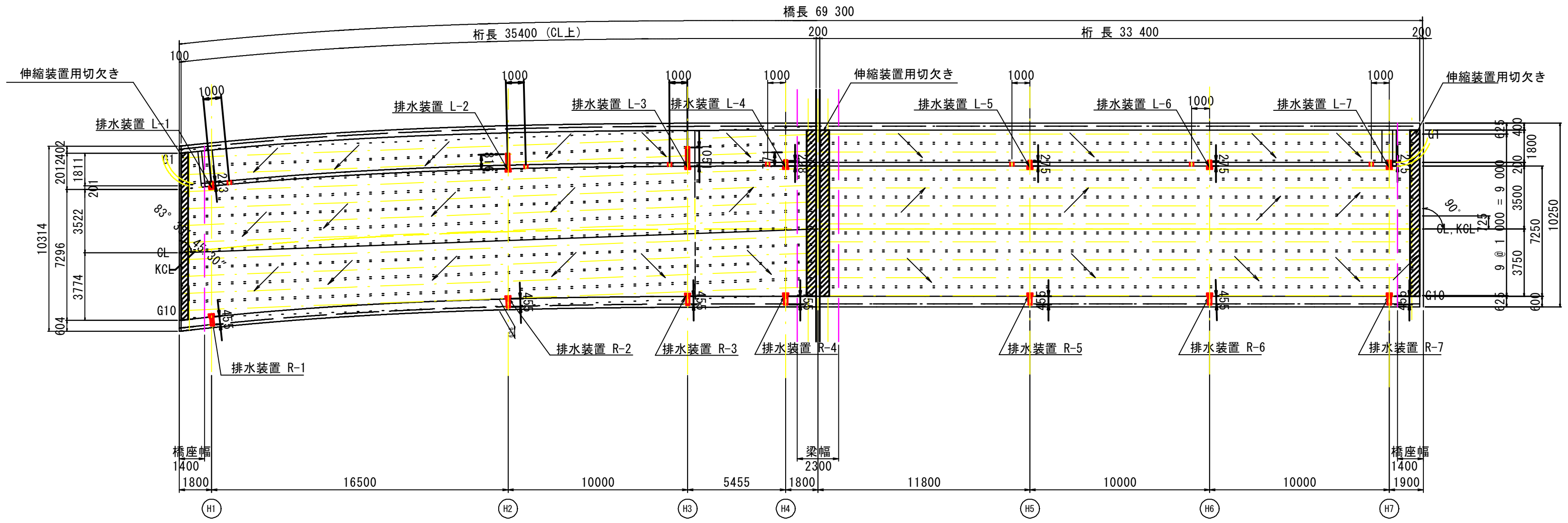
鹿　児　島　県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川 ~~路線~~ 名	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都 市 町 村 大里　地内
図面種類	地覆配筋図（その２）〈P1～A2〉
縮　尺	S=1:30
図面番号	全 77 葉 第 31 号

排水工詳細図（その１）

側　面　図　S=1:200

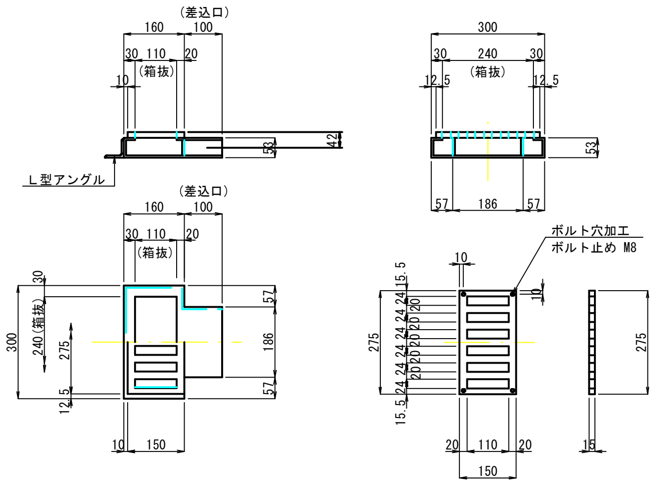


平　面　図　S=1:200



排 水 桝　S=1:10

（差込口付）
（ SUS, t=6.0mm ）
N = 14



注）フタはボルトによる取り付けとする。
ただし、ボルトは目皿上面に飛び出ない仕様とする。

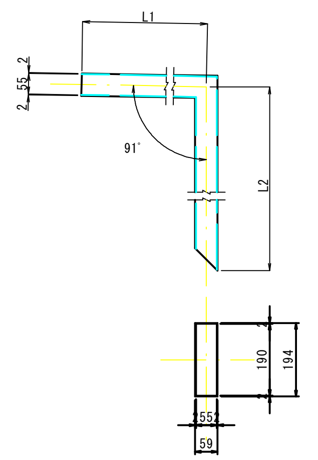
排水桝材料表

（1ヶ所当り）

符号	品　名	材　質	数量	質量(kg)	備　考
1	目　皿	FC 250	1	2.9	ボルト穴加工
2	排 水 桝	SUS 304	1	6.88	板 厚 6mm
3	補強アングル	SUS 304	1	1.35	L-50 x 50 x 6
1組分合計　FC250：W1＝2.9kg/個　SUS：W2＝8.23kg/組					

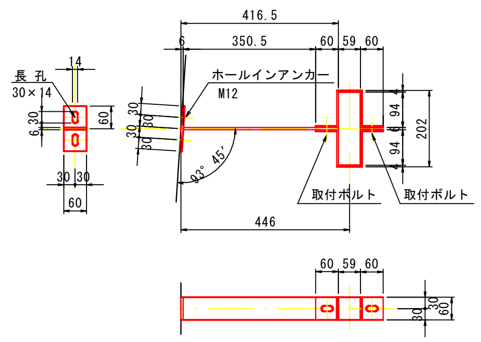
角 型 排 水 管　S=1:10

（ SUS, t=2.0mm ）
L= L3 (W= w1 kg)
N = 各1

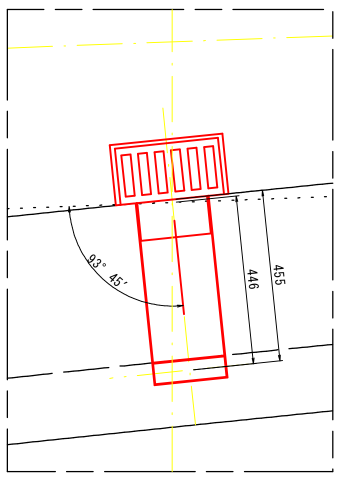


タイプ	L1	L2	L3	w1(kg)
L-1	223	1535	1760	13.9
L-2	817	1684	2510	19.8
L-3	1052	1518	2570	20.3
L-4	299	1361	1660	13.1
L-5	275	1435	1710	13.5
L-6	275	1435	1710	13.5
L-7	275	1355	1630	12.9
R-1	455	1335	1790	14.1
R-2	455	1783	2240	17.7
R-3	455	1678	2140	16.9
R-4	455	1525	1980	15.6
R-5	455	1425	1880	14.8
R-6	455	1430	1890	14.9
R-7	455	1395	1850	14.6

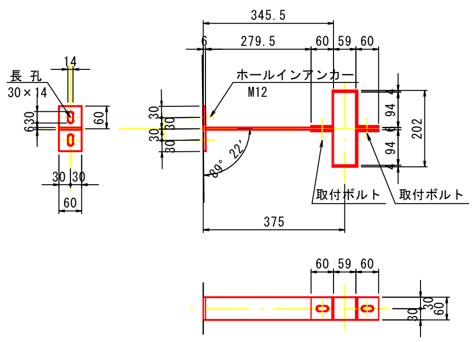
取付金具 R-1



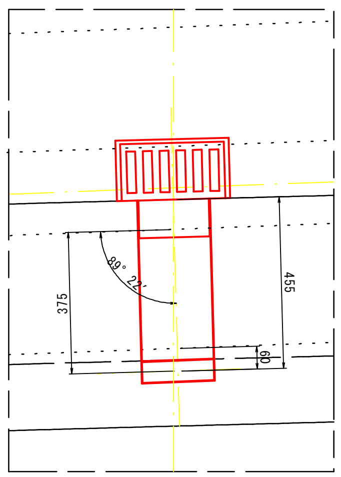
1-PL60×6×530.5　1.51 kg
2-PL60×4×367　1.40 kg
2-ホールインアンカー M12(SUS304)
2-取付ボルト M12(SUS304)
1個当り質量　2.91 kg



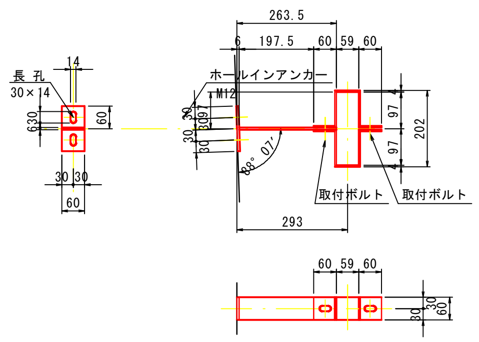
取付金具 R-2



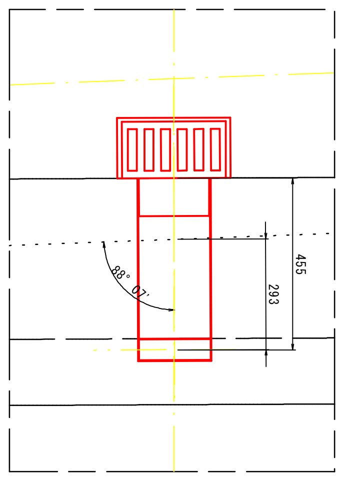
1-PL60×6×459.5　1.31 kg
2-PL60×4×367　1.40 kg
2-ホールインアンカー M12(SUS304)
3-取付ボルト M12(SUS304)
1個当り質量　2.71 kg



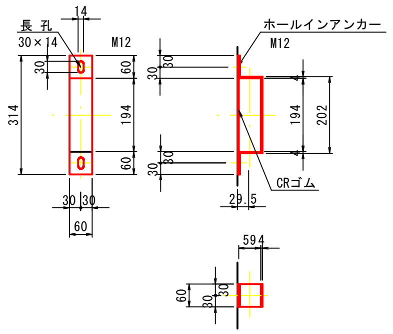
取付金具 R-3



1-PL60×6×377.5　1.08 kg
2-PL60×4×367　1.40 kg
2-ホールインアンカー M12(SUS304)
2-取付ボルト M12(SUS304)
1個当り質量　2.48 kg

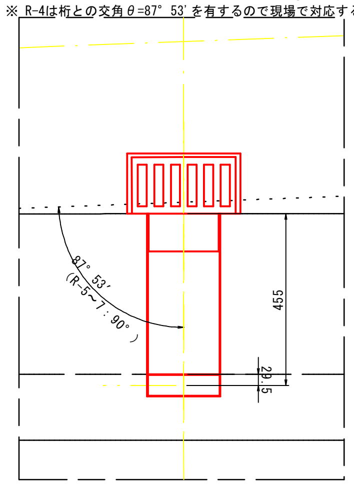


取付金具 R-4, R-5〜7



1-PL60×4×432　0.82 kg
2-ホールインアンカー M12(SUS304)
1-CRゴム　60×314×3
1個当り質量　0.82 kg

※ R-4は桁との交角θ=87° 53'を有するので現場で対応すること



材 料 表

名　称	仕　様	単 位	数　量	摘　要
排 水 桝 L, R	SUS304	個	14	W=11.1kg/個
角型排水管 L-1	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1760, W=13.9kg/個
角型排水管 L-2	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=2510, W=19.8kg/個
角型排水管 L-3	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=2570, W=20.3kg/個
角型排水管 L-4	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1660, W=13.1kg/個
角型排水管 L-5	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1710, W=13.5kg/個
角型排水管 L-6	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1710, W=13.5kg/個
角型排水管 L-7	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1630, W=12.9kg/個
角型排水管 R-1	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1790, W=14.1kg/個
角型排水管 R-2	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=2240, W=17.7kg/個
角型排水管 R-3	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=2140, W=16.9kg/個
角型排水管 R-4	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1980, W=15.6kg/個
角型排水管 R-5	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1880, W=14.8kg/個
角型排水管 R-6	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1890, W=14.9kg/個
角型排水管 R-7	SUS304	個	1	□190×55×2(内寸) L=1850, W=14.6kg/個
取付金具 R-1	角型管用 SUS304	組	1	W=2.91kg/組
取付金具 R-2	角型管用 SUS304	組	1	W=2.71kg/組
取付金具 R-3	角型管用 SUS304	組	1	W=2.48kg/組
取付金具 R-4,5,6,7	角型管用 SUS304	組	4	W=0.82kg/組

注）歩道部の排水は，排水装置の上流側 1m付近で，車道側へ排水できるように縁石に排水孔を設けること

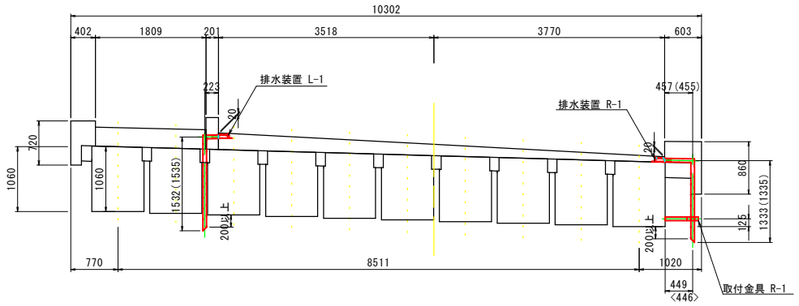
実 施 設 計 図

鹿　児　島　県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川 ~~路線~~ 名	二級河川　大里川
工 事 箇 所	いちき串木野 郡 (市)　町 村　大里　地内
図 面 種 類	排水工詳細図（その１）
縮　尺	図　示
図 面 番 号	全 77 葉　第 32 号

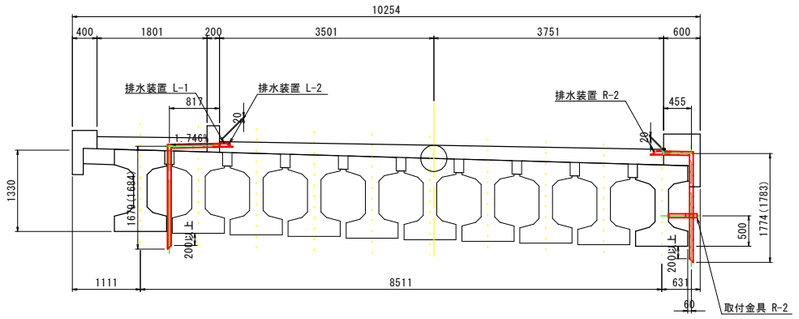
排水工詳細図（その2）

断　面　図　S=1:50

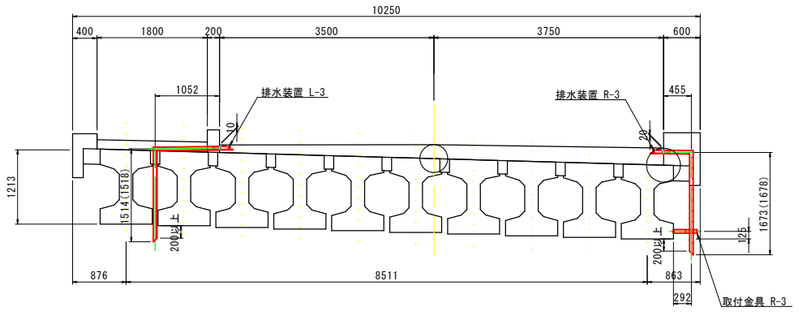
H1断面



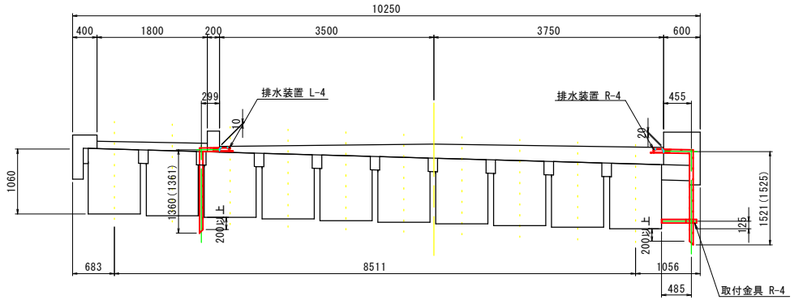
H2断面



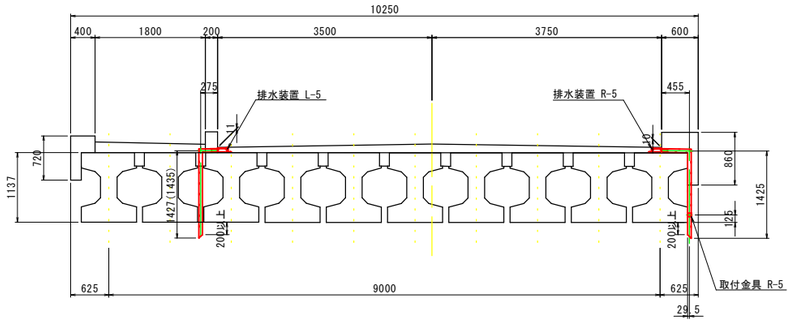
H3断面



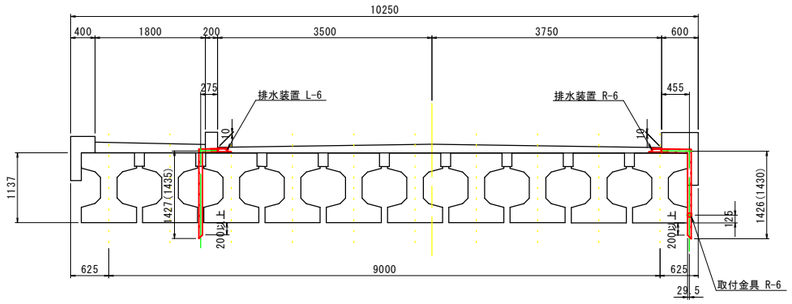
H4断面



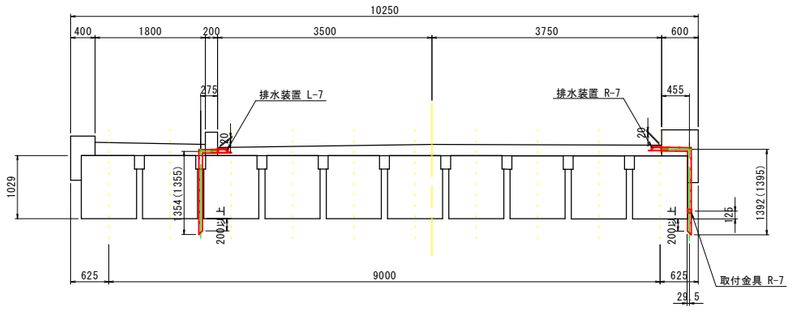
H5断面



H6断面



H7断面



※（ ）の値は排水管延長を10mm単位に丸めた長さにするための調整
〈 〉の値は取付金具を設置するための桁端面までの直寸法

注）排水位置は，橋台・橋脚のライン上に平行に設定している。
鋪装厚が薄くなる区間は，排水桝位置での切り下げ（標準20mm）
が確保できない場合は，切り下げを低く抑える必要がる。
現地の出来高より排水位置をずらすことも検討すること

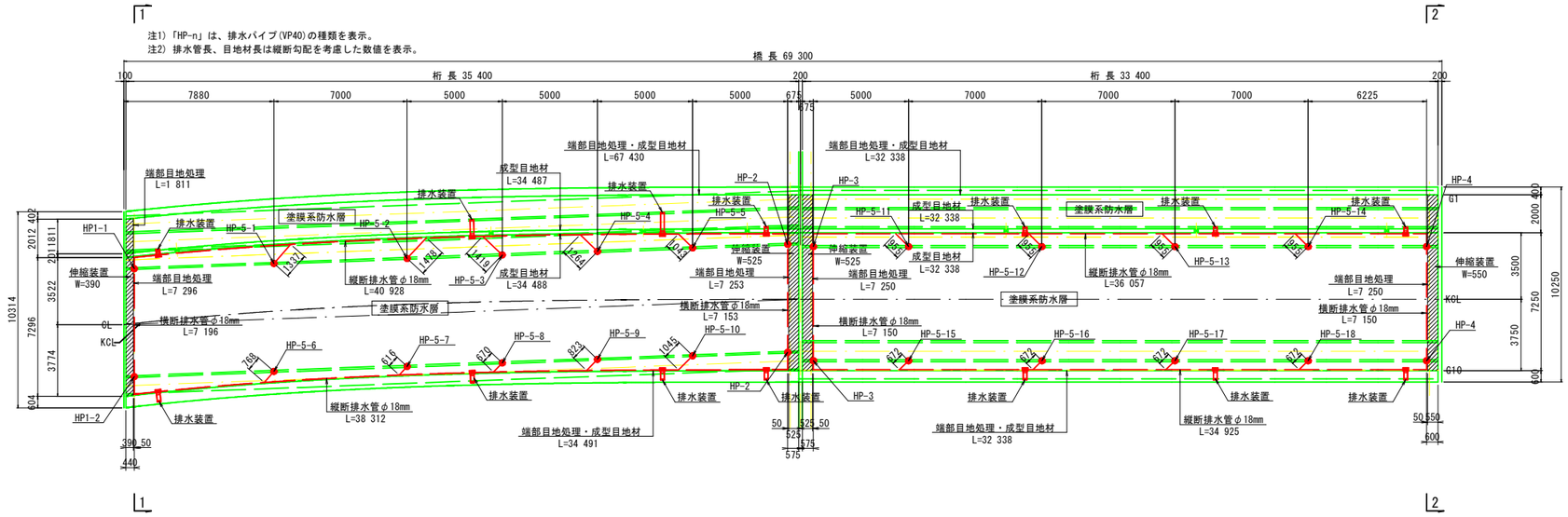
実施設計図

鹿　児　島　県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~普通~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都 市 町 村　大里　地内
図面種類	排水工詳細図（その２）
縮尺	S=1:50
図面番号	全 77 葉　第 33 号

防　水　工　詳　細　図（その１）

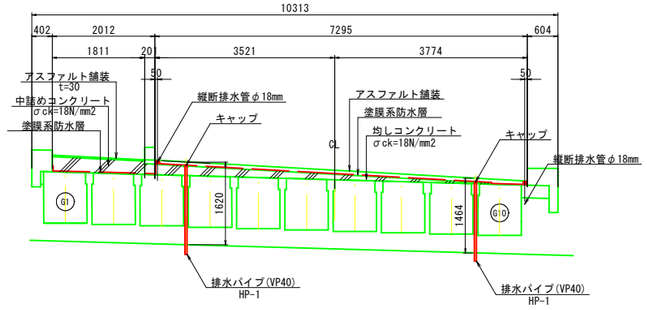
平　面　図　S=1:150

注1）「HP-n」は、排水パイプ(VP40)の種類を表示。
注2）排水管長、目地材長は縦断勾配を考慮した数値を表示。

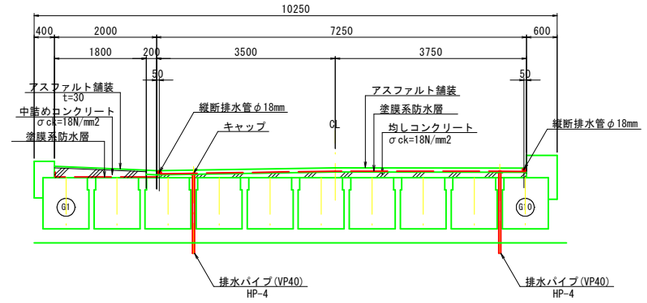


断　面　図　S=1:60

1 － 1

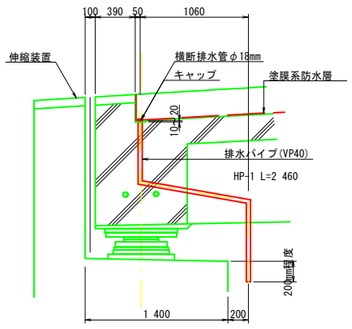


2 － 2

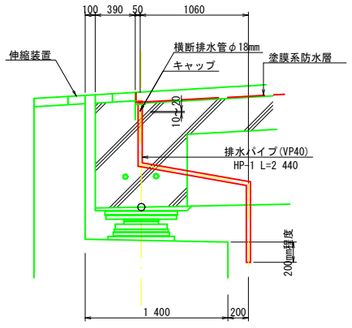


排水パイプ取付図　S=1:30

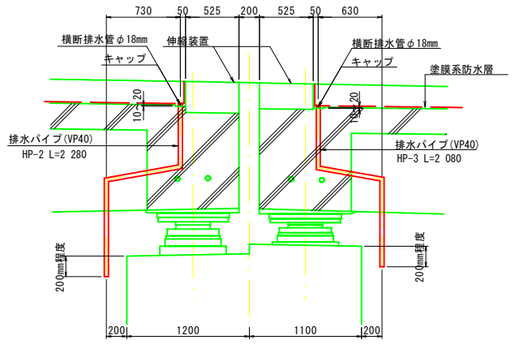
A1 (HP1-1)



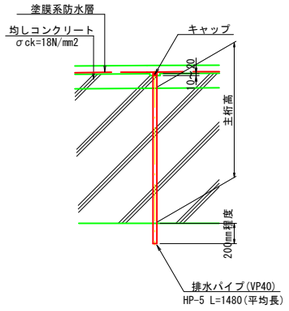
A1 (HP1-2)



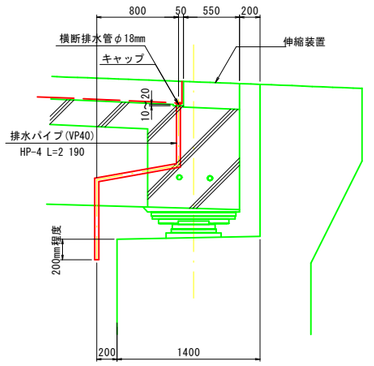
P1



一般部



A2 (HP4-1, HP4-2)



※本工事(R8-1工区)は、排水パイプを設置
別途工事でキャップ・橋面防水・縦横断排水管を設置

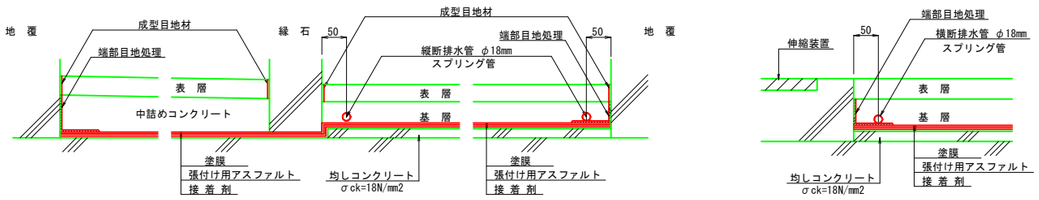
実　施　設　計　図

鹿　児　島　県	
工　事　名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都(市) 町村 大里 地内
図面種類	防水工詳細図（その１）
縮　尺	S=1:150
図面番号	全 77 葉 第 34 号

防　水　工　詳　細　図（その２）

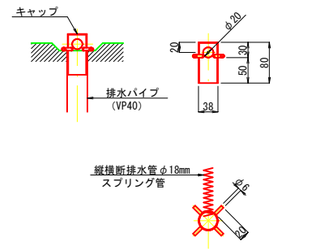
防　水　層　詳　細　図

歩 道 部　　車 道 部　　伸 縮 装 置 部



キャップ 詳 細 図　S=1:6

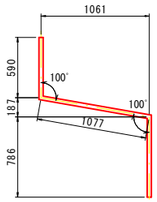
溶融亜鉛メッキ　ＨＤＺ35 以上



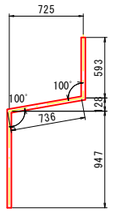
注）縦横断排水管（スプリング管）の表面処理は、
溶融亜鉛メッキ（ＨＤＺ３５）と同等品以上とする。
また、縦横断排水管の継手の重ね幅は、５ｃｍ以上とする。

排水パイプ加工図　S=1:30

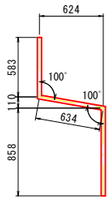
HP1-1
N=1, L=2 460



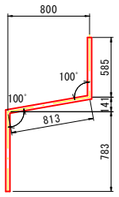
HP2
N=2, L=2 280



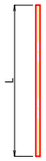
HP3
N=2, L=2 080



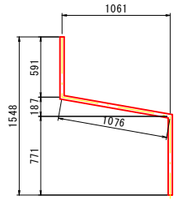
HP4
N=2, L=2 190



HP5
N=18, L=1480(平均長)



HP1-2
N=1, L=2 440



HP-5	舗装厚	桁高	L	HP-5	舗装厚	桁高	L
5- 1	223	1116	1460	5-10	268	1275	1670
5- 2	198	1229	1550	5-11	117	1083	1320
5- 3	181	1322	1630	5-12	97	1141	1360
5- 4	162	1325	1610	5-13	97	1146	1370
5- 5	139	1275	1540	5-14	117	1098	1340
5- 6	163	1116	1400	5-15	113	1083	1320
5- 7	222	1229	1580	5-16	94	1141	1360
5- 8	258	1322	1710	5-17	94	1146	1360
5- 9	264	1325	1670	5-18	113	1098	1340
						平均長	1480

防 水 工 材 料 表

名　称	規　格	単 位	数 量	備　考
防 水 層	塗膜	m2	618.136	
縦断排水管	スプリング管 φ18mm	m	150.22	溶融亜鉛メッキ（HDZ35）と同等品以上
横断排水管	スプリング管 φ18mm	〃	28.65	
成型目地材		〃	265.76	
排水パイプ	HP-1-1　(VP40)	m	2.46	L=2.460m　N=1
	HP-1-2　(VP40)	m	2.44	L=2.440m　N=1
	HP-2　(VP40)	m	4.56	L=2.280m　N=2
	HP-3　(VP40)	m	4.16	L=2.080m　N=2
	HP-4　(VP40)	m	4.38	L=2.190m　N=2
	HP-5　(VP40)	本	18	L=1.480m(平均長)
キャップ		個	26	溶融亜鉛メッキ仕様

※本工事(R8-1工区)は、排水パイプを設置
別途工事でキャップ・橋面防水・縦横断排水管を設置

実 施 設 計 図

鹿　児　島　県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~普通~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都 市 町 村　大里　地内
図面種類	防水工詳細図（その２）
縮　尺	S=1:30
図面番号	全 77 葉 第 35 号

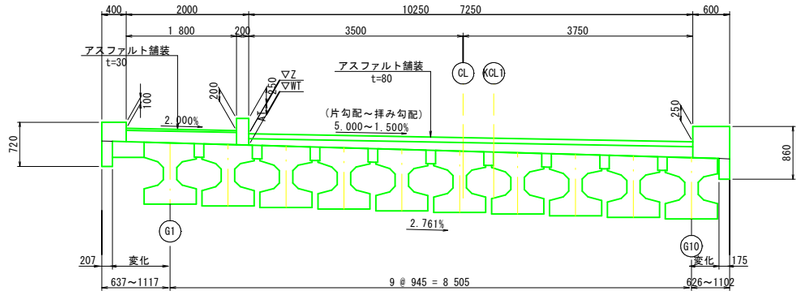
舗装厚図（その１）〈A1～P1〉（参考図）

平　面　図 S=1:100

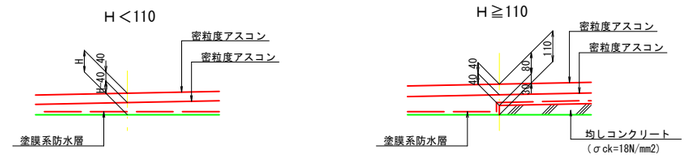


断　面　図 S=1:50

1 － 1



舗 装 厚 詳 細 図



車道部

			GE1	S1	CY1	CY2	C1	CY3	CY4	C2	CY5	CY6	C3	CY7	CY8	S2	GE2	平均
厚さ	L4	総厚 tL4	—	279.3	260.2	242.2	225	208.6	192.8	177.3	162.2	147	131.7	116.1	99.8	—	—	187
		ｱｽﾌｧﾙﾄ t1	—	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	99.8	—	—	82
		均しｺﾝ t2	—	199.3	180.2	162.2	145	128.6	112.8	97.3	82.2	67	51.7	36.1	0	—	—	105
	CL	総厚 tCL	—	185.7	190.2	194.8	199.5	204.1	208.7	213.1	217.4	221.3	224.8	227.7	229.9	—	—	210
		ｱｽﾌｧﾙﾄ t1	—	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	—	—	80
		均しｺﾝ t2	—	105.7	110.2	114.8	119.5	124.1	128.7	133.1	137.4	141.3	144.8	147.7	149.9	—	—	130
	R2	総厚 tR2	—	80.6	109.6	139.6	168.5	196.6	223.7	250	266.3	270.9	274.7	277.7	279.9	—	—	212
		ｱｽﾌｧﾙﾄ t1	—	80.6	109.6	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	—	—	83
		均しｺﾝ t2	—	0	0	59.6	88.5	116.6	143.7	170	186.3	190.9	194.7	197.7	199.9	—	—	129
幅員	舗装厚用幅員	ｱｽﾌｧﾙﾄ WL1	—	3518	3512	3508	3504	3502	3500	3499	3498	3498	3498	3498	3498	—	—	3503
		均しｺﾝ WR2	—	3770	3764	3758	3755	3752	3750	3749	3748	3748	3748	3747	3747	—	—	3753
	均しｺﾝ用幅員	ｱｽﾌｧﾙﾄ WL2	—	3518	3512	3508	3504	3502	3500	3499	3498	3498	3498	3178	2767	—	—	3415
		均しｺﾝ WR2	—	2715	3764	3758	3755	3752	3750	3749	3748	3748	3748	3747	3747	—	—	3665
		総平均幅W	—	7288	7276	7266	7259	7254	7250	7248	7246	7246	7246	7245	7245	—	—	7256
平均厚	総厚		—	0.181	0.186	0.192	0.198	0.203	0.209	0.214	0.217	0.216	0.215	0.214	0.211	—	—	0.205
	平均ｱｽﾌｧﾙﾄ厚		—	0.080	0.088	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.085	—	—	0.081
	平均均しｺﾝｸﾘｰﾄ厚		—	0.101	0.099	0.112	0.118	0.123	0.129	0.134	0.137	0.136	0.135	0.134	0.127	—	—	0.124

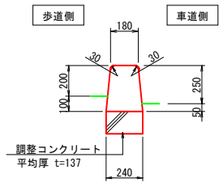
※"—"横断線の数量は、伸縮装置で計上

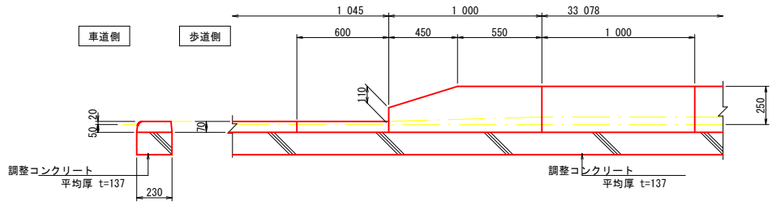
t1 = アスファルト舗装

t2 = 均しコンクリート

歩車道境界ブロック S=1:20

（ JIS A 5371 C型 ）





歩道部

		GE1	S1	CY1	CY2	C1	CY3	CY4	C2	CY5	CY6	C3	CY7	CY8	S2	GE2	平均
L2	tL2	—	365.48	346.32	328.28	311.04	294.62	278.8	263.3	248.18	232.98	217.68	202.08	185.78	—	—	273
L3	tL3	—	329.3	310.2	292.2	275	258.6	242.8	227.3	212.2	197	181.7	166.1	149.8	—	—	237
WL'		—	1809	1806	1804	1802	1801	1800	1800	1799	1799	1799	1799	1799	—	—	1801

注）舗装厚は巻込み非考慮の値とする。

舗 装 数 量 算 出（A1～P1径間）

車道部

縦 断 勾 配　i = 1.974 % 斜率 = $\sqrt{1^2+1.974^2}$ = 1.000195

Ａｓ舗装面積　A = 249.847（CAD計測）× 1.000195 = 249.896 m2

均しコン面積　A = 245.151（CAD計測）× 1.000195 = 245.199 m2

平均全体舗装厚　$\overline{t}$ = (187 + 210) / 2 × 3503 + (210 + 212) / 2 × 3753) / 7256
= 205 mm

平均アスファルト舗装厚　$\overline{t}$ = (82 + 80) / 2 × 3503 + (80 + 83) / 2 × 3753) / 7256
= 81 mm

平均均しコンクリート厚　$\overline{t}$ = (105 + 130) / 2 × 3415 + (130 + 129) / 2 × 3665) / 7080
= 124 mm

舗 装 体 積　V = 249.847 × 0.205 = 51.219 m3

アスファルト体積　V = 249.847 × 0.04 = 9.994 m3（表層 t=40mm）

V = 249.847 × 0.041 = 10.244 m3（基層 t=40mm）

均しコンクリート体積（σck=18N/mm2）　V = 245.151 × 0.124 = 30.399 m3

歩道部

縦 断 勾 配　i = 1.974 % 斜率 = $\sqrt{1^2+1.974^2}$ = 1.000195

舗 装 面 積　A = (1.62 + 1.078 + 60.42) × 1.000195 = 63.13 m2

体 積 算 出 用　A = (1.62 + 1.078 + 60.42) = 63.118 m2

平 均 舗 装 厚　$\overline{t}$ = (273 + 237) / 2 = 255 mm

アスファルト舗装　V = 63.13 m3　t = 30 mm

中詰めコンクリート（σck=18N/mm2）　V1 = 63.118 × (0.255 − 0.03) = 14.202 m3

控除　V2 = (0 + 29 + 86 + 116) / 4 × 1.08 = 0.06237 m3

控除　V2 = (29 + 39 + 116 + 127) / 4 × 0.36 = 0.02799 m3

控除　V2 = (39 + 87 + 127 + 185) / 4 × 1.26 = 0.13797 m3

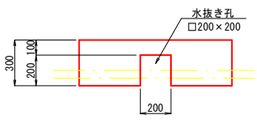
= 0.228 m3

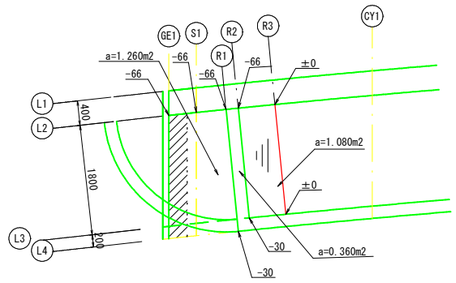
ΣV = 14.202 − 0.228 = 13.974 m3

ブロック箱抜き図 S=1：20

（排水用水抜き孔）

N = 3



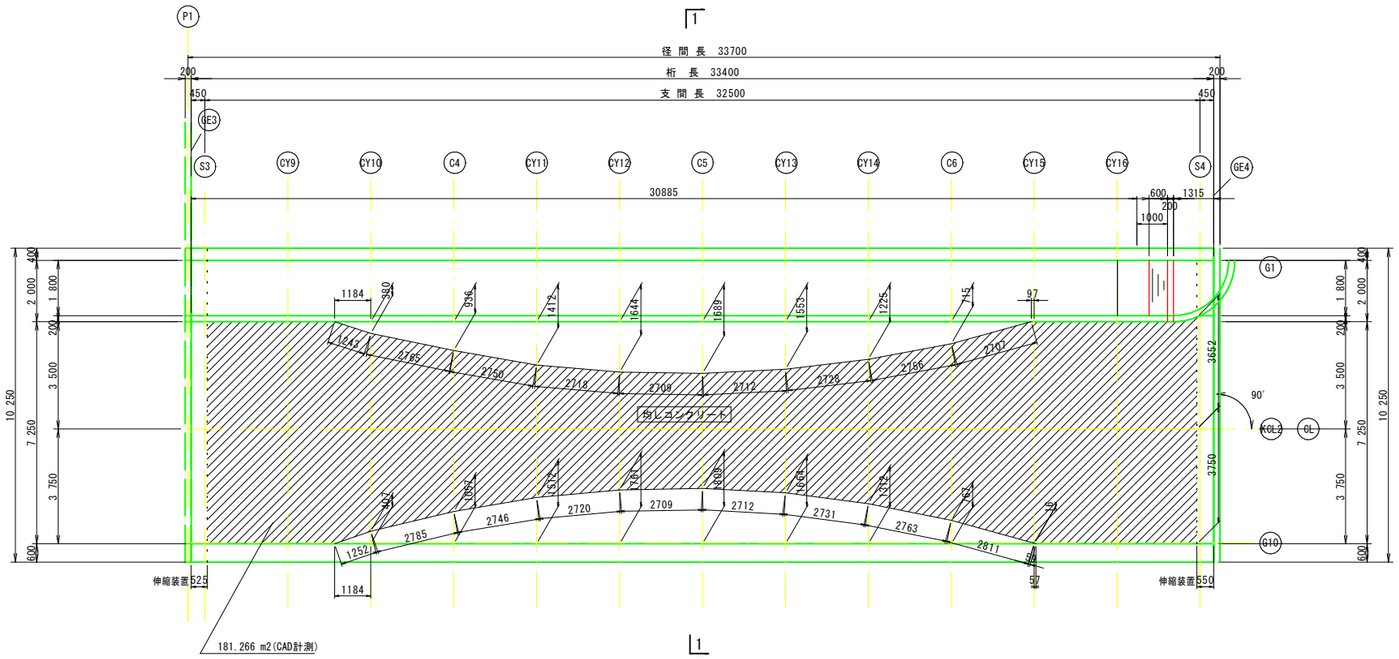


実 施 設 計 図

鹿　児　島　県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	舗装厚図（その１）〈A1～P1〉
縮　尺	図　示
図面番号	全 77 葉 第 36 号

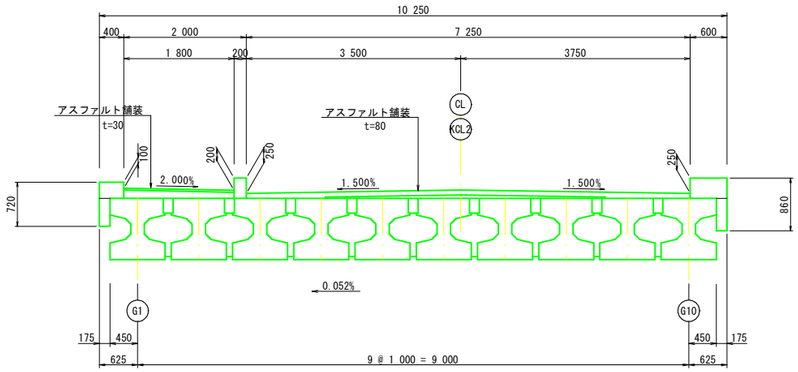
舗装厚図（その２）〈P1～A2〉（参考図）

平　面　図 S=1:100

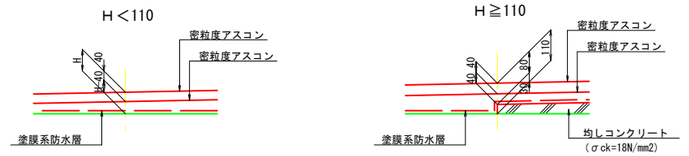


断　面　図 S=1:50

1 － 1



舗　装　厚　詳　細　図



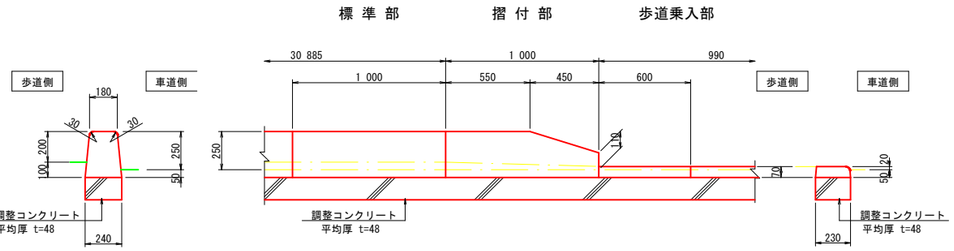
車道部

			GE3	S3	CY9	CY10	C4	CY11	CY12	C5	CY13	CY14	C6	CY15	CY16	S4	GE4	平均
厚さ	L4	総厚 tL4	—	—	117.6	104.1	94.7	88.1	84.5	83.8	85.9	91	98.9	109.7	123.5	—	—	98
		アスファルト t1	—	—	80	104.1	94.7	88.1	84.5	83.8	85.9	91	98.9	109.7	80	—	—	91
		均しコン t2	—	—	37.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43.5	—	—	7
	CL	総厚 tCL	—	—	172	158.4	149	142.4	138.8	138.1	140.2	145.3	153.2	164	177.8	—	—	153
		アスファルト t1	—	—	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	—	—	80
		均しコン t2	—	—	92	78.4	69	62.4	58.8	58.1	60.2	65.3	73.2	84	97.8	—	—	73
	R2	総厚 tR2	—	—	117.6	104.1	94.7	88.1	84.5	83.8	85.9	91	98.9	111.4	150.5	—	—	101
		アスファルト t1	—	—	80	104.1	94.7	88.1	84.5	83.8	85.9	91	98.9	80	80	—	—	88
		均しコン t2	—	—	37.6	0	0	0	0	0	0	0	0	31.4	70.5	—	—	13
幅員	舗装厚用幅員	アスファルト WL1	—	—	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	3500	—	—	3500
		均しコン WR2	—	—	3750	3750	3750	3750	3750	3750	3750	3750	3750	3750	3750	—	—	3750
	均しコン用幅員	アスファルト WL2	—	—	3500	3120	2514	2088	1856	1811	1947	2275	2785	3481	3500	—	—	2625
		均しコン WR2	—	—	3700	3343	2693	2238	1989	1941	2086	2438	2983	3850	3750	—	—	2819
		総副員 W	—	—	7250	7250	7250	7250	7250	7250	7250	7250	7250	7250	7250	—	—	7250
平均厚	総厚		—	—	0.145	0.131	0.122	0.115	0.112	0.111	0.113	0.118	0.126	0.137	0.158	—	—	0.126
	平均アスファルト厚		—	—	0.08	0.092	0.087	0.084	0.082	0.082	0.083	0.086	0.089	0.087	0.08	—	—	0.085
	平均均しコンクリート厚		—	—	0.065	0.039	0.035	0.031	0.029	0.029	0.03	0.033	0.037	0.05	0.078	—	—	0.041

※"—"横断線の数量は、伸縮装置で計上
t1 = アスファルト舗装
t2 = 均しコンクリート

歩車道境界ブロック S=1:20

（ JIS A 5371 C型 ）

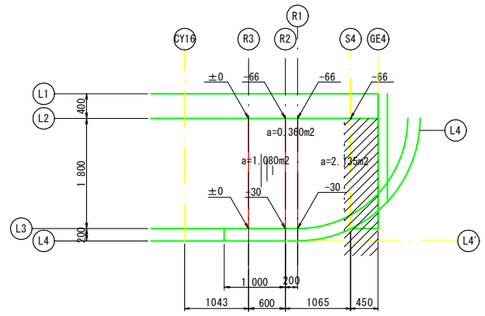


歩道部

		GE3	S3	CY9	CY10	C4	CY11	CY12	C5	CY13	CY14	C6	CY15	CY16	S4	GE4	平均
L2	tL2	—	—	203.6	190.1	180.7	174.1	170.5	169.8	171.9	177	184.9	195.7	209.5	—	—	184
L3	tL3	—	—	167.6	154.1	144.7	138.1	134.5	133.8	135.9	141	148.9	159.7	173.5	—	—	148
WL'		—	—	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	—	—	1800

注）舗装厚は巻込み非考慮の値とする。

A2側 歩道巻込み部詳細図 S=1:50



舗　装　数　量　算　出（P1～A2径間）

車道部

縦 断 勾 配　i = 2.717 % 斜率 = $\sqrt{1^2+2.717^2}$ = 1.000369

舗 装 面 積　A = (32.325 × 7.250) × 1.000369 = 234.443 m2

均しコン面積　A = 181.266 (CAD計測) × 1.000369 = 181.333 m2

平均全体舗装厚　$\bar{t}$ = (98 + 153) / 2 × 3500 + (153 +101) / 2 × 3750) / 7250
= 126 mm

平均アスファルト舗装厚　$\bar{t}$ = (91 + 80) / 2 × 3503 + (80 + 88) / 2 × 3750) / 7250
= 85 mm

平均均しコンクリート厚　$\bar{t}$ = (7 + 73) / 2 × 2625 + (73 + 13) / 2 × 2819) / 5444
= 42 mm

舗 装 体 積　V = 234.443 × 0.126 = 29.54 m3

アスファルト体積　V = 234.443 × 0.040 = 9.378 m3（表層 t=40mm）
V = 234.443 × 0.045 = 10.550 m3（基層 t=45mm）

均しコンクリート体積（σck=18N/mm2）　V = 181.266 × 0.042 = 7.613 m3

歩道部

縦 断 勾 配　i = 2.717 % 斜率 = $\sqrt{1^2+2.717^2}$ = 1.000369

舗 装 面 積　A = 1.800 × 33.400 × 1.000369 = 60.142 m2

体 積 算 出 用　A = 1.800 × 33.400 = 60.120 m2

平 均 舗 装 厚　$\bar{t}$ = (184 + 148) / 2 = 166 mm

アスファルト舗装　V = 60.120 m3　t = 30 mm

中詰めコンクリート（σck=18N/mm2）　V1 = 60.12 × (0.166 − 0.03) = 8.176 m3

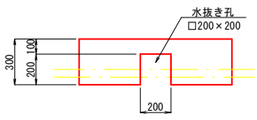
控除 V2 = (0 + 86 + 99 + 22) / 4 × 1.08 = 0.05589 m3
控除 V2 = (22 + 30 + 99 + 107) / 4 × 0.36 = 0.02322 m3
控除 V2 = (30 + 63 + 116 + 149) / 4 × 2.135 = 0.19108 m3
= 0.27 m3

ΣV = 8.176 − 0.27 = 7.906 m3

ブロック箱抜き図 S=1：20

（排水用水抜き孔）

N = 3



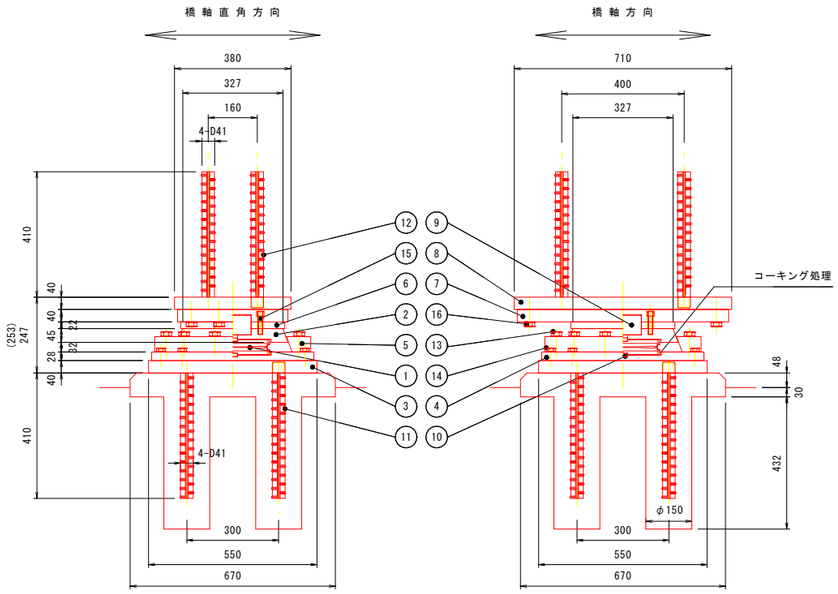
実 施 設 計 図

鹿　児　島　県	
工 事 名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線名~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都 市 町 村 大里　地内
図面種類	舗装厚図（その２）〈P1～A2〉
縮　尺	図　示
図面番号	全 77 葉 第 37 号

支承詳細図（その１）

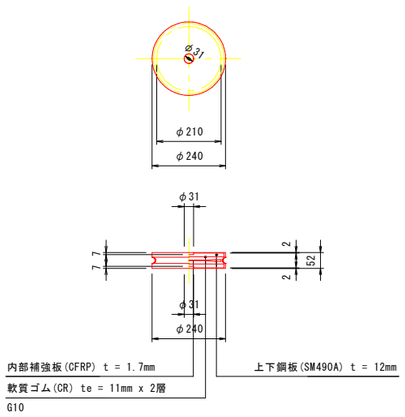
S=1:10

[A1-Fix]

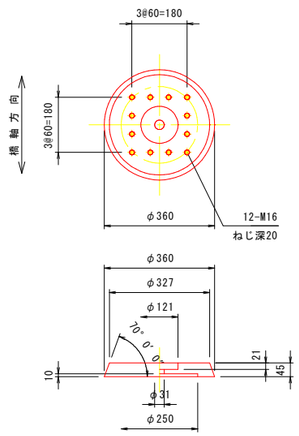


※( )内は、ＳＴ-ＳＧＮ12皮膜を考慮した構造高を示す。

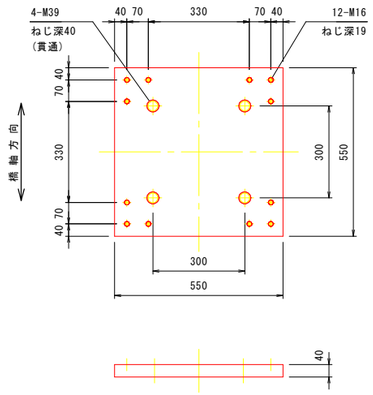
① 高面圧ゴム支承　CR+SM490A+CFRP



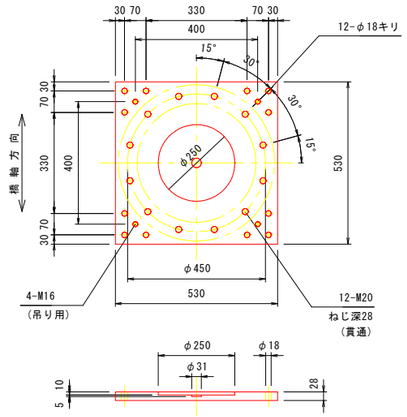
② 上　沓　SM490A



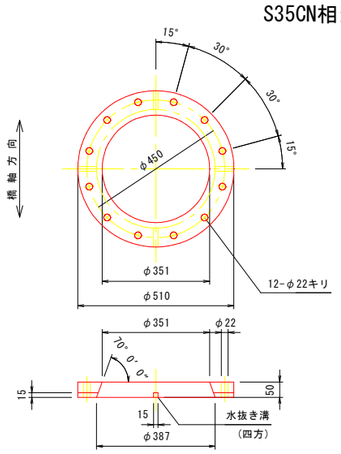
③ ベースプレート　SM490A



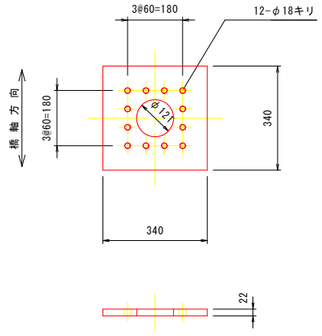
④ 下　沓　SM490A



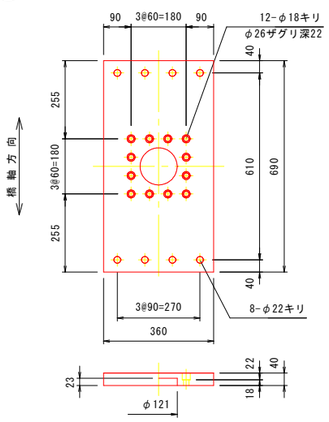
⑤ 拘束リングプレート SM490A 又は S35CN相当以上



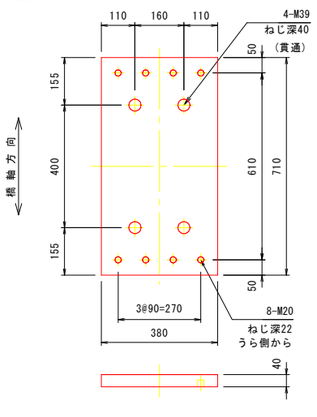
⑥ 調整プレート SM490A



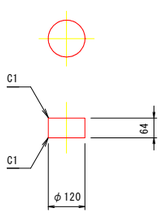
⑦ 中間プレート　SM490A



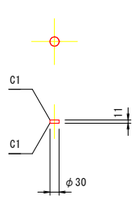
⑧ ソールプレート　SM490A



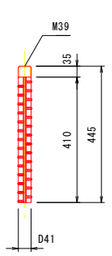
⑨ せん断キー　SM490A



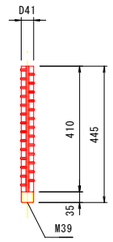
⑩ せん断キー　SM490A



⑪ アンカーボルト　SD345



⑫ アンカーバー　SD345



設計条件

反力	最大反力		Rmax	692 kN
	最大反力 回転照査用		Rmax2	598 kN
	死荷重反力		Rd	497 kN
	照査荷重		Rl/2	104 kN
	最大水平力	橋軸方向	Rheq1	536 kN
		橋軸直角方向	Rheq2	307 kN
	上向きの地震力		Ru	156 kN
変位量	照査荷重時の変位量		δcl	0.30 mm
	回転変位量		δr	0.35 mm
	水平変位量	常時 橋軸方向	ΔL1	0 mm
		地震時 橋軸方向	ΔLe1	0 mm
		地震時 橋軸直角方向	ΔLe2	0 mm

材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	9.8	CR Ge=1.0N/mm2
②	上沓	SM490A	1	26.5	
③	ベースプレート	SM490A	1	93.1	
④	下沓	SM490A	1	56.4	
⑤	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	36.2	
⑥	調整プレート	SM490A	1	17.5	
⑦	中間プレート	SM490A	1	73.4	
⑧	ソールプレート	SM490A	1	82.8	
⑨	せん断キー	SM490A	1	5.7	
⑩	せん断キー	SM490A	2	0.1	
⑪	アンカーボルト	SD345	4	18.7	
⑫	アンカーバー	SD345	4	18.7	
⑬	六角ボルト	-----	12	3.2	座金付
⑭	六角ボルト	-----	12	1.4	座金付
15	六角穴付ボルト	-----	12	1.6	
⑯	六角ボルト	-----	8	1.9	座金付
	全質量 (kg)			447.0	

注）1．◎印は、ＳＧＮ１２仕様（SGめっき+ナイロンコート）とする
　　ただし、六角ボルトの頭部は、MEL-N12（MELめっき+ナイロンコート）とし、
　　ねじ部は、MELめっき仕様とする。
注）2．○印は、ＳＧめっき仕様とする
注）3．部番 15 は、黒色酸化皮膜処理とする
注）4．下沓に高面圧ゴム支承を設置後、隙間をコーキング処理すること
注）5．高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする
注）6．製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること

⑬	六角ボルト	M20x75	強度区分 10.9
⑭	六角ボルト	M16x50	強度区分 10.9
⑮	六角穴付ボルト	M16x60	強度区分 12.9
⑯	六角ボルト	M20x65	強度区分 10.9

数量表　（１支承線当り）

品名	材質	単位	数量	備考
沓座モルタル	無収縮	m^3	0.350	
アンカー孔モルタル	無収縮	m^3	0.288	
合計		m^3	0.638	

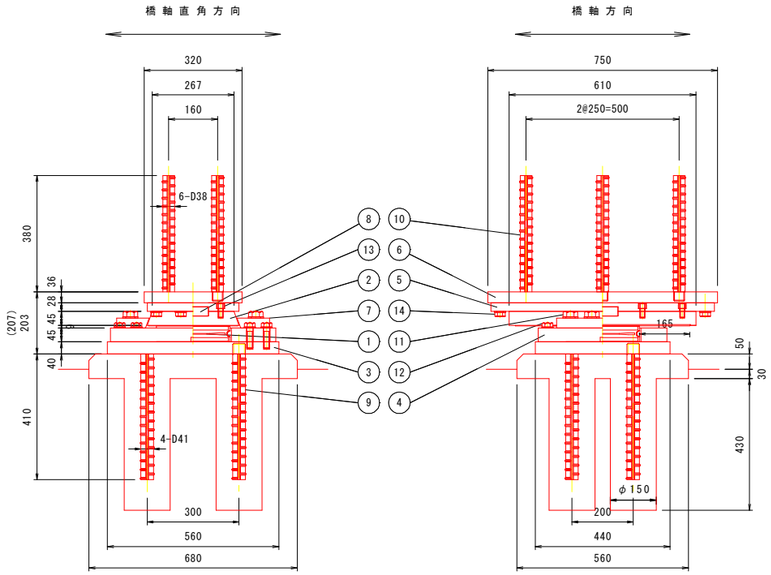
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	支承詳細図（その１）
縮尺	S=1:10
図面番号	全 77 葉 第 38 号

支承詳細図（その２）

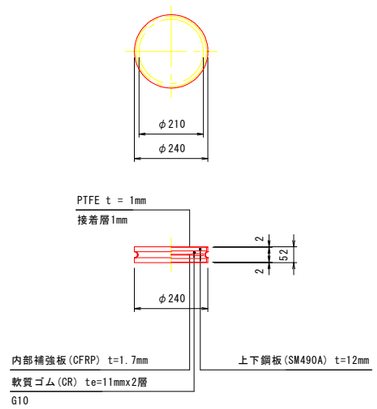
S=1:10

[P1L-Mov]

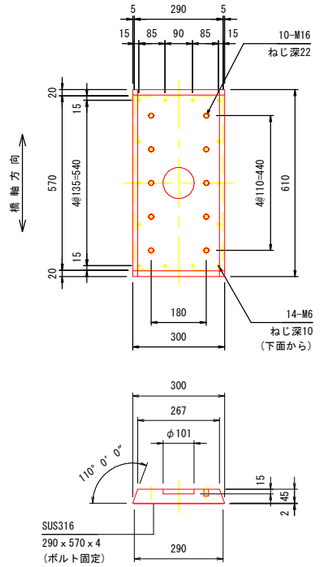


※( )内は、ＳＴ-ＳＧＮ12皮膜を考慮した構造高を示す。

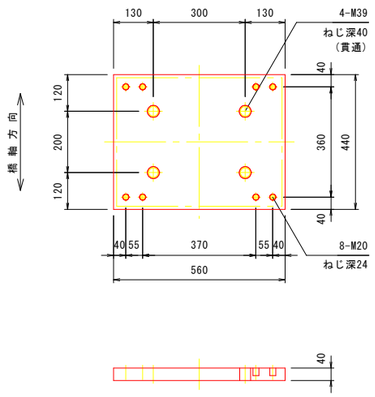
① 高面圧ゴム支承　CR+SM490A+CFRP+PTFE



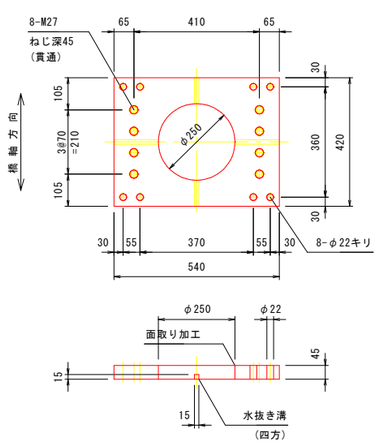
② 上　沓　SM490A+SUS316



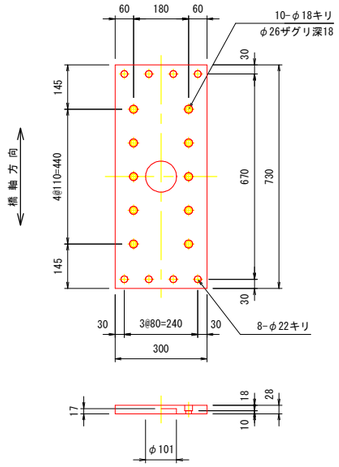
③ ベースプレート　SM490A



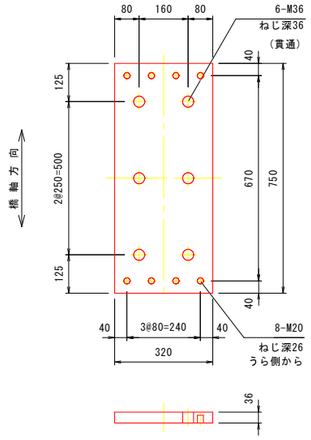
④ 固定枠プレート　SM490A



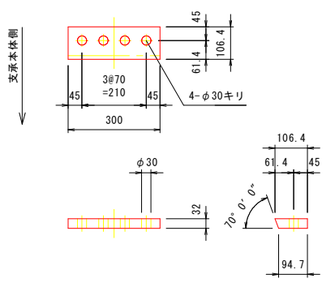
⑤ 中間プレート　SM490A



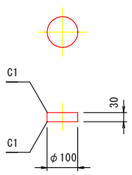
⑥ ソールプレート SM490A



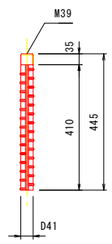
⑦ サイドブロック SM490A



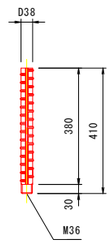
⑧ せん断キー SM490A



⑨ アンカーボルト　SD345



⑩ アンカーバー　SD345



設計条件

反力	最大反力		Rmax	699 kN
	最大反力 回転照査用		Rmax2	586 kN
	死荷重反力		Rd	486 kN
	照査荷重		Rl/2	106 kN
	最大水平力	橋軸方向	Rheq1	51 kN
		橋軸直角方向	Rheq2	674 kN
	上向きの地震力		Ru	153 kN
変位量	照査荷重時の変位量		δcl	0.30 mm
	回転変位量		δr	0.35 mm
	水平変位量	常時 橋軸方向	ΔL1	39.8 mm
		地震時 橋軸方向(不静定を含む)	ΔLe1	149.3 mm
		地震時 橋軸直角方向	ΔLe2	---- mm

材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	9.8	CR Ge=1.0N/mm2
②	上　沓	SM490A+SUS316	1	62.4	
③	ベースプレート	SM490A	1	75.4	
④	固定枠プレート	SM490A	1	60.1	
⑤	中間プレート	SM490A	1	45.4	
⑥	ソールプレート	SM490A	1	65.6	
⑦	サイドブロック	SM490A	2	13.7	
⑧	せん断キー	SM490A	1	1.8	
⑨	アンカーボルト	SD345	4	18.7	
⑩	アンカーバー	SD345	6	22.0	
⑪	六角ボルト	-----	8	4.3	座金付
⑫	六角ボルト	-----	8	2.0	座金付
13	六角穴付ボルト	-----	10	0.8	
⑭	六角ボルト	-----	8	1.7	座金付
	全質量 (kg)			383.7	

注）1．◎印は、ＳＧＮ１２仕様（SGめっき+ナイロンコート）とする
ただし、六角ボルトの頭部は、MEL-N12（MELめっき+ナイロンコート）とし、
ねじ部は、MELめっき仕様とする。
注）2．○印は、ＳＧめっき仕様とする
注）3．部番 13 は、黒色酸化皮膜処理とする
注）4．高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする
注）5．製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること

⑪	六角ボルト	M27x75	強度区分 10.9
⑫	六角ボルト	M20x70	強度区分 10.9
13	六角穴付ボルト	M16x30	強度区分 12.9
⑭	六角ボルト	M20x55	強度区分 10.9

数量表　（１支承線当り）

品名	材質	単位	数量	備考
沓座モルタル	無収縮	m^3	0.305	
アンカー孔モルタル	無収縮	m^3	0.287	
	合計	m^3	0.592	

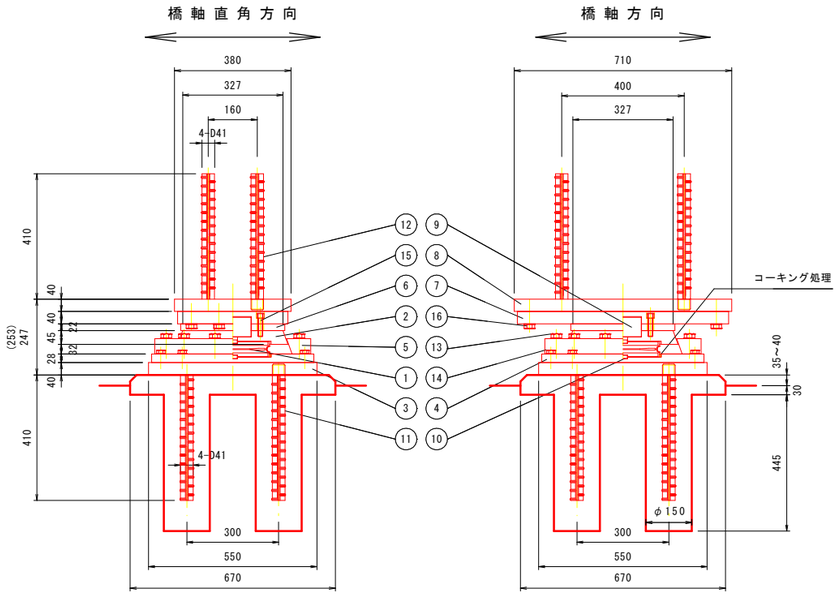
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	支承詳細図（その２）
縮尺	S=1:10
図面番号	全 77 葉 第 39 号

支承詳細図（その３）

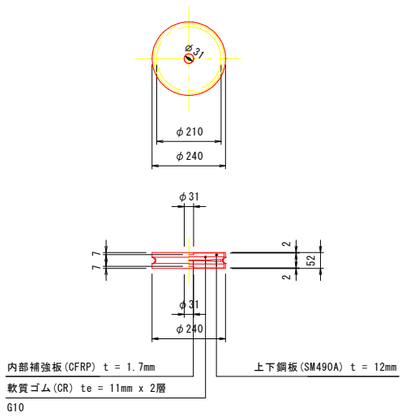
S=1:10

[P1-Fix]

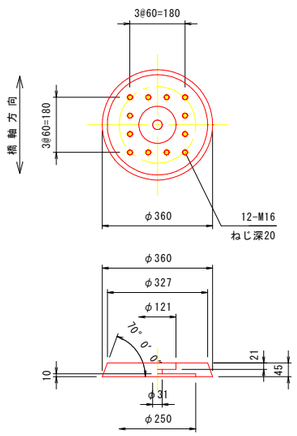


※( )内は、ＳＴ-ＳＧＮ12皮膜を考慮した構造高を示す。

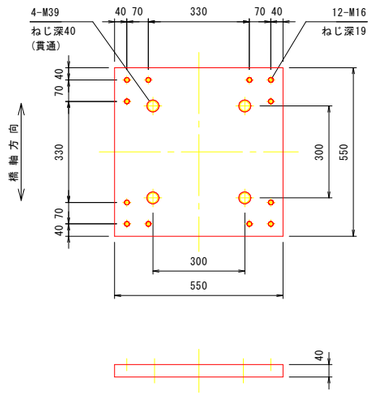
① 高面圧ゴム支承　CR+SM490A+CFRP



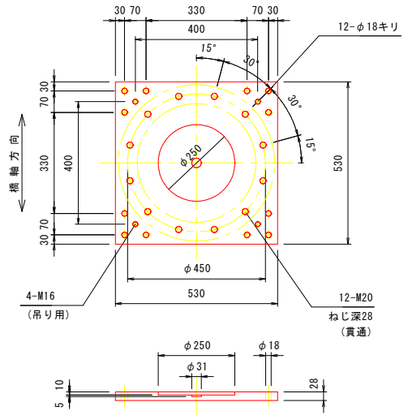
② 上　沓　SM490A



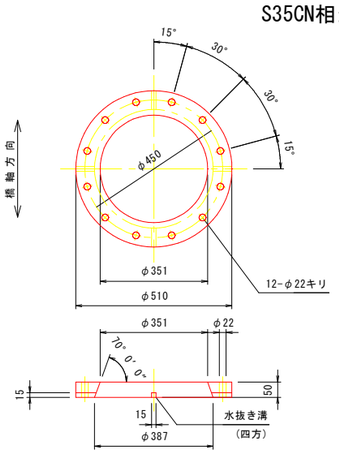
③ ベースプレート　SM490A



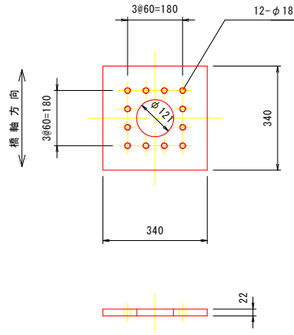
④ 下　沓　SM490A



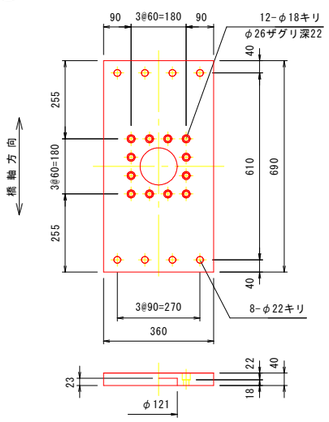
⑤ 拘束リングプレート SM490A 又は S35CN相当以上



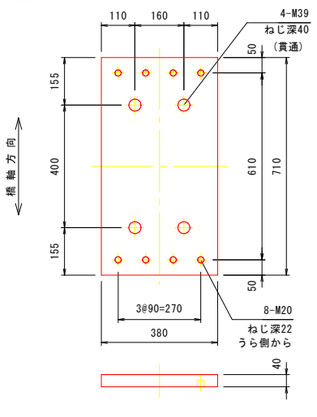
⑥ 調整プレート SM490A



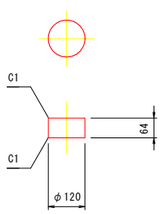
⑦ 中間プレート　SM490A



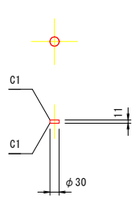
⑧ ソールプレート　SM490A



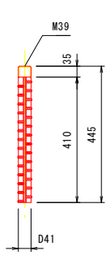
⑨ せん断キー SM490A



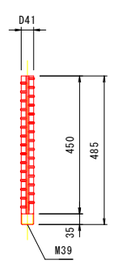
⑩ せん断キー SM490A



⑪ アンカーボルト SD345



⑫ アンカーバー SD345



設計条件

反力	最大反力		Rmax	610 kN
	最大反力 回転照査用		Rmax2	521 kN
	死荷重反力		Rd	424 kN
	照査荷重		Rl/2	93 kN
	最大水平力	橋軸方向	Rheq1	590 kN
		橋軸直角方向	Rheq2	593 kN
	上向きの地震力		Ru	134 kN
変位量	照査荷重時の変位量		δcl	0.27 mm
	回転変位量		δr	0.35 mm
	水平変位量	常時 橋軸方向	ΔL1	0 mm
		地震時 橋軸方向	ΔLe1	0 mm
		地震時 橋軸直角方向	ΔLe2	0 mm

材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	9.8	CR Ge=1.0N/mm2
②	上　沓	SM490A	1	26.5	
③	ベースプレート	SM490A	1	93.1	
④	下　沓	SM490A	1	56.4	
⑤	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	36.2	
⑥	調整プレート	SM490A	1	17.5	
⑦	中間プレート	SM490A	1	73.4	
⑧	ソールプレート	SM490A	1	82.8	
⑨	せん断キー	SM490A	1	5.7	
⑩	せん断キー	SM490A	2	0.1	
⑪	アンカーボルト	SD345	4	18.7	
⑫	アンカーバー	SD345	4	20.4	
⑬	六角ボルト	------	12	3.2	座金付
⑭	六角ボルト	------	12	1.4	座金付
15	六角穴付ボルト	------	12	1.6	
⑯	六角ボルト	------	8	1.9	座金付
	全質量 (kg)			448.7	

注）1．◎印は、ＳＧＮ１２仕様（SGめっき+ナイロンコート）とする
　　ただし、六角ボルトの頭部は、MEL-N12（MELめっき+ナイロンコート）とし、
　　ねじ部は、MELめっき仕様とする。
注）2．○印は、ＳＧめっき仕様とする
注）3．部番 15 は、黒色酸化皮膜処理とする
注）4．下沓に高面圧ゴム支承を設置後、隙間をコーキング処理すること
注）5．高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする
注）6．製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること

⑬	六角ボルト	M20x75	強度区分 10.9
⑭	六角ボルト	M16x50	強度区分 10.9
15	六角穴付ボルト	M16x60	強度区分 12.9
⑯	六角ボルト	M20x65	強度区分 10.9

数量表 （１支承線当り）

品名	材質	単位	数量	備考
沓座モルタル	無収縮	m^3	0.305	
アンカー孔モルタル	無収縮	m^3	0.296	
合計		m^3	0.601	

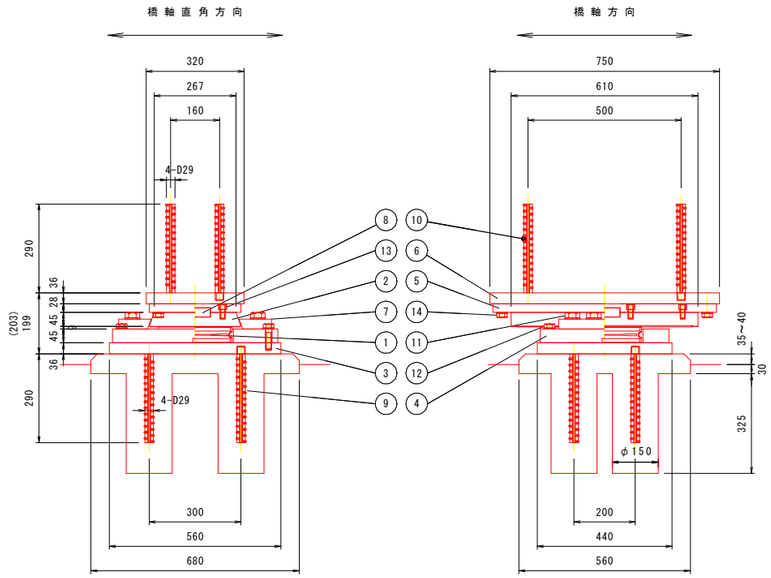
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 / ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 (市) 郡　町　村　大里　地内
図面種類	支承詳細図（その３）
縮尺	S=1:10
図面番号	全 77 葉 第 40 号

支承詳細図（その４）

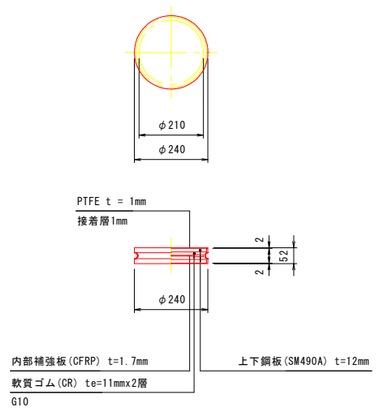
S=1:10

[A2-Mov]

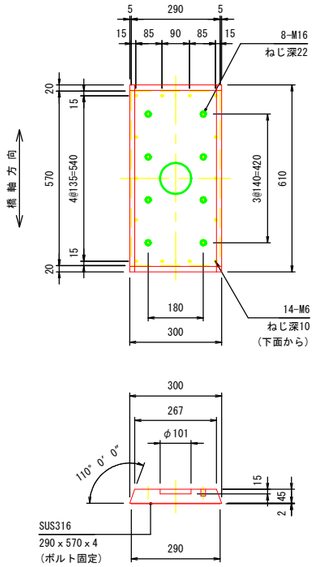


※( )内は、ＳＴ-ＳＧＮ12皮膜を考慮した構造高を示す。

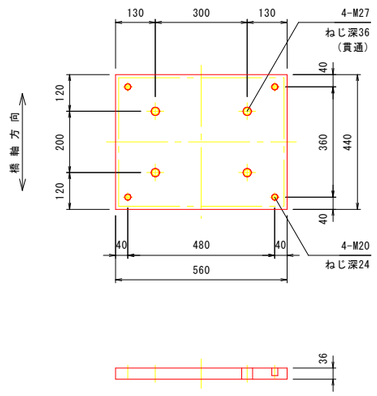
① 高面圧ゴム支承　CR+SM490A+CFRP+PTFE



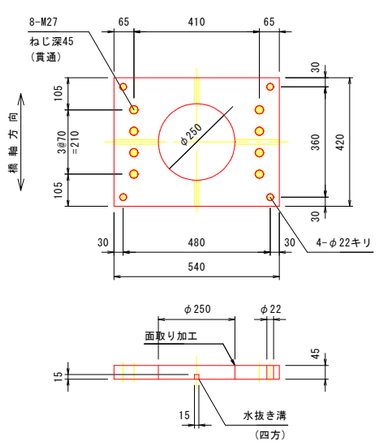
② 上　沓　SM490A+SUS316



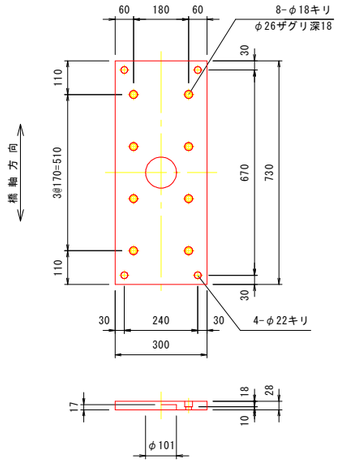
③ ベースプレート　SM490A



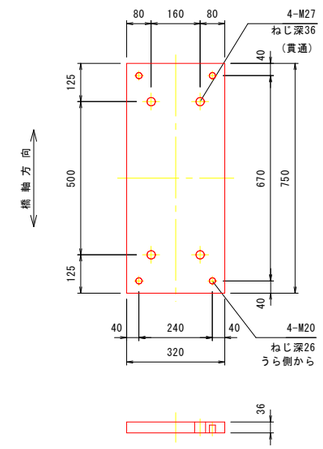
④ 固定枠プレート　SM490A



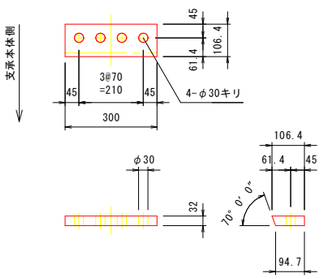
⑤ 中間プレート　SM490A



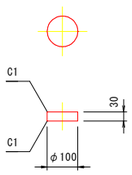
⑥ ソールプレート SM490A



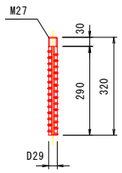
⑦ サイドブロック SM490A



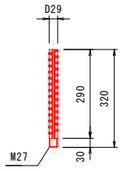
⑧ せん断キー SM490A



⑨ アンカーボルト　SD345



⑩ アンカーバー　SD345



設計条件

反力	最大反力		Rmax	597 kN
	最大反力 回転照査用		Rmax2	527 kN
	死荷重反力		Rd	418 kN
	照査荷重		Rl/2	93 kN
	最大水平力	橋軸方向	Rheq1	44 kN
		橋軸直角方向	Rheq2	267 kN
	上向きの地震力		Ru	132 kN
変位量	照査荷重時の変位量		δcl	0.27 mm
	回転変位量		δr	0.35 mm
	水平変位量	常時 橋軸方向	ΔL1	37.5 mm
		地震時 橋軸方向(不静定を含む)	ΔLe1	149.2 mm
		地震時 橋軸直角方向	ΔLe2	---- mm

材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	9.8	CR Ge=1.0N/mm2
②	上　沓	SM490A+SUS316	1	62.4	
③	ベースプレート	SM490A	1	68.7	
④	固定枠プレート	SM490A	1	60.6	
⑤	中間プレート	SM490A	1	46.0	
⑥	ソールプレート	SM490A	1	66.9	
⑦	サイドブロック	SM490A	2	13.7	
⑧	せん断キー	SM490A	1	1.8	
⑨	アンカーボルト	SD345	4	6.5	
⑩	アンカーバー	SD345	4	6.5	
⑪	六角ボルト	-----	8	4.3	座金付
⑫	六角ボルト	-----	4	1.0	座金付
13	六角穴付ボルト	-----	8	0.7	
⑭	六角ボルト	-----	4	0.9	座金付
	全質量 (kg)			349.8	

注）1．◎印は、ＳＧＮ１２仕様（SGめっき+ナイロンコート）とする
　　ただし、六角ボルトは頭部のみとし、ねじ部はＳＧめっき仕様とする
注）2．○印は、ＳＧめっき仕様とする
注）3．部番 13 は、黒色酸化皮膜処理とする
注）4．高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする
注）5．製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること

⑪	六角ボルト	M27x75	強度区分 8.8
⑫	六角ボルト	M20x70	強度区分 8.8
13	六角穴付ボルト	M16x30	強度区分 12.9
⑭	六角ボルト	M20x55	強度区分 8.8

数量表　（１支承線当り）

品名	材質	単位	数量	備考
沓座モルタル	無収縮	m³	0.259	
アンカー孔モルタル	無収縮	m³	0.224	
	合計	m³	0.483	

実施設計図

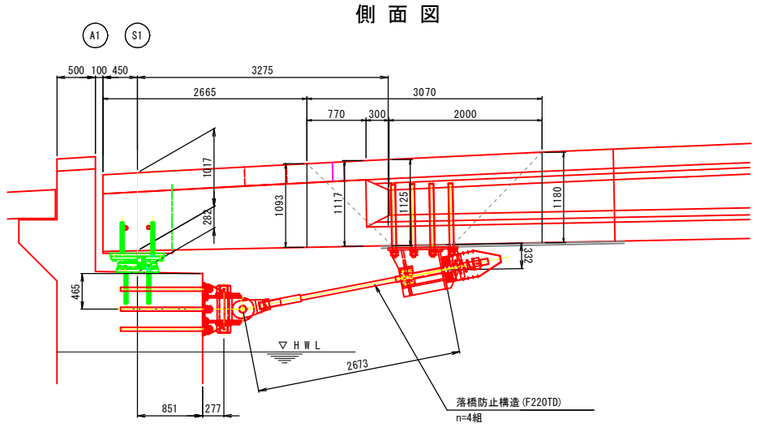
鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	支承詳細図（その４）
縮尺	S=1:10
図面番号	全 77 葉 第 41 号

落橋防止構造図（その１）

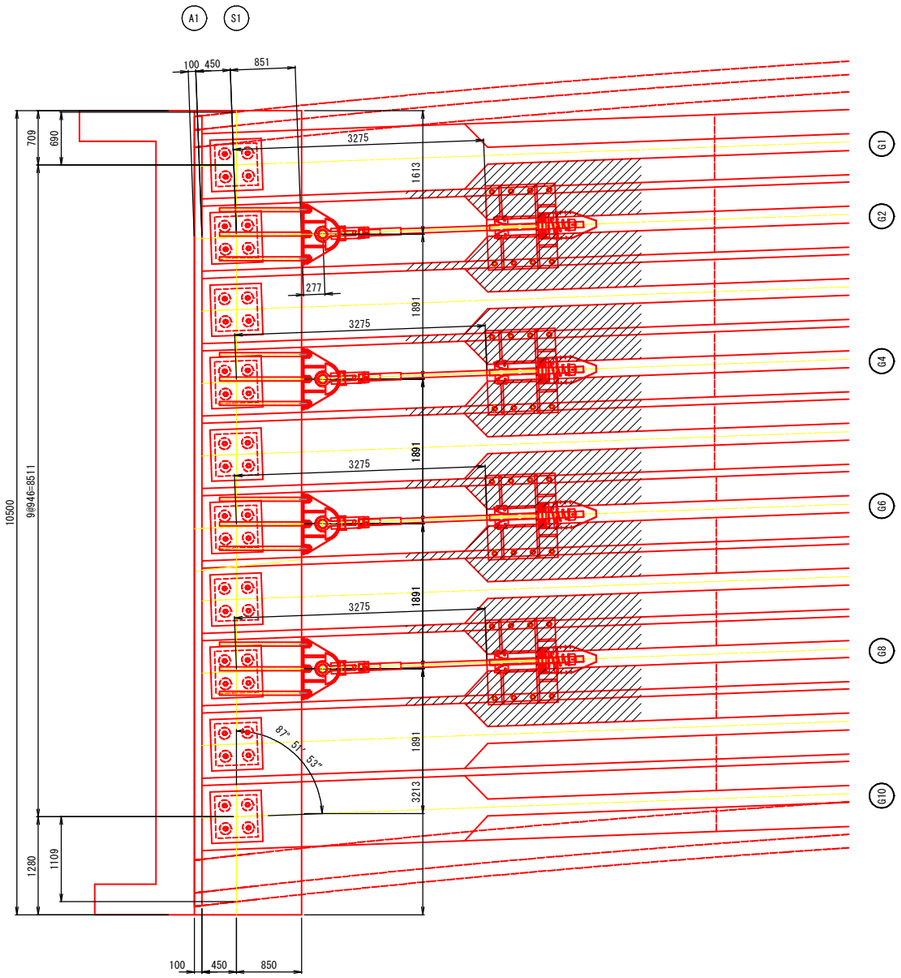
S=1:40

A1橋台:取付図

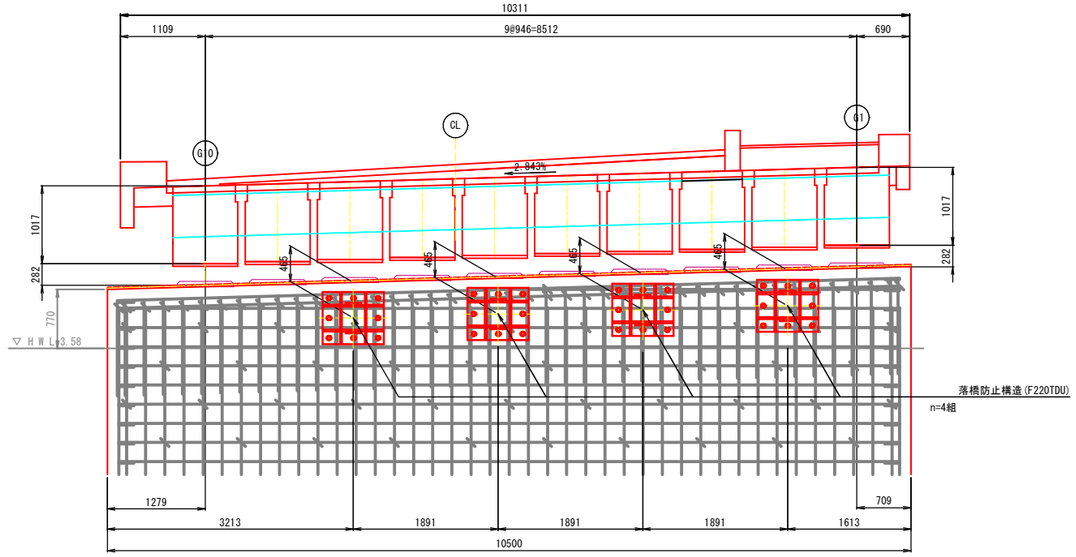
側 面 図



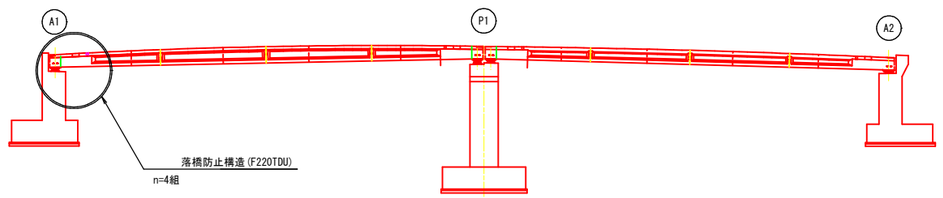
平 面 図



正 面 図



位 置 図



実 施 設 計 図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~二級河川~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その1)
縮尺	図 示
図面番号	全 77 葉 第 42 号

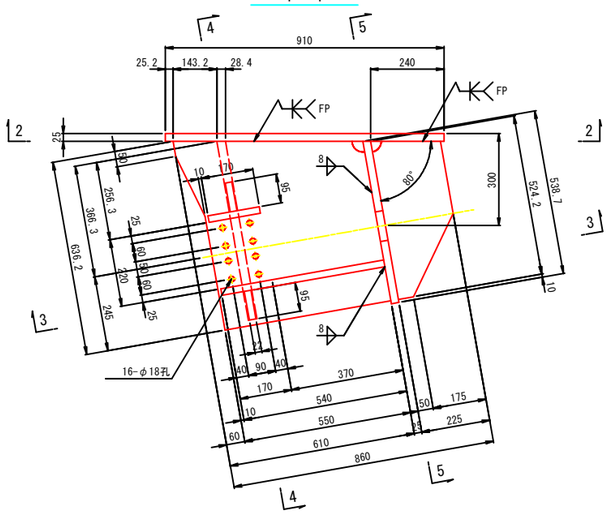
落橋防止構造図（その２）

S=1:10

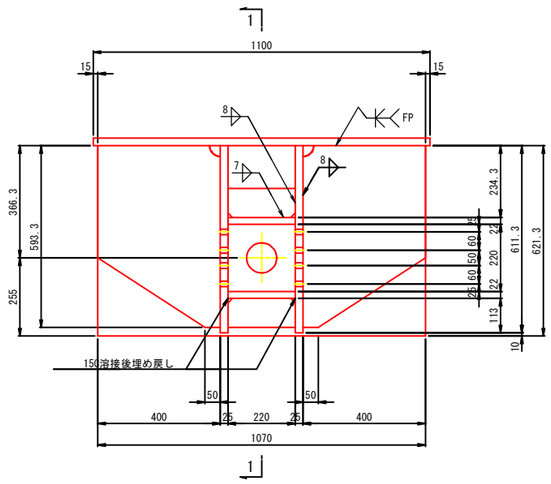
A1橋台:上部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

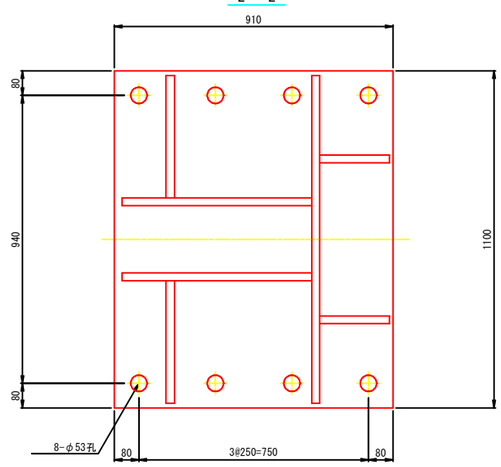
1 － 1



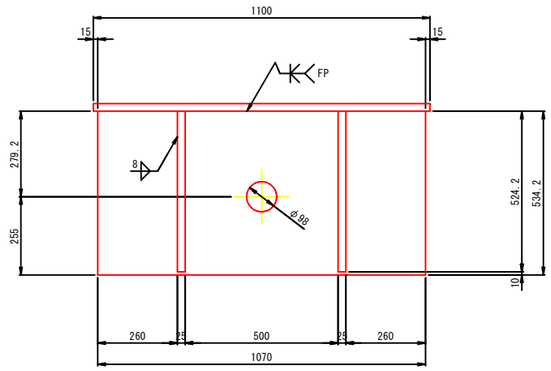
4 － 4



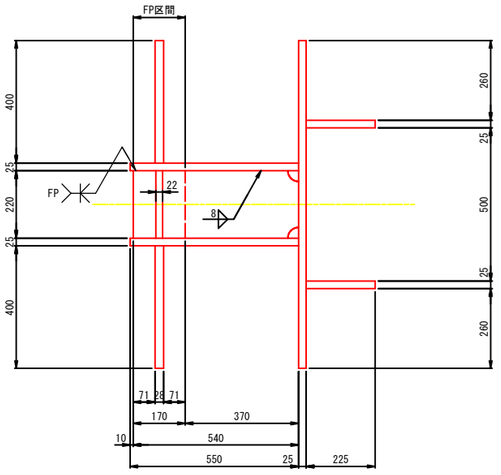
2 － 2



5 － 5

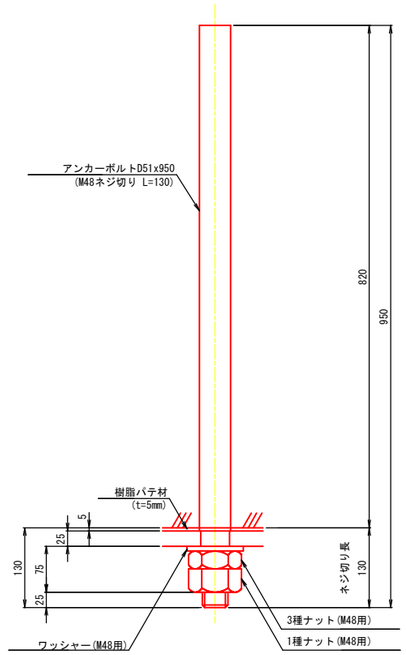


3 － 3



アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 225x25x525
- 2-PL 610x25x637
- 2-PL 400x28x594(SM490B)
- 2-PL 95x22x220
- 1-PL 220x22x540
- 1-PL 170x25x220
- 1-PL 539x25x1070
- 1-PL 910x25x1100
- 8-Anc Bolt D51x950(SD345)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を
   実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボル
   ト位置の調整を行うこと。

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その2)
縮尺	図　示
図面番号	全 77 葉 第 43 号

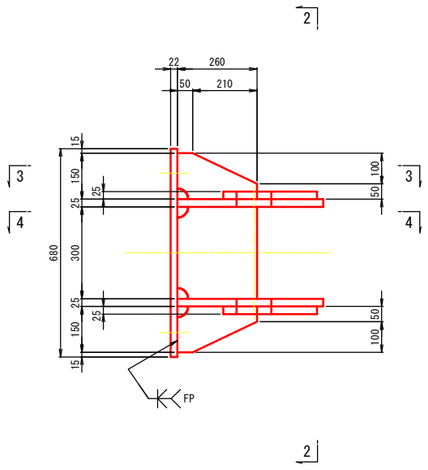
落橋防止構造図（その３）

S=1:10

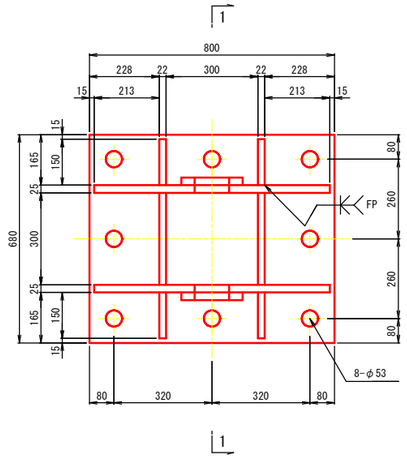
A1橋台:下部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

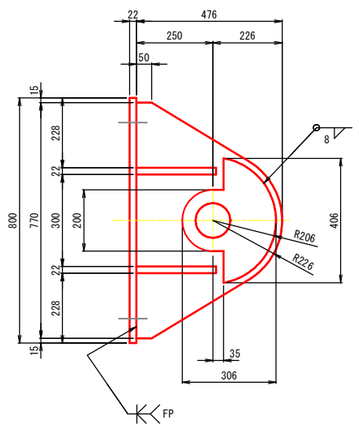
1 － 1



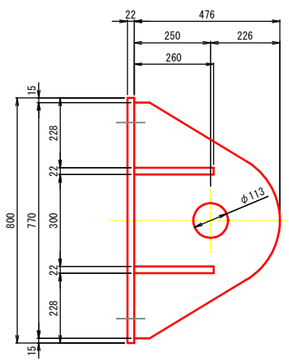
2 － 2



3 － 3

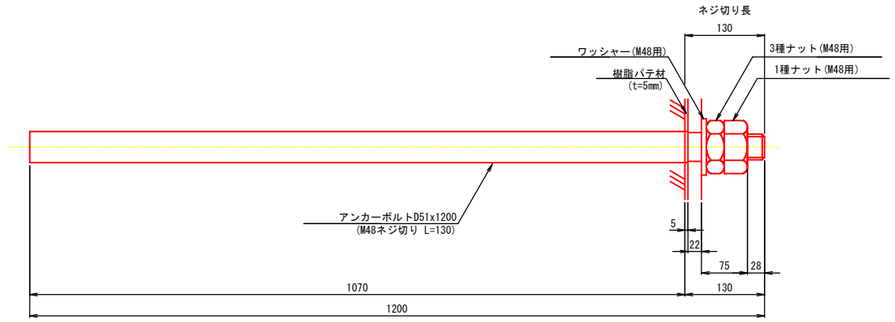


4 － 4



アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 306x25x406
- 2-PL 476x25x770
- 4-PL 260x22x150
- 2-PL 260x22x300
- 1-PL 800x22x680
- 8-Anc Bolt D51x1200(SD345)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。

実 施 設 計 図

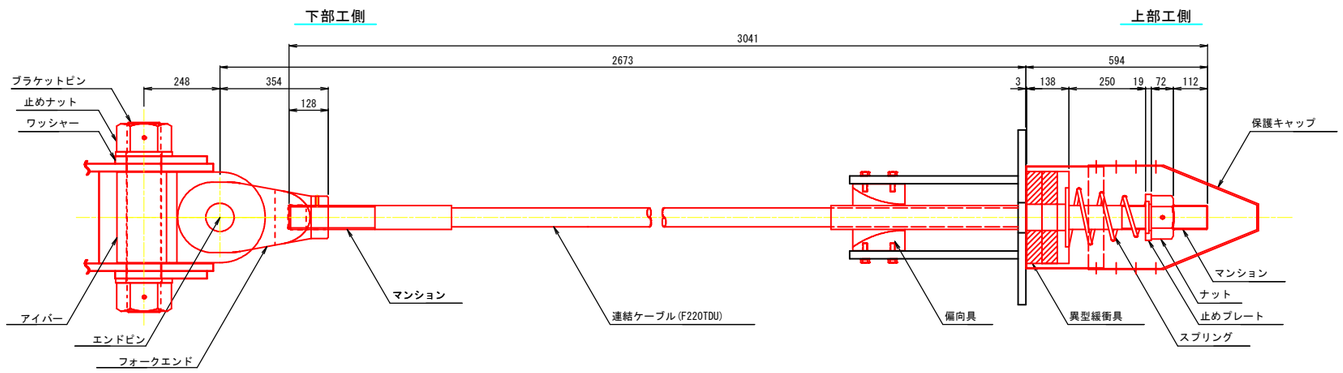
鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 町 村 (市)　大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その3)
縮尺	図　示
図面番号	全 77 葉 第 44 号

落橋防止構造図（その４）

S=1:10

A1橋台：取付詳細図及び部品図

取付詳細図

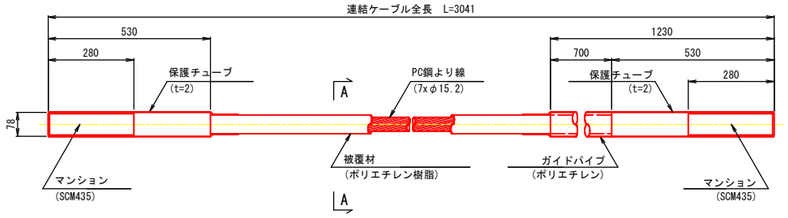


材 料 表（落橋防止構造1組当たり）

全4組

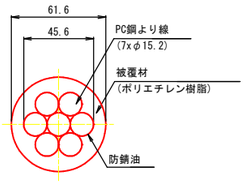
名　　称		規　　格	単位	数量	摘　　要
連結ケーブル		F22OTDU L=3041	本	1	PC鋼より線,ポリエチレン被覆
	（マンション）	F22OTD用 標準	個	2	SCM435,ネジきり標準 〈ケーブルに組込〉
	（ガイドパイプ）	F22OTD用 700mm	本	1	ポリエチレン 〈ケーブルに組込〉
ナット		F22OTD用	個	1	S45C:亜鉛めっき(HDZ55)
止めプレート		F22OTD用	個	1	SS400:亜鉛めっき(HDZ55)
スプリング		F22OTD用 L=400	個	1	SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理
異型緩衝具		F22OTD用	個	1	SS400:亜鉛めっき(HDZ55) + 合成ゴム
偏向具		F22OTD用	個	1	ポリエチレン
	（取付ボルト）	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35) 接着剤付
保護キャップ		F22OTD用	組	1	ポリエチレン:8-止めビス付
ユニバーサルシステム	ブラケットピン	F22OTDU用	本	1	SCM435,ダクロダイズド処理,DMコート
	止めナット	F22OTDU用	個	2	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	ワッシャー	F22OTDU用	個	2	SS400,亜鉛めっき(HDZ55)
	アイバー	F22OTDU用	個	1	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	フォークエンド	F22OTDU用	個	1	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	エンドピン （ピン）	F22OTDU用	本	1	SCM435,ダクロダイズド処理,DMコート
	（止めプレート）	F22OTDU用	個	1	SS400,亜鉛めっき

連結ケーブル

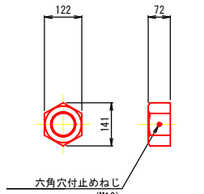


A-A断面図

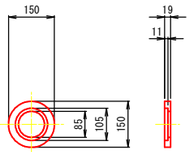
S=1:2



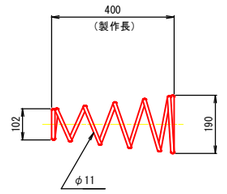
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



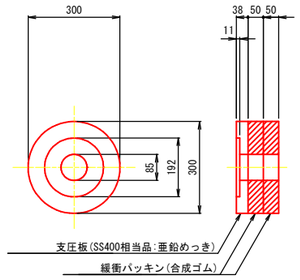
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



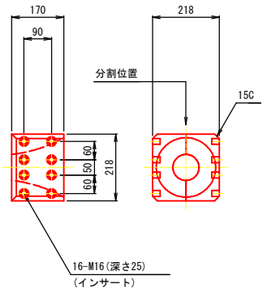
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理)



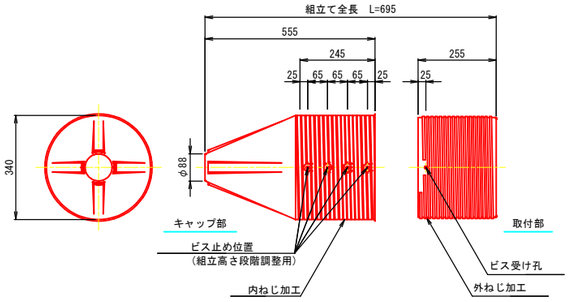
異型緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



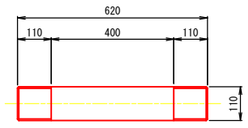
偏 向 具
(ポリエチレン)



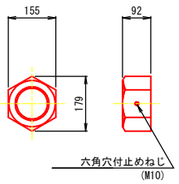
保護キャップ
(ポリエチレン)



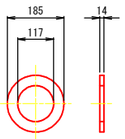
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



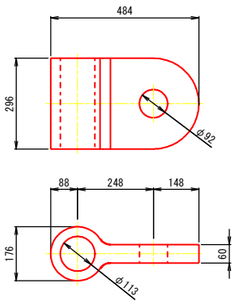
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



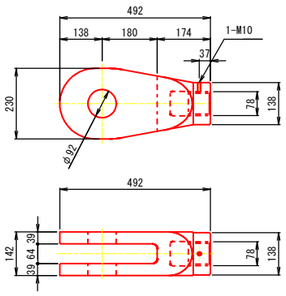
ワッシャー
(SS400:亜鉛めっき)



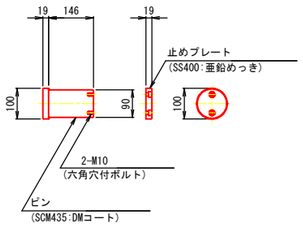
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



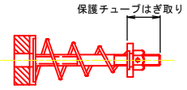
フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)



エンドピン
(ピン+止めプレート)



マンション端部処理



※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

注記）
1.連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

実 施 設 計 図

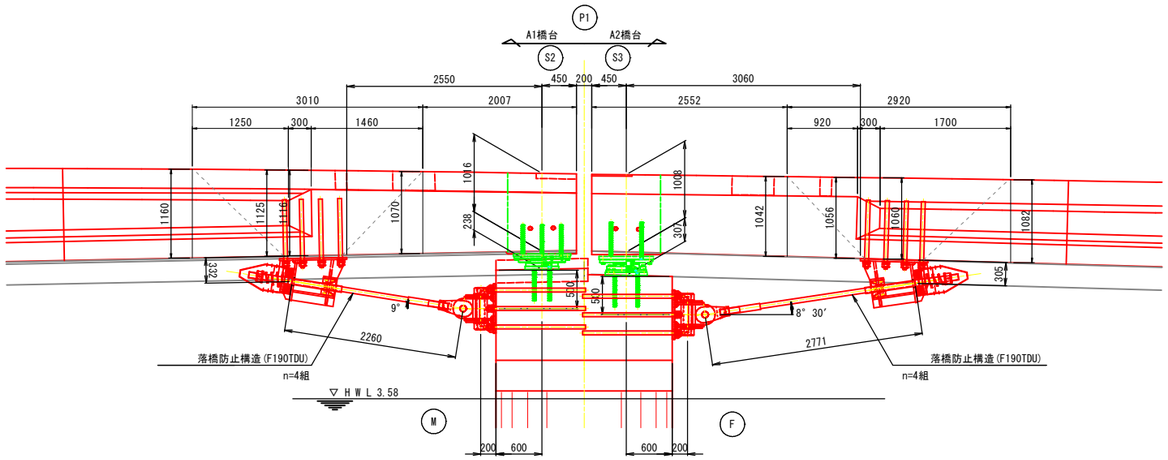
鹿児島県			
工事名	令和８年度	総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）	
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川		
工事箇所	いちき串木野	都市 町村 大里 地内	
図面種類	落橋防止構造図(その4)		
縮尺	図　示		
図面番号	全 77 葉	第 45 号	

落橋防止構造図（その５）

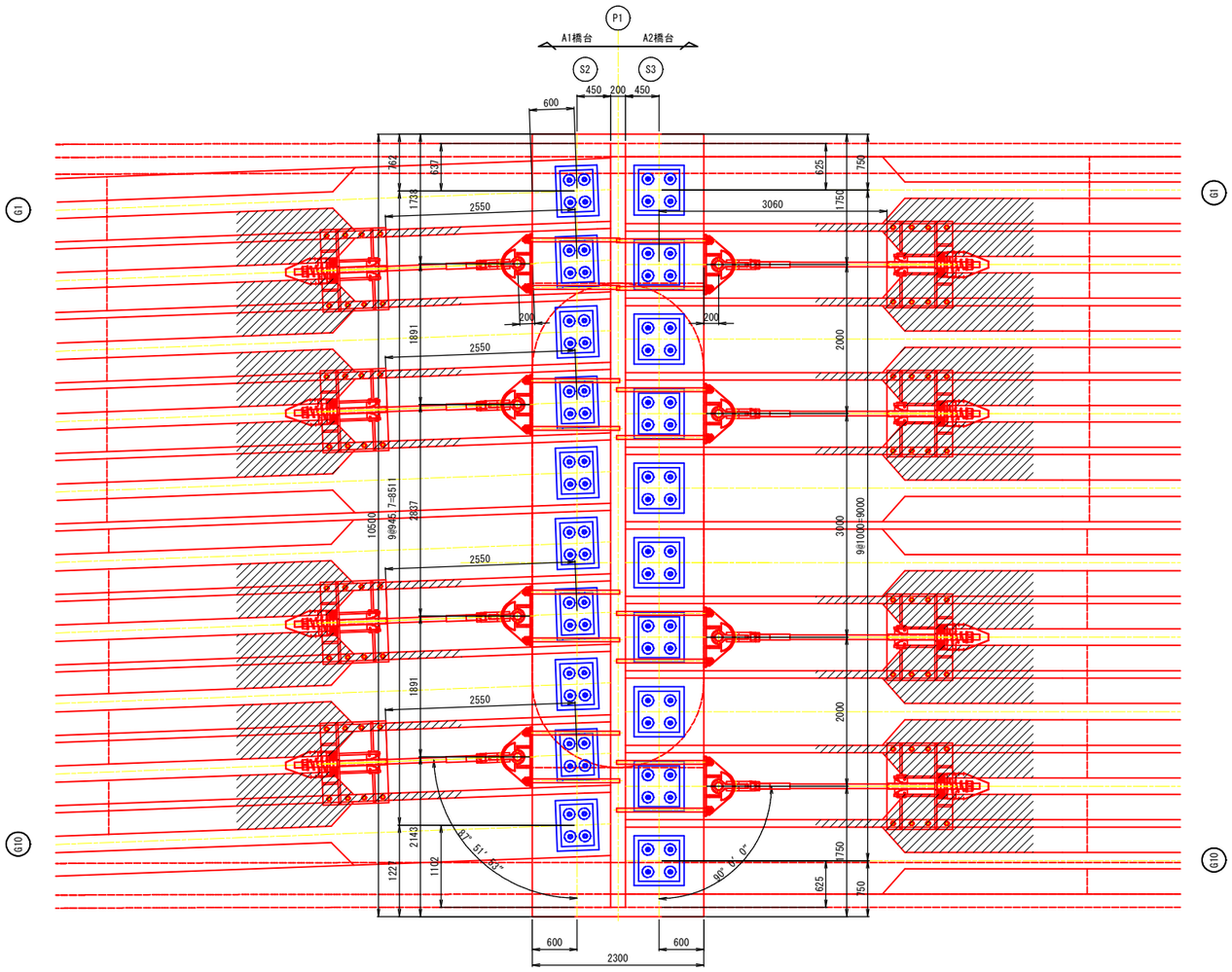
S=1:40

P1橋脚:取付図

側 面 図

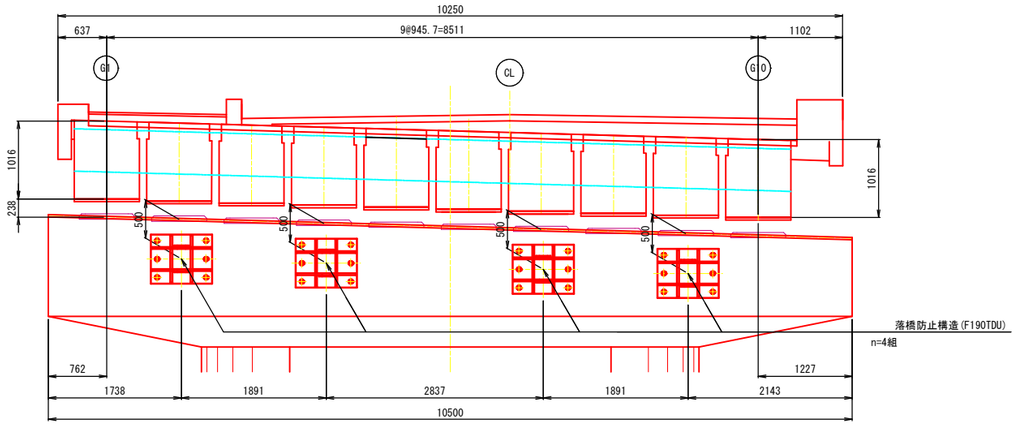


平 面 図

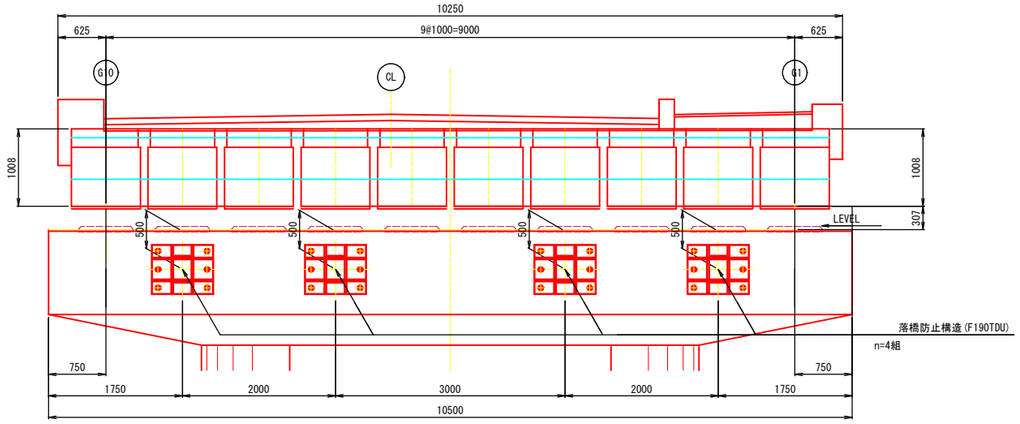


断 面 図

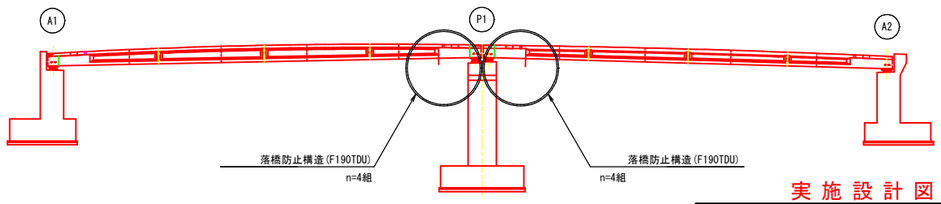
(S2)



(S3)



位 置 図



実 施 設 計 図

鹿児島県		
工事名	令和８年度	総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線名~~	二級河川　大里川	
工事箇所	いちき串木野 都 市 町 村	大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その5)	
縮尺	図　示	
図面番号	全 77 葉	第 46 号

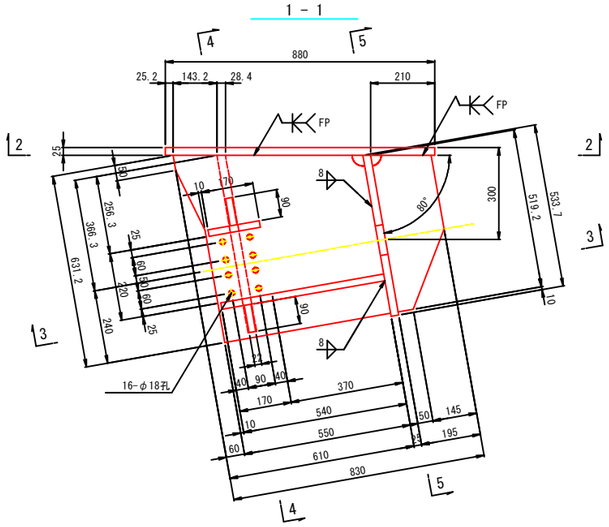
落橋防止構造図（その６）

S=1:10

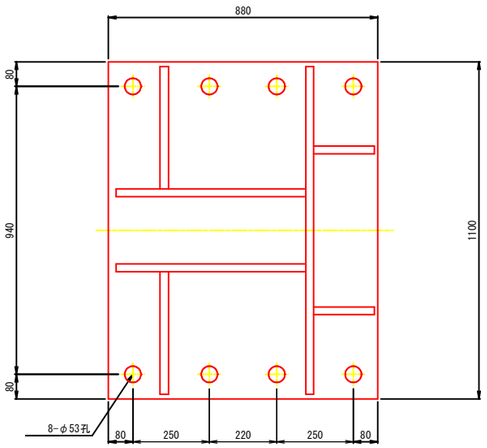
P1橋脚(起点側):上部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

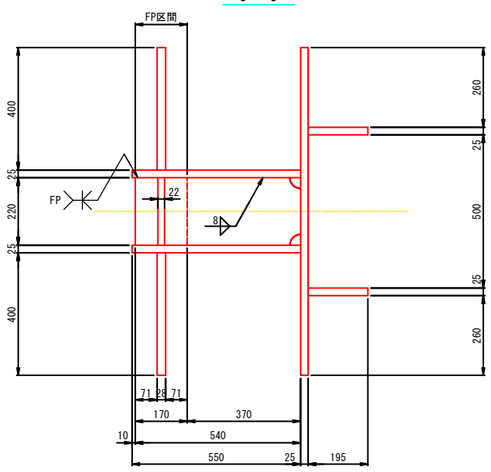
1 － 1



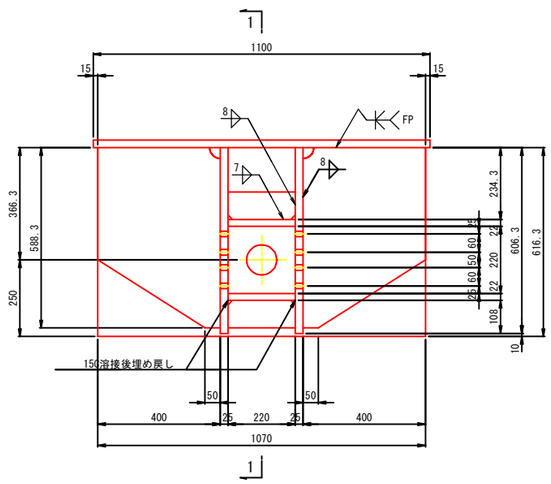
2 － 2



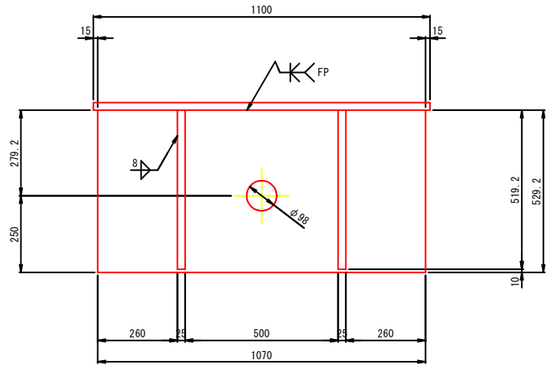
3 － 3



4 － 4

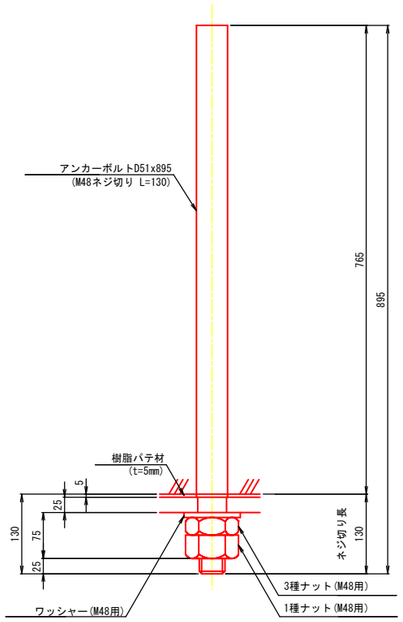


5 － 5



アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 195x25x520
- 2-PL 610x25x632
- 2-PL 400x28x589
- 2-PL 90x22x220
- 1-PL 220x22x540
- 1-PL 170x25x220
- 1-PL 534x25x1070
- 1-PL 880x25x1100
- 8-Anc Bolt D51x895(SD345)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

実施設計図

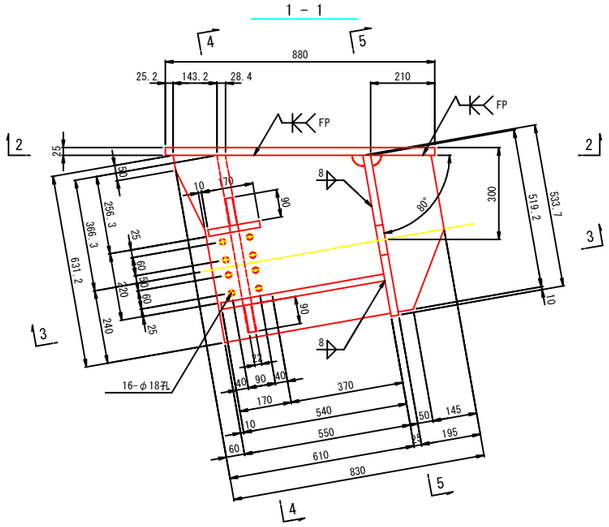
鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その6)
縮尺	図　示
図面番号	全　77　葉　第　47　号

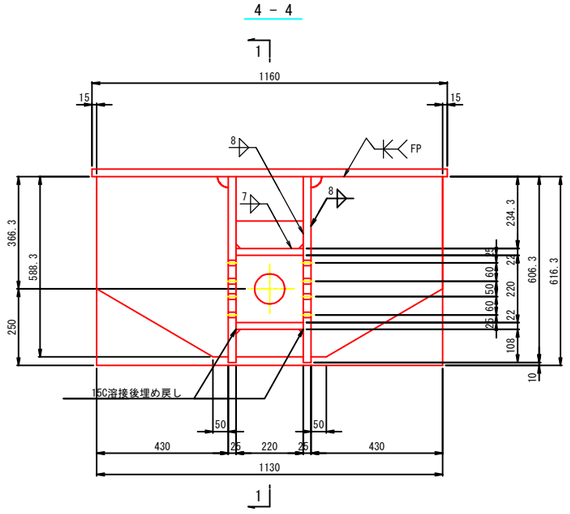
落橋防止構造図(その７)

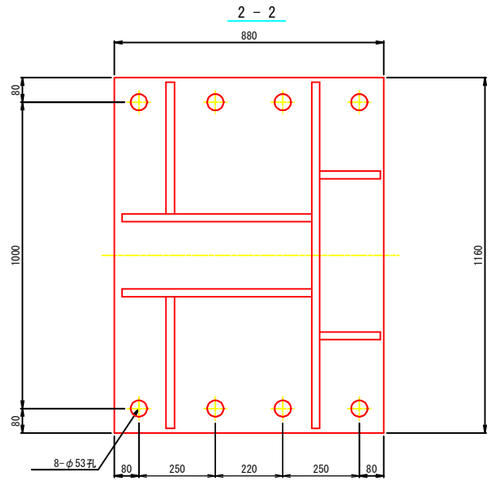
S=1:10

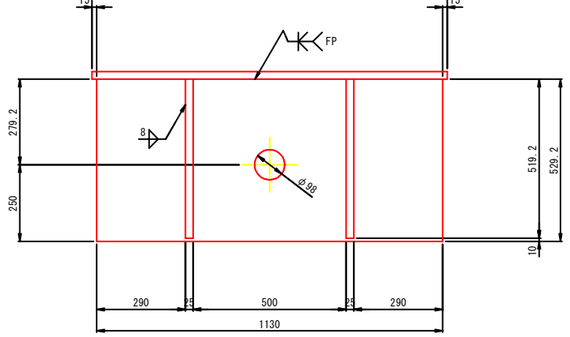
P1橋脚(終点側):上部工ブラケット詳細図

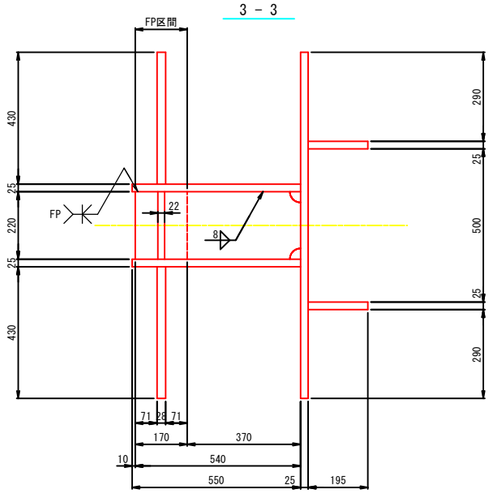
ブラケット詳細図





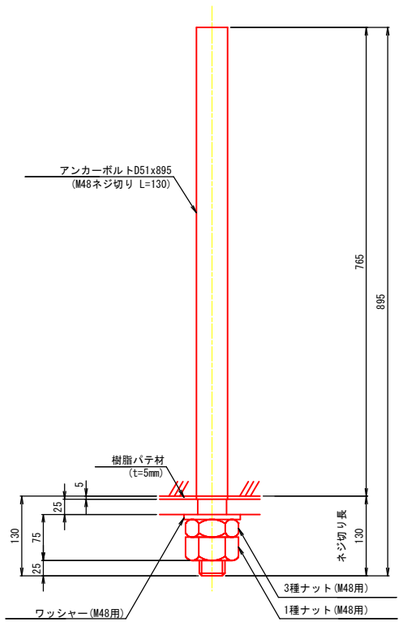






アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 195x25x520
- 2-PL 610x25x632
- 2-PL 430x28x589
- 2-PL 90x22x220
- 1-PL 220x22x540
- 1-PL 170x25x220
- 1-PL 534x25x1130
- 1-PL 880x25x1160
- 8-Anc Bolt D51x895(SD345)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を
   実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボル
   ト位置の調整を行うこと。

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和８年度 総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川 大里川
工事箇所	いちき串木野 都市 町村 大里 地内
図面種類	落橋防止構造図(その7)
縮尺	図 示
図面番号	全 77 葉 第 48 号

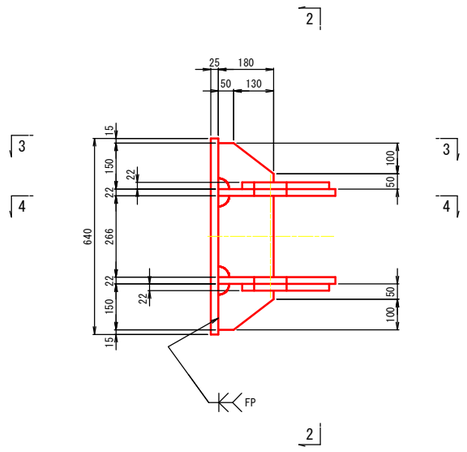
落橋防止構造図（その８）

S=1:10

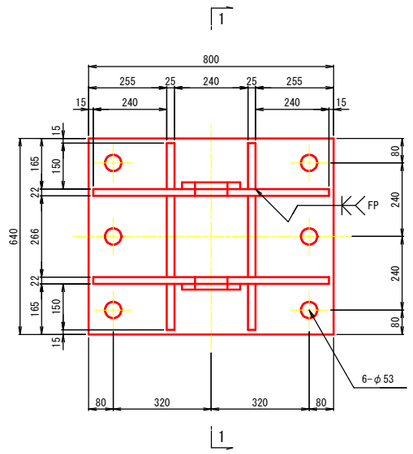
P1橋脚:下部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

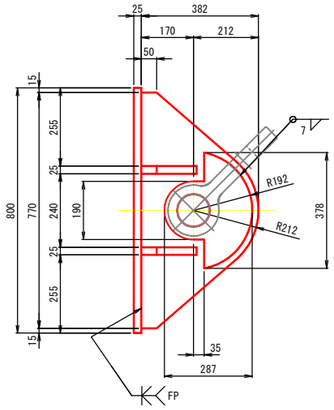
1 － 1



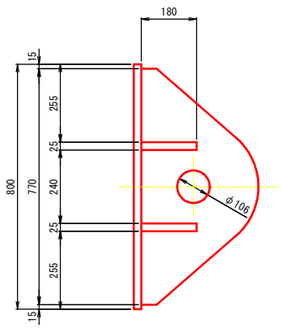
2 － 2



3 － 3



4 － 4

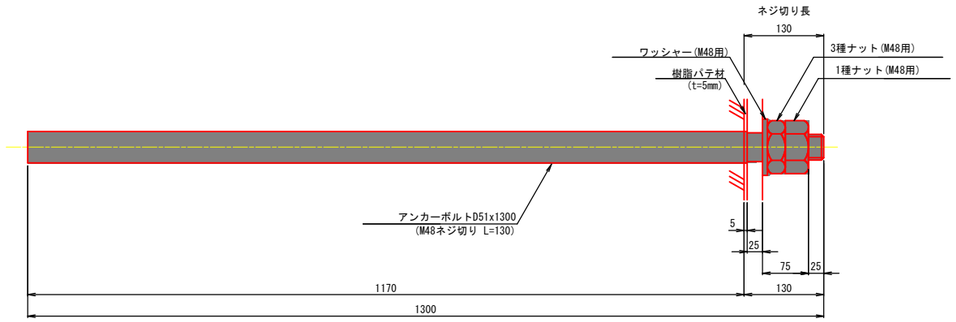


ブラケット1基当り(製作数:8基)

- 2-PL 287x22x378
- 2-PL 382x22x770
- 4-PL 180x25x150
- 2-PL 180x25x266
- 1-PL 640x25x800
- 6-Anc Bolt D51x1300(SD345)
- 6-1種 Nut M48用 (SS400)
- 6-3種 Nut M48用 (SS400)
- 6-Washer M48用 (SS400)

アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

※Ｐ１橋脚下部工
アンカーボルト設置済

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。

実施設計図

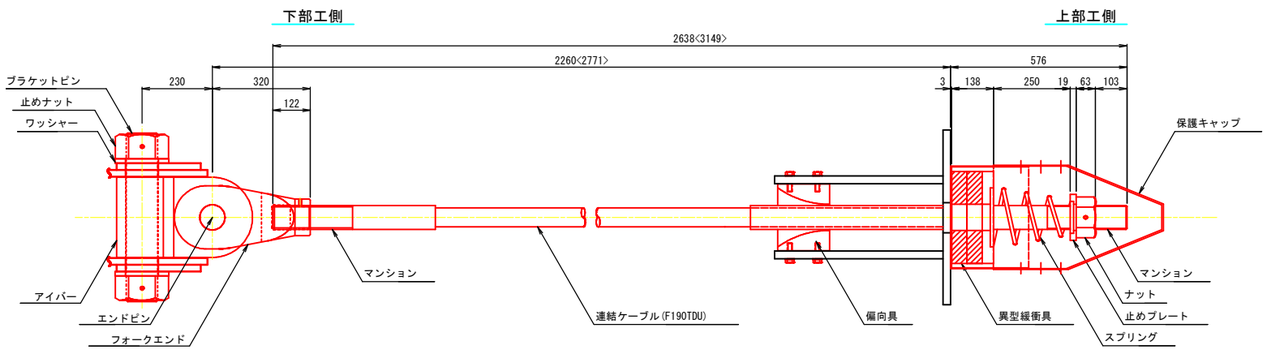
鹿児島県		
工事名	令和８年度	総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川 大里川	
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村 大里 地内	
図面種類	落橋防止構造図(その8)	
縮尺	図 示	
図面番号	全 77 葉 第 49 号	

落橋防止構造図（その９）

S=1:10

P1橋脚：取付詳細図及び部品図

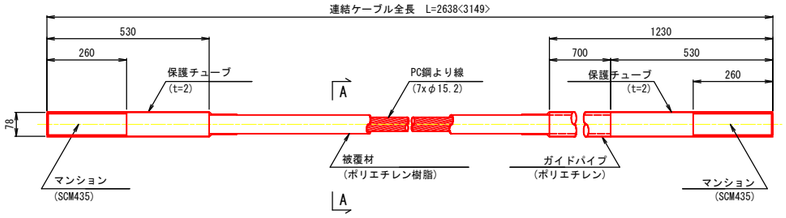
取付詳細図



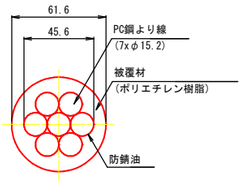
材 料 表（落橋防止構造1組当たり）　全8組(4組/箇所)

名　　称		規　　格	単位	数量	摘　　要
連結ケーブル		F190TDU L=2638<3149>mm	本	1	PC鋼より線,ポリエチレン被覆
	（マンション）	F190TD用 標準	個	2	SCM435,ネジきり標準 〈ケーブルに組込〉
	（ガイドパイプ）	F190TD用 700mm	本	1	ポリエチレン 〈ケーブルに組込〉
ナット		F190TD用	個	1	S45C:亜鉛めっき(HDZ55)
止めプレート		F190TD用	個	1	SS400:亜鉛めっき(HDZ55)
スプリング		F190TD用 L=400	個	1	SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理
異型緩衝具		F190TD用	個	1	SS400:亜鉛めっき(HDZ55) + 合成ゴム
偏向具		F190TD用	個	1	ポリエチレン
	（取付ボルト）	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品:亜鉛めっき(HDZ35) 接着剤付
保護キャップ		F190TD用	組	1	ポリエチレン:8-止めビス付
ユニバーサルシステム	ブラケットピン	F190TDU用	本	1	SCM435,ダクロダイズド処理,DMコート
	止めナット	F190TDU用	個	2	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	ワッシャー	F190TDU用	個	2	SS400,亜鉛めっき(HDZ55)
	アイバー	F190TDU用	個	1	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	フォークエンド	F190TDU用	個	1	S45C,亜鉛めっき(HDZ55)
	エンドピン （ピン）	F190TDU用	本	1	SCM435,ダクロダイズド処理,DMコート
	（止めプレート）	F190TDU用	個	1	SS400,亜鉛めっき

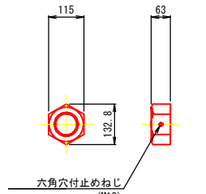
連結ケーブル



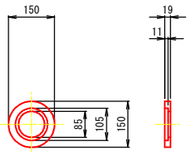
A-A断面図　S=1:2



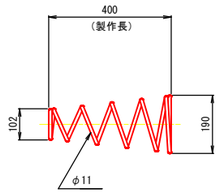
ナット (S45C:亜鉛めっき)



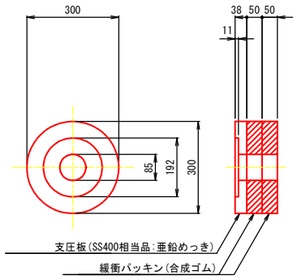
止めプレート (SS400相当品:亜鉛めっき)



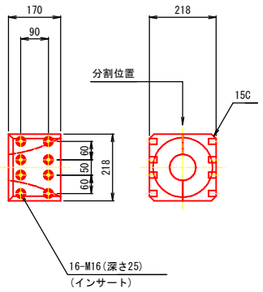
スプリング (SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理)



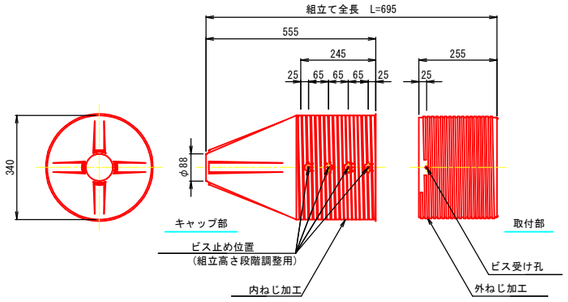
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



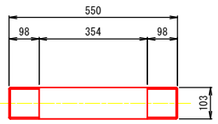
偏 向 具 (ポリエチレン)



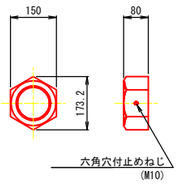
保護キャップ (ポリエチレン)



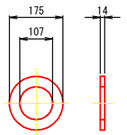
ブラケットピン (SCM435:DMコート)



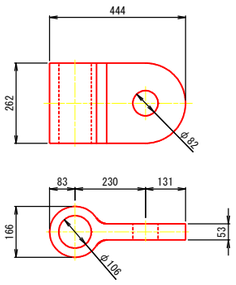
止めナット (S45C:亜鉛めっき)



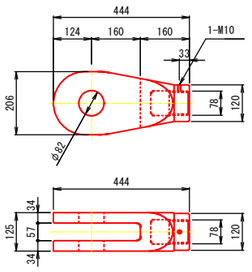
ワッシャー (SS400:亜鉛めっき)



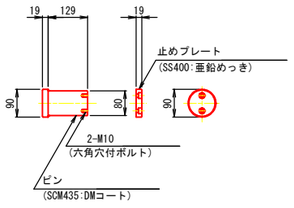
アイバー (S45C:亜鉛めっき)



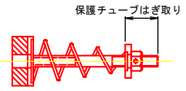
フォークエンド (S45C:亜鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



マンション端部処理



※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

注記）
1.連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。
2.〈 〉内は、終点側における値を示す。

実 施 設 計 図

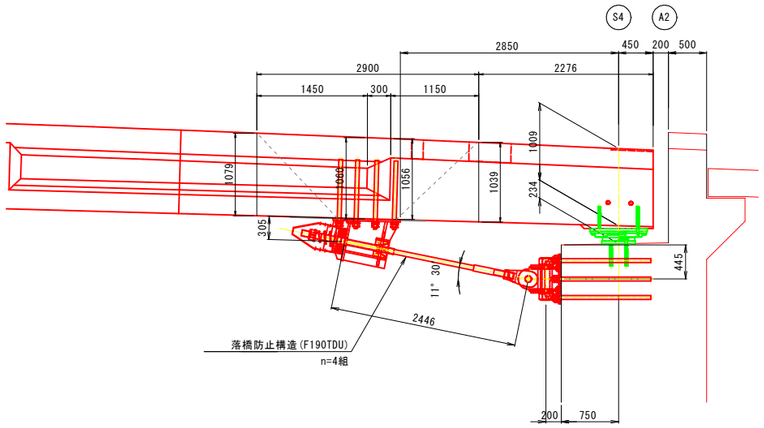
鹿児島県		
工事名	令和８年度	総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川 大里川	
工事箇所	いちき串木野 都市 町村 大里 地内	
図面種類	落橋防止構造図(その9)	
縮尺	図 示	
図面番号	全 77 葉 第 50 号	

落橋防止構造図（その10）

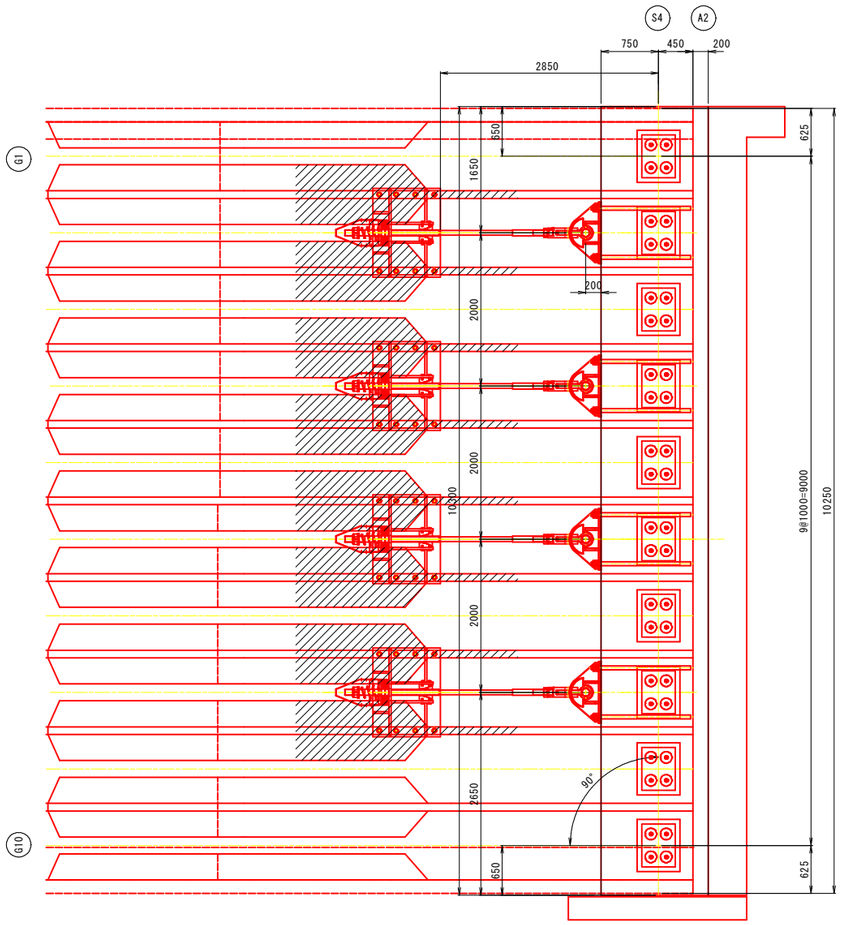
S=1:40

A2橋台:取付図

側 面 図

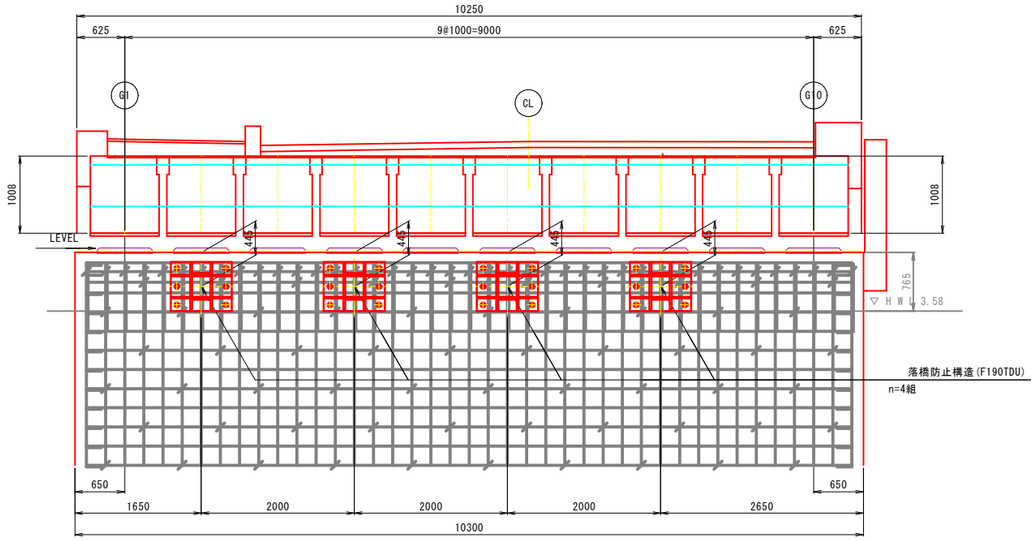


平 面 図

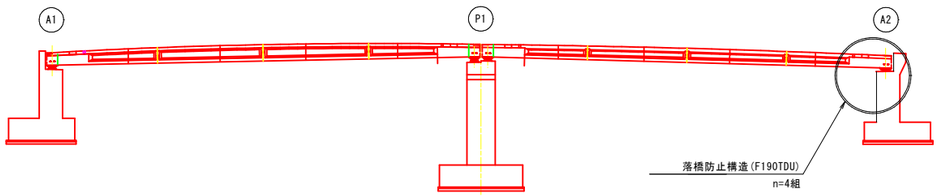


断 面 図

(S4)



位 置 図



実 施 設 計 図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~二級河川~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村　大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その10)
縮尺	図 示
図面番号	全 77 葉 第 51 号

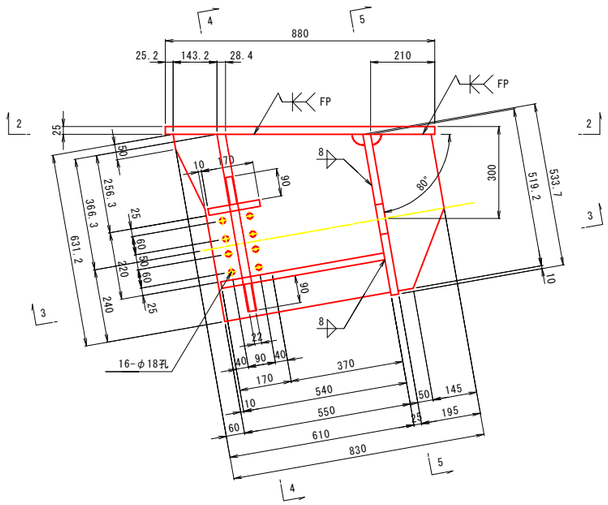
落橋防止構造図（その11）

S=1:10

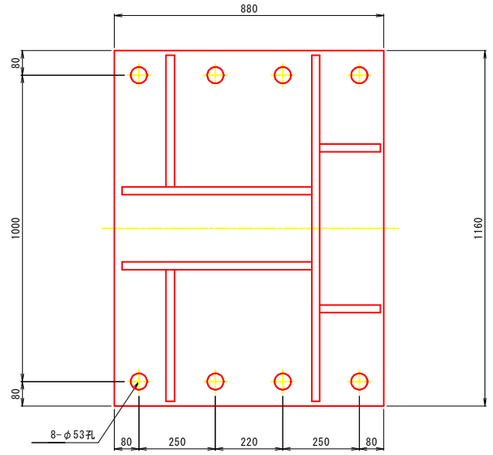
A2橋台:上部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

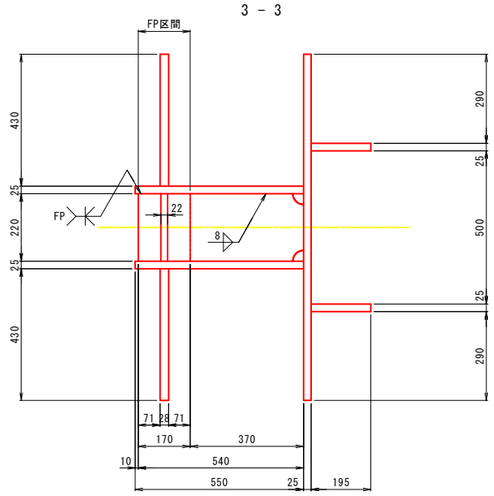
1 － 1



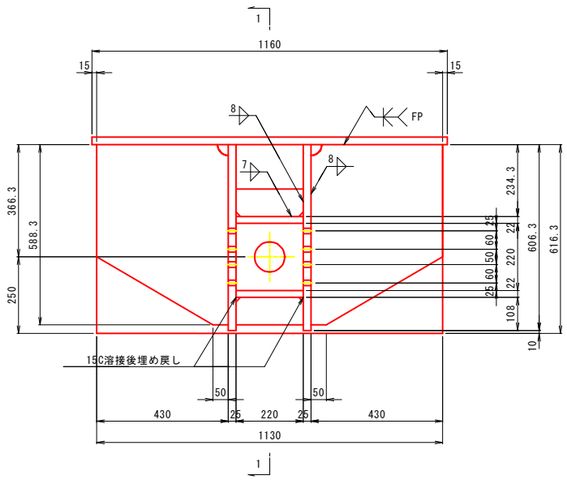
2 － 2



3 － 3



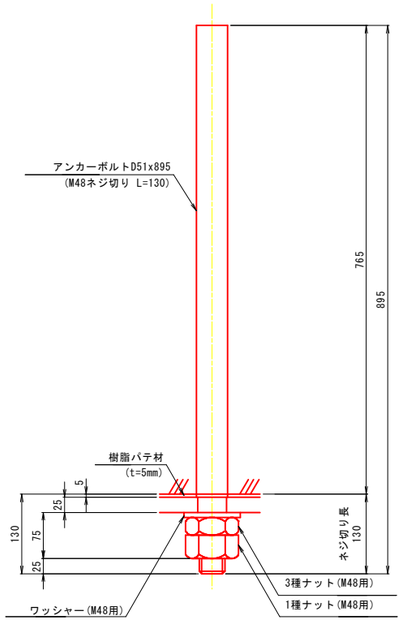
4 － 4



5 － 5

アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 195x25x520
- 2-PL 610x25x632
- 2-PL 430x28x589
- 2-PL 90x22x220
- 1-PL 220x22x540
- 1-PL 170x25x220
- 1-PL 534x25x1130
- 1-PL 880x25x1160
- 8-Anc Bolt D51x895(SD345)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 都市 町村 大里 地内
図面種類	落橋防止構造図(その11)
縮尺	図　示
図面番号	全 77 葉 第 52 号

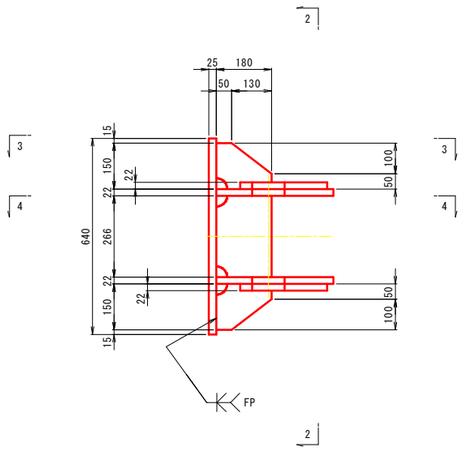
落橋防止構造図（その12）

S=1:10

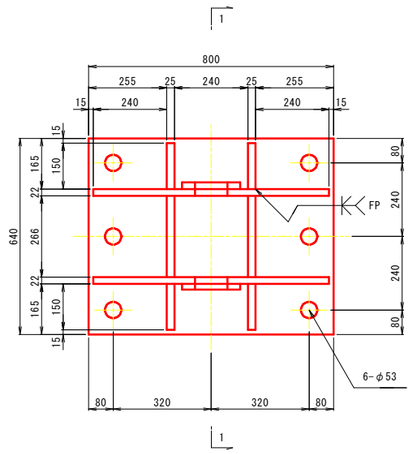
A2橋台:下部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

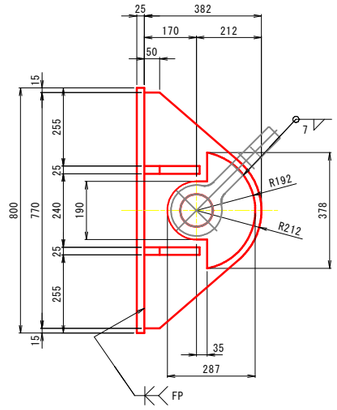
1 － 1



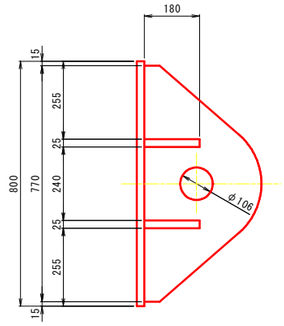
2 － 2



3 － 3



4 － 4

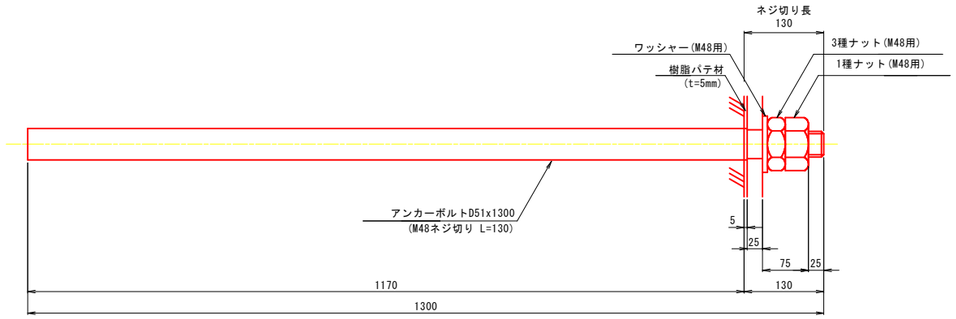


ブラケット1基当り(製作数:4基)

- 2-PL 287x22x378
- 2-PL 382x22x770
- 4-PL 180x25x150
- 2-PL 180x25x266
- 1-PL 640x25x800
- 6-Anc Bolt D51x1300(SD345)
- 6-1種 Nut M48用 (SS400)
- 6-3種 Nut M48用 (SS400)
- 6-Washer M48用 (SS400)

アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。

実 施 設 計 図

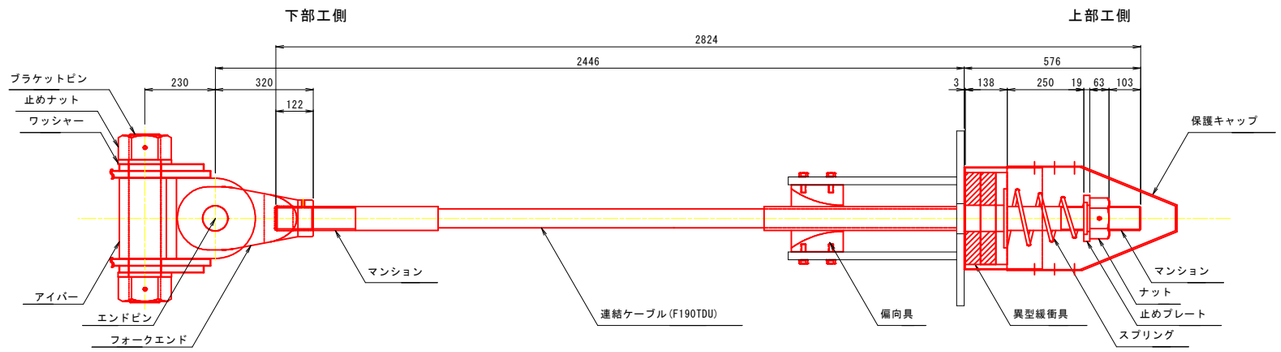
鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村 大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その12)
縮尺	図　示
図面番号	全 77 葉　第 53 号

落橋防止構造図（その13）

S=1:10

A2橋台：取付詳細図及び部品図

取付詳細図

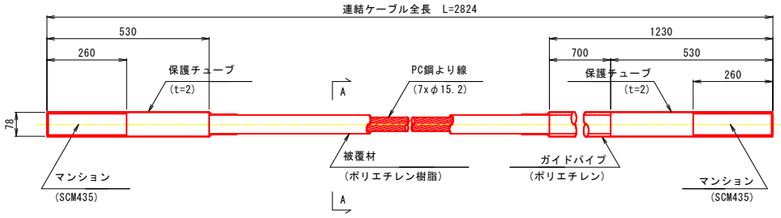


材 料 表（落橋防止構造1組当たり）

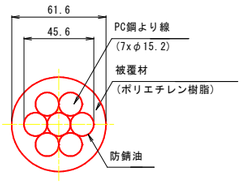
全4組

名　　称		規　　格	単位	数量	摘　　要
連結ケーブル		F19OTDU L=2824mm	本	1	PC鋼より線，ポリエチレン被覆
	（マンション）	F19OTD用 標準	個	2	SCM435，ネジきり標準 〈ケーブルに組込〉
	（ガイドパイプ）	F19OTD用 700mm	本	1	ポリエチレン 〈ケーブルに組込〉
ナット		F19OTD用	個	1	S45C：亜鉛めっき(HDZ55)
止めプレート		F19OTD用	個	1	SS400：亜鉛めっき(HDZ55)
スプリング		F19OTD用 L=400	個	1	SW-C：亜鉛めっき，クロメート処理
異型緩衝具		F19OTD用	個	1	SS400：亜鉛めっき(HDZ55) ＋ 合成ゴム
偏向具		F19OTD用	個	1	ポリエチレン
	（取付ボルト）	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品：亜鉛めっき(HDZ35) 接着剤付
保護キャップ		F19OTD用	組	1	ポリエチレン：8-止めビス付
ユニバーサルシステム	ブラケットピン	F19OTDU用	本	1	SCM435，ダクロダイズド処理，DMコート
	止めナット	F19OTDU用	個	2	S45C，亜鉛めっき(HDZ55)
	ワッシャー	F19OTDU用	個	2	SS400，亜鉛めっき(HDZ55)
	アイバー	F19OTDU用	個	1	S45C，亜鉛めっき(HDZ55)
	フォークエンド	F19OTDU用	個	1	S45C，亜鉛めっき(HDZ55)
	エンドピン （ピン）	F19OTDU用	本	1	SCM435，ダクロダイズド処理，DMコート
	（止めプレート）	F19OTDU用	個	1	SS400，亜鉛めっき

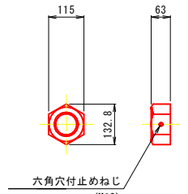
連結ケーブル



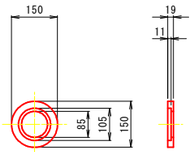
A-A断面図　S=1:2



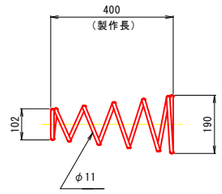
ナット（S45C：亜鉛めっき）



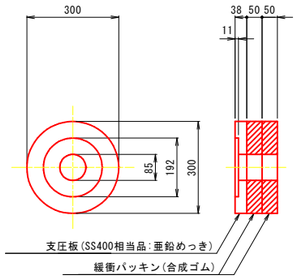
止めプレート（SS400相当品：亜鉛めっき）



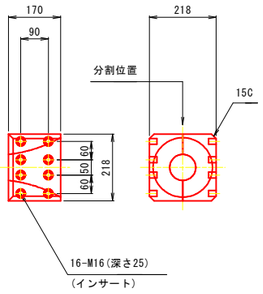
スプリング（SW-C：亜鉛めっき，クロメート処理）



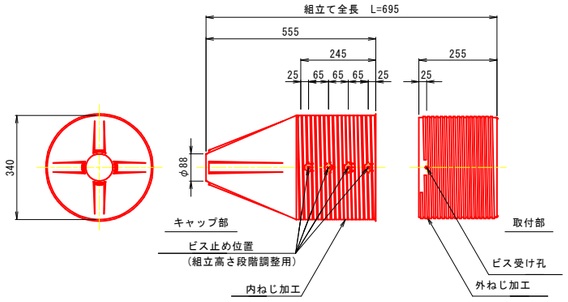
異型緩衝具（支圧板+緩衝パッキン）



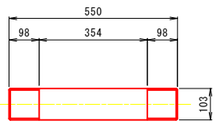
偏 向 具（ポリエチレン）



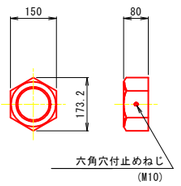
保護キャップ（ポリエチレン）



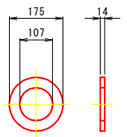
ブラケットピン（SCM435：DMコート）



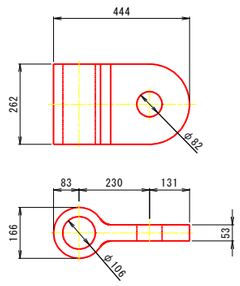
止めナット（S45C：亜鉛めっき）



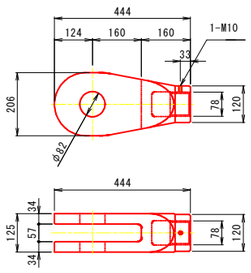
ワッシャー（SS400：亜鉛めっき）



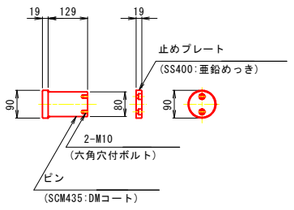
アイバー（S45C：亜鉛めっき）



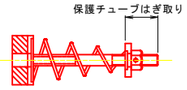
フォークエンド（S45C：亜鉛めっき）



エンドピン（ピン+止めプレート）



マンション端部処理



※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

注記）
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

実 施 設 計 図

鹿児島県	
工事名	令和８年度　総合流域防災（河川）工事（大里川R8-1工区）
河川名 ~~路線名~~	二級河川　大里川
工事箇所	いちき串木野 郡 市 町 村 大里　地内
図面種類	落橋防止構造図(その13)
縮尺	図　示
図面番号	全 77 葉 第 54 号